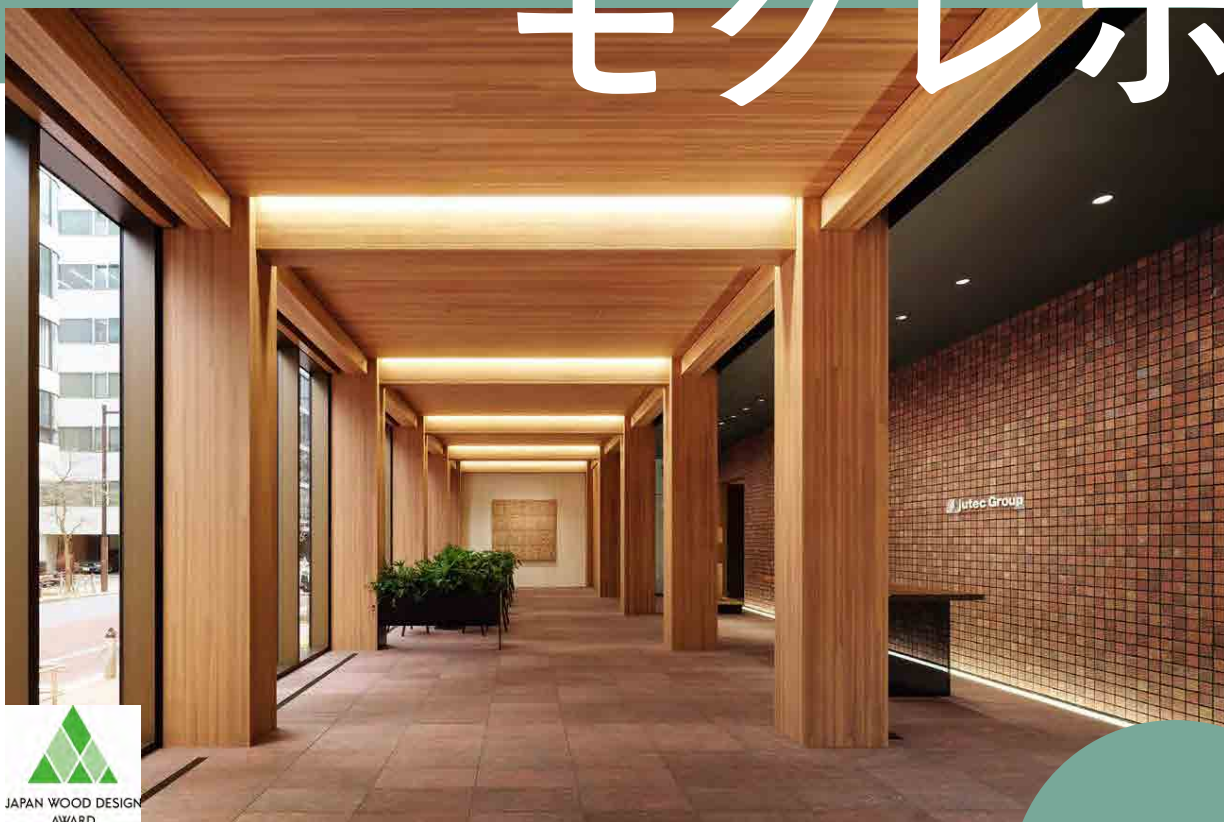


<資 料>

木材需給動向関連資料

モクレポ



○ジューテック本社ビル/鹿島建設株式会社（東京都）
※ウッド・デザイン賞2023優秀賞（林野庁長官賞）

令和6年2月
No.29

特集

- 令和6年能登半島地震に係る林野関係の被害・対応状況（第2報）
- 2023年木材輸出実績
- 2023年木材輸入実績
- 森林づくり全国推進会議第1回勉強会の開催
- 森林シューセキ！事例報告会の開催
- 国有林野の管理経営に関する基本計画の策定

このレポートは、木材需給、木材価格、木材産業の動向等に関するデータを集約・整理し、毎月定期的に公表するものです。林業・木材産業関係者の事業活動に役立てていただくことを目指しています。

【利用上の注意】

1. 原則として毎月中旬に公表。公表日の5営業日前に入手可能なデータを反映しています。
2. 内容については、必要に応じて項目の追加・削除などの変更を行うことがあります。
3. 調査方法の見直しに伴い、データが接続しない場合があります。

CONTENTS 令和6年2月号

特集	1 令和6年能登半島地震に係る林野関係の被害・対応状況（第2報）	…1
	2 2023年木材輸出実績	…3
	3 2023年木材輸入実績	…4
	4 森林づくり全国推進会議第1回勉強会の開催	…5
	5 森林シューセキ！事例報告会の開催	…6
	6 国有林野の管理経営に関する基本計画の策定	…7
01 基礎的指標	1 新設住宅着工戸数	…8
	2 新設住宅着工床面積 <参考> 非居住用建築物着工床面積	…9
	3 木材産業の業況	…11
	4 USドル及びユーロ為替相場	…12
	5 米国民間新設住宅着工戸数、日本向けコンテナ運賃	…13
	6 中国の木材輸入量、EUにおける建設活動水準	…14
02 木材価格情報	1 スギ・ヒノキ原木の主要市場価格	…15
	2 木材価格（農林水産統計）	…17
03 木材需給情報	1 製材工場の原木入荷、製品生産等の動向	…26
	2 合板工場の原木入荷、製品生産等の動向	…27
	3 チップ工場の原木入荷、製品生産等の動向	…28
	4 燃料材（国内生産）利用量、紙品種別生産高	…29
	5 素材生産量	…30
	6 木材生産の産出額	…31
04 林産物輸出入情報	1 林産物輸出額	…32
	2 木材輸出額	…33
	3 木材輸入額	…34
	4 木材輸入量	…35
	5 製材・構造用集成材・合板の輸入平均単価	…41
05 特用林産情報	1 特用林産物の国内生産量	…42
	2 特用林産物の産出額	…43
	3 特用林産物の輸出入量	…44
	4 特用林産物の輸出額	…45
	5 中国からのしいたけ菌糸輸入量	…48
	6 きのご類の卸売量・価格	…49
06 セミナー・イベント情報	2月中旬以降の開催情報	…50
お知らせ	10月1日から消費税インボイス制度が始まりました！	…52
	山林所得の確定申告の際、各種控除が受けられます！	…54
	独立行政法人農林業信用基金からのお知らせ	…56
	ウッド・チェンジ ロゴマーク活用のご案内	…57
	令和6年4月から相続登記の申請が義務化されます	…58

- 2024年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」への林野関係の被害状況、対応状況は以下のとおり。
- また、令和6年能登半島地震非常災害対策本部は、1月25日に、「被災者の生活と生業支援のためのパッケージ」を公表。

林野関係の被害状況

(2月7日現在)



(1) 林地荒廃(山腹崩壊等) <計50箇所>

県名	被災市町村と箇所数
新潟県	佐渡市1
富山県	黒部市1、射水市1
石川県	七尾市7、輪島市20、珠洲市9、志賀町6、穴水町1、能登町4

(2) 治山施設災害 <計22箇所>

県名	被災市町村と箇所数
石川県	七尾市1、輪島市12、珠洲市7、穴水町1、能登町1

(3) 林道施設災害 <計172箇所>

県名	被災市町村と箇所数
新潟県	長岡市3、佐渡市3
富山県	富山市3、高岡市4、氷見市8、滑川市4、南砺市1、上市町1、立山町1、朝日町1
石川県	金沢市16、七尾市13、輪島市17、珠洲市12、羽咋市3、津幡町4、志賀町25、宝達志水町10、中能登町35、能登町8

(4) 木材加工流通施設被害 <計31箇所>

県名	被災市町村と箇所数
新潟県	新潟市1、佐渡市1
富山県	高岡市2、氷見市2、入善町1
石川県	七尾市7、輪島市8、珠洲市2、志賀町3、穴水町3、能登町1

(5) 特用林産施設等被害 <計84箇所>

県名	被災地域と箇所数
新潟県	新潟市7、長岡市4、小千谷市1、加茂市1、十日町市8、糸魚川市2、妙高市1、上越市4、阿賀野市1
富山県	富山市2、高岡市1、氷見市2、小矢部市2
石川県	金沢市3、七尾市1、輪島市1、珠洲市2、白山市1、能美市1、志賀町1、宝達志水町1、穴水町1、能登町6
長野県	長野市1、中野市12、飯山市16、小布施町1

■ MAFF-SAT派遣(林野庁関係)

- 1月2日より、各県ヘリエゾンの派遣を開始。
- 1月9日より、本庁・局署から石川県に治山・林道技術者を派遣し、被災施設の復旧支援等を実施。
- 1月15日より、本庁・局署から石川県に「能登半島地震 山地災害緊急支援チーム」を派遣し、避難所等周辺森林や既存治山施設の危険度点検、山地の被害状況把握等の技術支援を実施。

(2月7日時点)

所属	延べ人数	備考
林野庁	101人・日	石川県
関東森林管理局	3人・日	新潟県
中部森林管理局	7人・日	富山県
近畿中国森林管理局	70人・日	石川県



避難所での点検状況



ドローンによる被害調査

■ 坂本農林水産大臣・森林管理局によるヘリ調査

- 各森林管理局が県と連携し、山地災害・林道被害の発生状況を広域で把握するためのヘリ調査を実施。
- 1月21日には坂本農林水産大臣によるヘリ調査を実施し、多数の大規模崩壊地を確認。

(2月7日時点)

調査日	調査箇所	所属等
1月2日	石川県内 福井県内	近畿中国森林管理局
1月5日	新潟県内 富山県内	関東森林管理局 中部森林管理局
1月21日	石川県内	坂本農林水産大臣



大規模崩壊地の確認



坂本大臣によるヘリ調査

■ 被災者の生活と生業支援のためのパッケージ(林野関係に対する支援)

- 被災した山林施設の早期復旧に向け、農林水産省職員の現地派遣、机上査定上限額の引上げ等による災害査定効率化を実施。
- 航空レーザ計測により、目視では確認困難な山地の亀裂、小崩壊などの被害状況を詳細に把握・分析。
- 被災した山林施設の復旧・整備とともに、災害発生の高危険性が高い荒廃地における治山対策・森林整備を支援。
- 被災した木材加工流通施設、特用林産振興施設等の復旧・整備や毀損した施設の撤去等を支援。
- 被災した林業者・木材産業者の円滑な資金繰りの確保に向け、以下のとおり対応。
 - 被災した林業者が借り入れる農林漁業セーフティネット資金、農林漁業施設資金等の災害関連資金(日本公庫資金)を貸付当初10年間実質無利子化
 - 被災した林業者が借り入れる災害関連資金(日本公庫資金)について、実質無担保・無保証人で貸付け
 - 被災した林業者・木材産業者が農林漁業信用基金の債務保証を活用して民間融資機関から資金を借り入れる際、引受当初5年間の保証料を免除

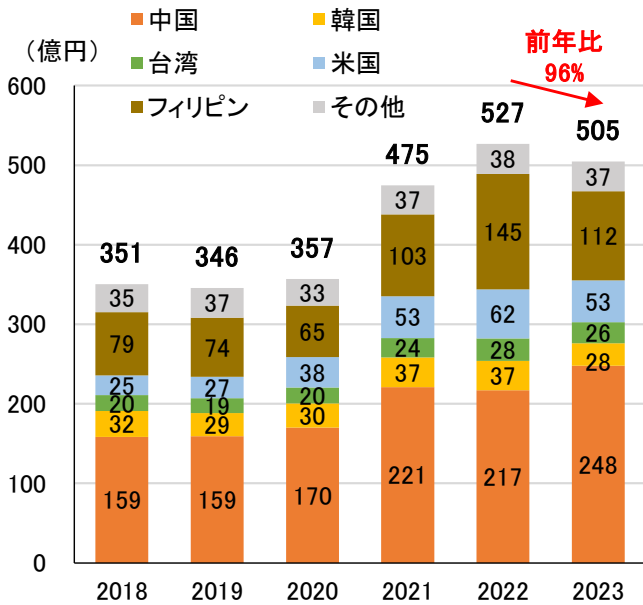
令和6年能登半島地震に関する情報の詳細は、次のURLをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/saigai/r6notojishin.html>

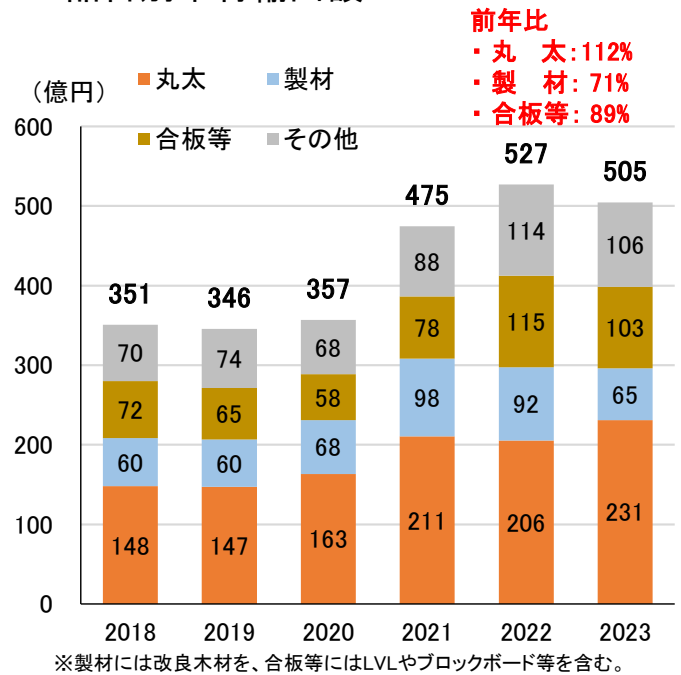


- 2023年の木材輸出額（HS44類）は、前年比96%の505億円。輸出先は、1位が中国、2位がフィリピン、3位が米国。
- 品目別輸出額を見ると、丸太が前年比112%の231億円と増加。一方、製材は同71%の65億円と大幅に減少。合板等も同89%の103億円と減少。
- 品目別輸出量を見ると、丸太が前年比120%の159.5万m³と増加し、製材は同79%の13.6万m³、合板等は同87%の11.7万m³と減少。

■ 国別木材輸出額

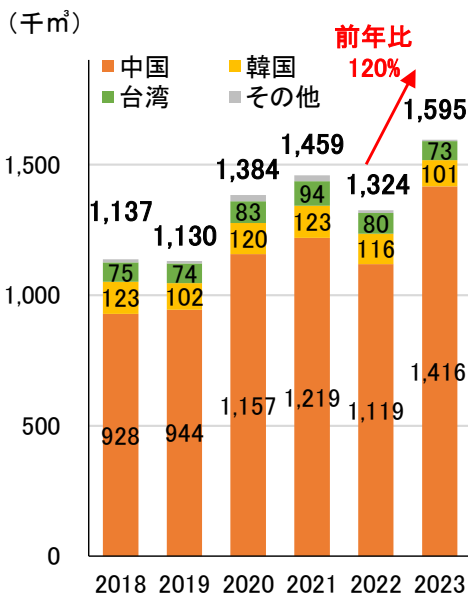


■ 品目別木材輸出額

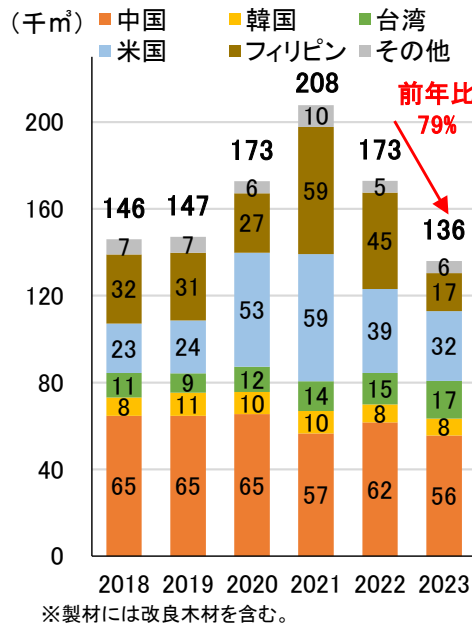


■ 品目別木材輸出量

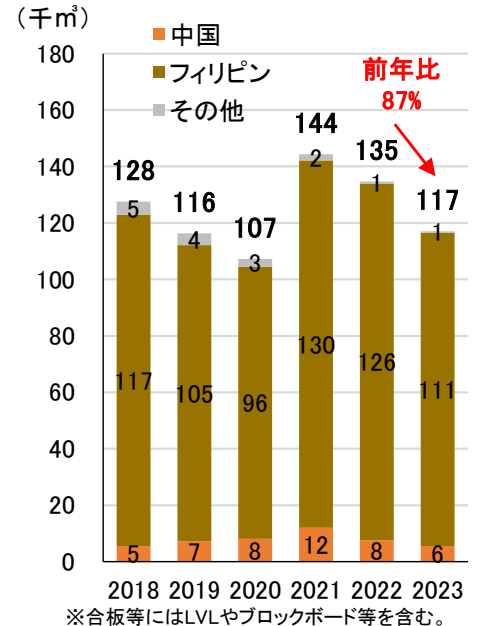
丸太



製材



合板等



資料:財務省「貿易統計」(2023年は確報値)

木材輸出についての詳細は、次のURLをご覧ください。

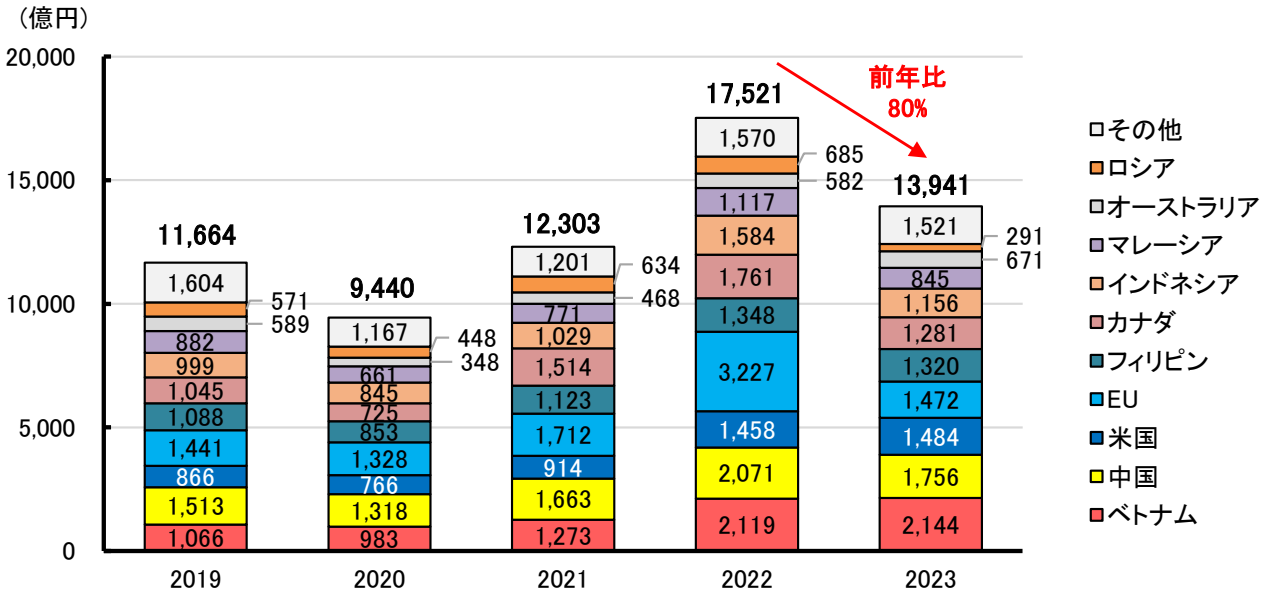
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/yusyutu/mokuzai-yusyutsu.html>



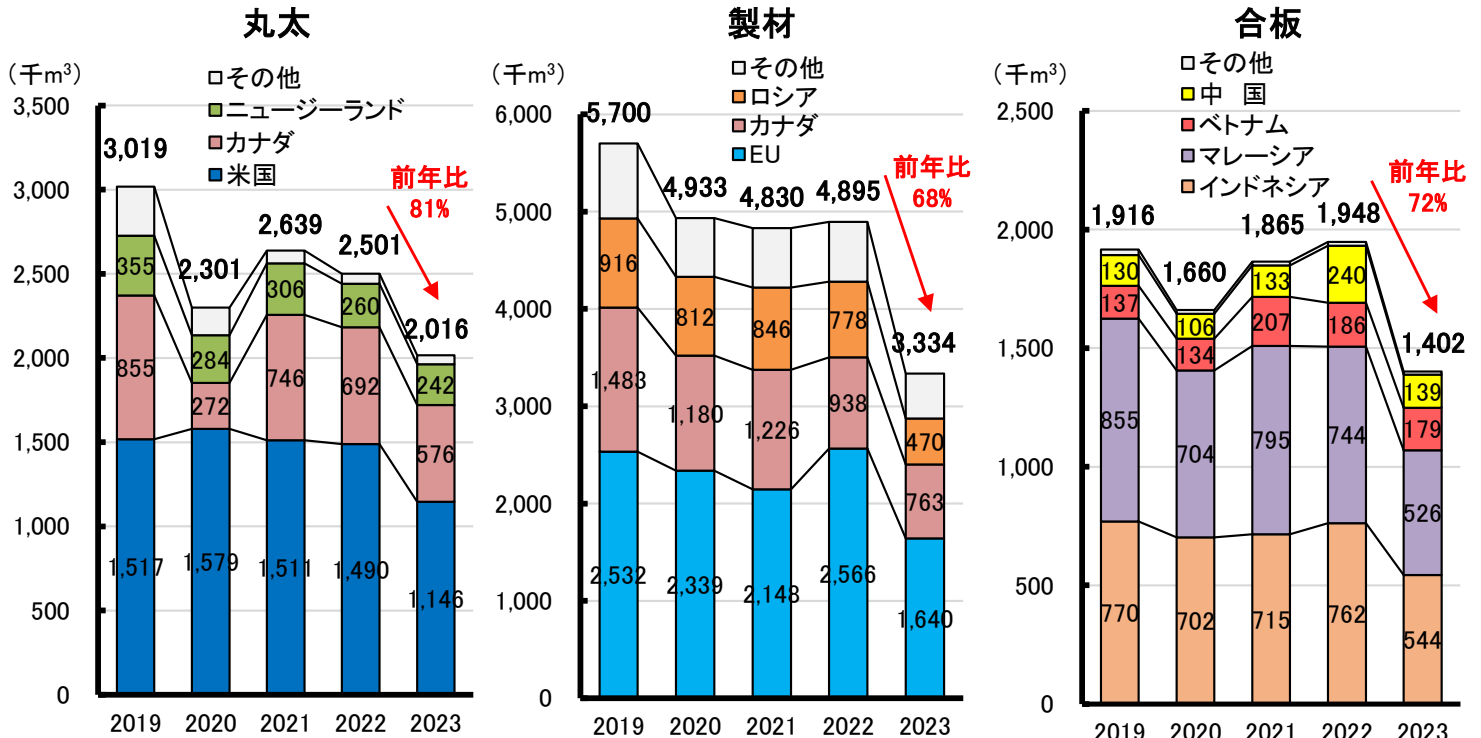
特集-3 2023年木材輸入実績

- 2023年の木材輸入額（HS44類）は、前年比80%の1兆3,941億円。木材輸入額第1位はベトナム、第2位は中国、第3位は米国となった。EUは、前年第1位から第4位となった。
- 品目別の輸入量を見ると、国内住宅需要の停滞や為替の影響等により、丸太が前年比81%、製材が同68%、合板が同72%と軒並み減少した。

国別木材輸入額



品目別木材輸入量



資料:「貿易統計」(2023年は速報値)

木材輸入についての詳細は、次のURLをご覧ください。
https://www.rinya.maff.go.jp/j/boutai/mokuzai_yunyu_genjou.html



- 2024年1月19日に、森林づくり全国推進会議の第1回勉強会「森林関連分野のJ-クレジットの活用と今後」をオンライン形式で開催。企業や団体、自治体関係者など100名規模が参加。
- 勉強会では、林野庁から「森林由来J-クレジットの創出・活用の促進」について、株式会社ロイヤリティ マーケティングの佐藤智仁氏から「消費者を巻き込むJ-クレジットの購入・活用事例」について講義。

■ 勉強会について

- 森林づくり全国推進会議は、企業等による森林づくりを推進するため2022年10月に発足し、これまでシンポジウム等を開催。今回の会員向け勉強会は、同会議として初めての取組。
- 勉強会では、2022年8月に大幅な制度・運用の見直しを行った森林関連分野のJ-クレジット制度について、制度・運用に関わる行政担当者と、実際にJ-クレジットを購入・活用している企業の担当者からそれぞれ現状を報告。

■ 講義の概要

- 林野庁からは、J-クレジット制度の概要、森林由来クレジットの創出・取引の動向、森林由来クレジットの創出に係る手続きについて、多様化する販売手法などを交えて説明。
- 佐藤氏からは、同社アプリのユーザー利用状況に応じて同社がクレジットを購入し、アプリ運営によるCO₂排出量とオフセットする取組について、ビジネスモデルを踏まえて説明。
- 参加者からは、クレジットの販売先をどのように手配したのかとの質問があり、これに対して、佐藤氏から、仲介事業者を介してクレジットを購入したが、当該自治体の地域だけでは創出量が不足した場合は、仲介事業者が他の地域を含めた調整を行っていたと回答。

J-クレジット制度（経済産業省・環境省・農林水産省が共同で運営）

事例共有 | Green Ponta Actionアプリ

2021年4月～2022年6月のGreenPontaユーザーと一緒に全国の森づくりを応援するプロジェクトを実施。

力を合わせて社会貢献

全国7都府県

合計1,337t-CO₂

福島県山形県	100t
宮城県	57t
茨城県	120t
栃木県	52t
群馬県	52t
埼玉県	28t
千葉県	28t
東京都	100t
神奈川県	52t
静岡県	135t
愛知県	152t
岐阜県	52t
富山県	72t
石川県	48t
福井県	72t

講義資料より抜粋

同会議では、引き続き企業等の森林づくり活動に資するための勉強会等を予定しています。
 森林づくり全国推進会議URL : <https://mori-zukuri.jp/forest-mtg/>



特集-5 森林シューセキ！事例報告会の開催

- 2023年1月23日に全国の自治体における森林の管理や集積・集約化の取組を共有する「森林シューセキ！事例報告会」を開催。
- 全国から7団体が先進事例を報告。現地93名（発表関係者含む）、オンライン365回線の計500名以上が参加。
- デジタル技術を活用した境界明確化、市内全域への早期の意向調査、自治体間連携による森林整備など、境界明確化や森林経営管理制度、森林環境譲与税等に関する最新の具体的知見・ノウハウを共有。
- 参加者からは「トップランナーの取組を聞くことができ非常に有意義だった」、「同じような課題に取り組む自治体の存在に勇気づけられた」などの反響あり。

【報告会の内容と参加者からの反響】

💡 林野庁からの挨拶・情報提供

- 森林経営管理制度や森林環境譲与税を、市町村を中心とする森林整備を進めるための政策の手段として、「地域の森林をどうしたいのか」という目的や目標を設定した上で活用していくことが重要。
- 全国の取組実績事例や各種支援策等について情報提供するとともに、各地域に応じた様々な方法での地域ビジョンの実現や森林の一層の集積・活用に向けた積極的な取組を呼びかけ。

💡 事例発表

□ 境界明確化部門

- 山形県白鷹町：航空レーザ測量による森林境界明確化と地籍調査との連携の取組
- 滋賀県東近江市：「東近江市100年の森づくりビジョン」の取組

□ 森林経営管理制度部門

- 三重県津市：市内全域への意向調査早期着手と森林整備の取組
- 京都府綾部市：共有者不明森林等の特例を活用した森林経営管理制度の取組
- (公社)とちぎ環境・みどり推進機構：森林経営管理制度に係る市町支援の取組

□ 森林環境譲与税・地域林政アドバイザー部門

- 東京都：自治体間連携による森林整備の取組
- 岩手県西和賀町：地域おこし協力隊員から地域林政アドバイザーへの転身と取組（岩手県からの代理発表）



発表の様子



会場の様子

💡 参加者からの反響

- それぞれの地域で関係者が努力されていることと、現場の大変さがよくわかった。
- トップランナーの取組を聞くことができ非常に有意義だった。
- 同じような課題に取り組んでいる自治体がいることを知ることができ、とても勇気づけられた。
- 森林整備の推進、譲与税の活用方法などを検討し、試行錯誤しながら取組を進められていることが印象に残った。
- 各地域において、地域の実情にあわせた工夫や選択により、適切な対応を実行している印象を受けた。

「森林シューセキ！事例報告会」当日の発表資料は、次のURLをご覧ください。
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/keikaku/keieikanri/sinrinkeieikanriseido.html#3.3>



- 「国有林野の管理経営に関する基本計画(以下「管理経営基本計画」という。)」は、国有林野の管理経営に関する基本方針等を明らかにするため、「国有林野の管理経営に関する法律」第4条の規定に基づき、農林水産大臣が5年ごとに定める10年を1期とする計画。
- 2024年4月を始期とする新たな管理経営基本計画について、林政審議会での3回にわたる議論を経て2023年12月22日に策定。
- 新たな管理経営基本計画においては、国有林野の公益重視の管理経営を一層推進するとともに、その組織・技術力・資源を活用して森林・林業施策全体の推進に貢献することとして、以下の取組を推進。

公益重視の管理経営の一層の推進

- 国有林野を重視すべき機能に応じ5タイプに区分し公益林として管理経営
- 森林・林業基本計画に基づく複層林化等を先導的に推進
- 原生的な天然林等を保護林として保護・管理
- 効果的かつ効率的な捕獲等による鳥獣被害対策



育成複層林

(今期計画の主な追加事項)

- 森林吸収量の確保・強化に向けたエリートツリー等による成長の旺盛な若い森林の造成
- 花粉症対策の加速化
- 国土強靱化基本計画に基づく治山対策
- 30by30目標の達成に向けた生物多様性保全の取組



成長のよい特定苗木



流木捕捉式治山ダム工

森林・林業施策全体の推進への貢献

- 林業の省力化や低コスト化に向けた技術開発・実証と普及
- 市町村の森林・林業行政に対する技術支援
- 持続的かつ計画的な木材の供給により森林・林業基本計画に掲げる国産材供給量の拡大に貢献
- 木材需給急変時の供給調整機能の円滑な発揮



市町村職員に対する技術支援

- 特に効率的な施業を推進する森林を設定し、「新しい林業」の実現に向けた効率的な施業を分かりやすく推進
- その成果を現地検討会やホームページでの公表を通じて民有林に普及
- 複数年契約や樹木採取権制度等を活用した林業事業者等の育成



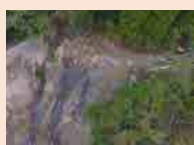
現地検討会



樹木採取区における伐採

その他

- 公用・公共用、公衆の保健等のための国有林野の貸付け等を適切に実施
- 森林GISやドローン等を活用した業務の効率化
- 東日本大震災からの復旧・復興への貢献

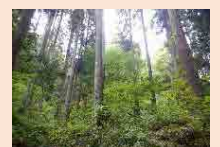


ドローンを活用した被災状況調査

- 国土保全等への配慮と地域の意向を踏まえた再生可能エネルギー発電事業への適切な貸付け等
- 相続土地国庫帰属制度への対応



地熱発電事業



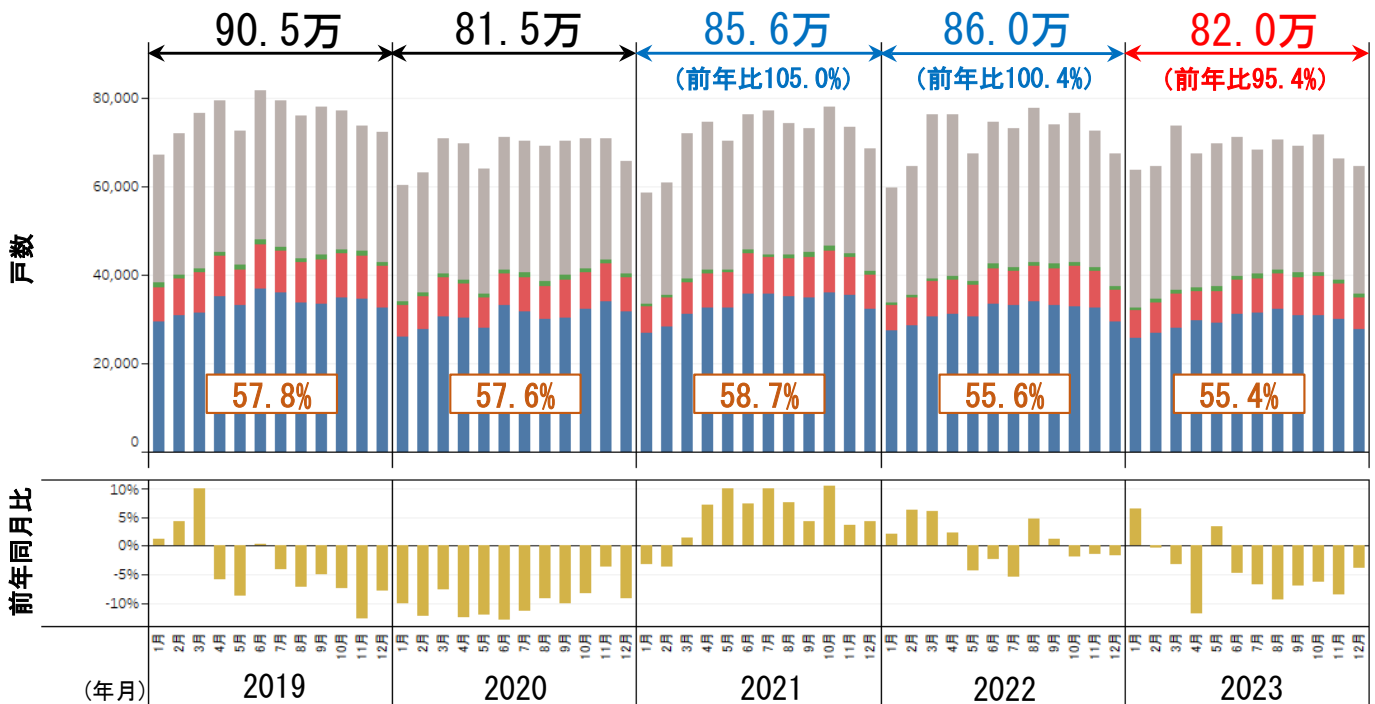
帰属した森林

「国有林野の管理経営に関する基本計画」の本文については、次のURLをご覧ください。
https://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/kanri_keiei/attach/pdf/kihon_keikaku-9.pdf



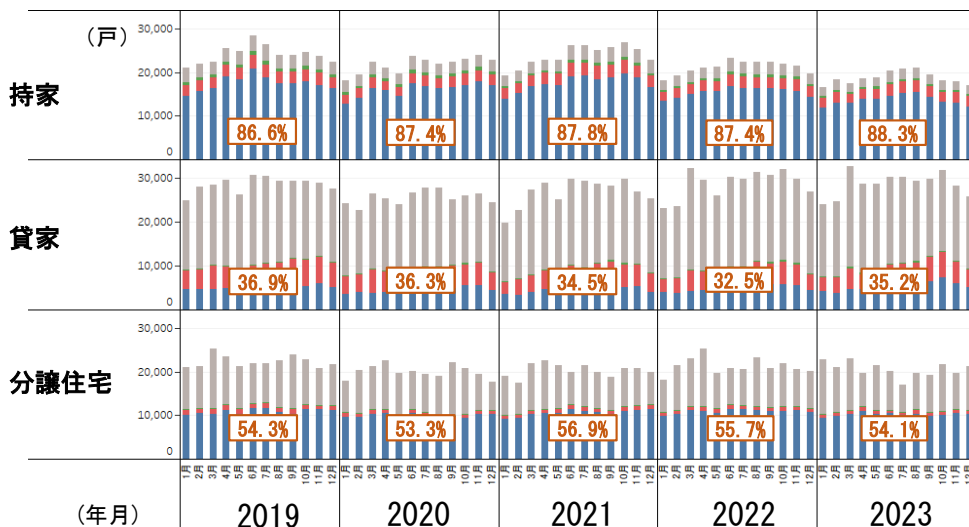
基礎的指標-1 新設住宅着工戸数

- 2023年1～12月の新設住宅着工戸数は、82.0万戸（前年同期比 95.4%）、このうち木造住宅は45.4万戸（同95.1%）。



(単位：戸)

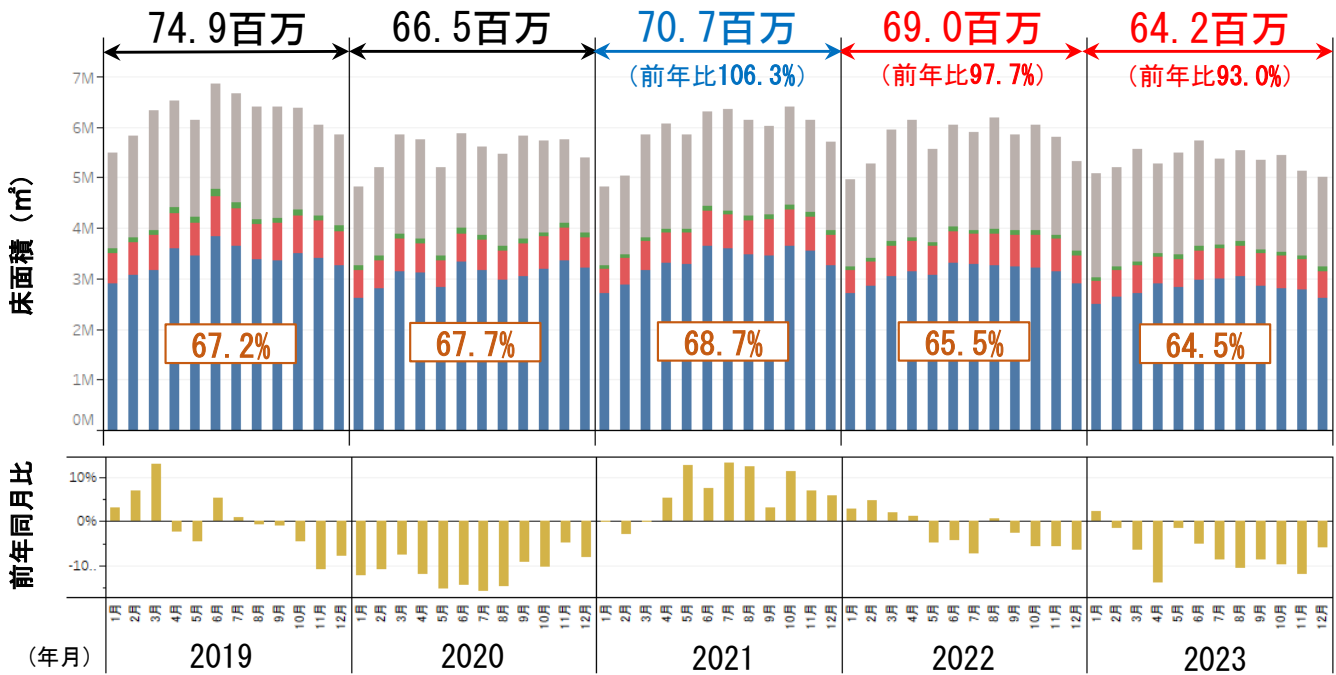
構造別の着工戸数	2023年 1～12月	2022年 同期	2022年 同期比	2021年 同期	2021年 同期比
合計	819,623	859,529	95.4%	856,484	95.7%
■非木造	365,196	381,646	95.7%	354,154	103.1%
木造	454,427	477,883	95.1%	502,330	90.5%
■木造プレハブ	10,329	10,144	101.8%	10,509	98.3%
■2×4	90,792	91,233	99.5%	96,018	94.6%
■在来軸組	353,306	376,506	93.8%	395,803	89.3%
□木造率	55.4%	55.6%		58.7%	



資料：国土交通省「住宅着工統計」

基礎的指標-2 新設住宅着工床面積

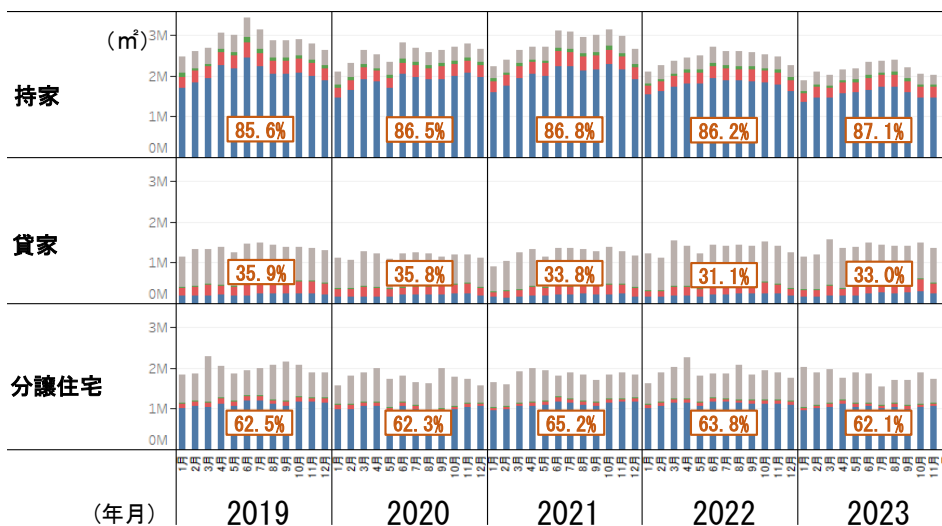
- 2023年1～12月の新設住宅着工床面積は、64.2百万㎡（前年同期比93.0%）、このうち木造住宅は41.4百万㎡（同91.7%）。



(単位：千㎡)

構造別の 着工床面積	2023年 1～12月	2022年 同期	2022年 同期比	2021年 同期	2021年 同期比
合計	64,178	69,010	93.0%	70,666	90.8%
■ 非木造	22,754	23,826	95.5%	22,102	103.0%
木造	41,423	45,184	91.7%	48,564	85.3%
■ 木造プレハブ	981	1,004	97.7%	1,070	91.7%
■ 2×4	6,826	7,027	97.1%	7,523	90.7%
■ 在来軸組	33,617	37,153	90.5%	39,972	84.1%
□ 木造率	64.5%	65.5%		68.7%	

(参考) 利用関係別の着工床面積 (ただし、「給与住宅」を除く。)



資料：国土交通省「住宅着工統計」

<参考>非居住用建築物着工床面積

(単位:千㎡、%)

年次	月	合計		構造別			
			前年比	木造	前年比	非木造	前年比
2019年	1	3,970	101	259	84	3,711	102
	2	3,700	85	243	96	3,457	84
	3	3,334	81	294	105	3,040	79
	4	4,440	96	354	105	4,085	95
	5	4,170	99	327	103	3,844	99
	6	4,641	102	377	102	4,264	102
	7	4,980	100	452	122	4,527	99
	8	3,987	95	479	131	3,508	91
	9	3,609	82	431	96	3,179	80
	10	3,922	85	409	99	3,513	84
	11	3,750	90	386	102	3,364	89
	12	4,184	97	330	92	3,854	98
2020年	1	2,973	75	228	88	2,745	74
	2	3,605	97	230	95	3,374	98
	3	3,718	112	280	95	3,437	113
	4	4,086	92	312	88	3,774	92
	5	4,078	98	259	79	3,818	99
	6	3,798	82	347	92	3,451	81
	7	3,855	77	323	71	3,532	78
	8	3,662	92	371	77	3,291	94
	9	3,891	108	416	97	3,476	109
	10	3,635	93	400	98	3,235	92
	11	3,371	90	346	90	3,025	90
	12	3,565	85	308	93	3,257	85
2021年	1	3,364	113	246	108	3,118	114
	2	3,345	93	241	105	3,104	92
	3	4,272	115	287	103	3,984	116
	4	4,207	103	347	111	3,861	102
	5	4,277	105	307	119	3,970	104
	6	4,275	113	327	94	3,948	114
	7	4,082	106	344	107	3,738	106
	8	3,127	85	299	81	2,828	86
	9	3,700	95	307	74	3,394	98
	10	5,328	147	341	85	4,987	154
	11	3,737	111	293	85	3,444	114
	12	4,747	133	281	91	4,465	137
2022年	1	3,237	96	214	87	3,023	97
	2	3,711	111	223	93	3,488	112
	3	3,627	85	244	85	3,384	85
	4	4,866	116	285	82	4,581	119
	5	3,920	92	318	104	3,602	91
	6	4,788	112	349	107	4,438	112
	7	4,983	122	346	101	4,637	124
	8	3,980	127	327	109	3,653	129
	9	3,589	97	354	115	3,236	95
	10	3,599	68	300	88	3,299	66
	11	3,512	94	299	102	3,213	93
	12	3,391	71	256	91	3,134	70
2023年	1	3,898	120	216	101	3,682	122
	2	3,570	96	224	100	3,346	96
	3	2,803	77	226	93	2,577	76
	4	4,804	99	306	107	4,498	98
	5	3,254	83	325	102	2,930	81
	6	3,148	66	315	90	2,834	64
	7	3,612	72	278	80	3,333	72
	8	3,523	89	332	102	3,191	87
	9	3,617	101	342	97	3,275	101
	10	4,622	128	292	97	4,330	131
	11	3,170	90	297	99	2,873	89
	12	3,426	101	254	99	3,172	101
2019年計		48,687	93	4,341	103	44,346	92
2020年計		44,237	91	3,820	88	40,415	91
2021年計		48,461	110	3,620	95	44,841	111
2022年計		47,203	97	3,515	97	43,688	97
2023年計		43,447	92	3,407	97	40,041	92
2019年	第1四半期	11,004	89	796	94	10,208	88
	第2四半期	13,251	99	1,058	103	12,193	99
	第3四半期	12,576	93	1,362	115	11,214	90
	第4四半期	11,856	91	1,125	98	10,731	90
2020年	第1四半期	10,296	94	738	93	9,556	94
	第2四半期	11,962	90	918	87	11,043	91
	第3四半期	11,408	91	1,110	81	10,299	92
	第4四半期	10,571	89	1,054	94	9,517	89
2021年	第1四半期	10,981	107	774	105	10,206	107
	第2四半期	12,759	107	981	107	11,779	107
	第3四半期	10,909	96	950	86	9,960	97
	第4四半期	13,812	131	915	87	12,896	136
2022年	第1四半期	10,575	96	681	88	9,895	97
	第2四半期	13,574	106	952	97	12,621	107
	第3四半期	12,552	115	1,027	108	11,526	116
	第4四半期	10,502	76	855	93	9,646	75
2023年	第1四半期	10,271	97	666	98	9,605	97
	第2四半期	11,206	83	946	99	10,262	81
	第3四半期	10,752	86	952	93	9,799	85
	第4四半期	11,218	107	843	99	10,375	108

資料：国土交通省「建築着工統計調査報告」

基礎的指標-3 木材産業の業況

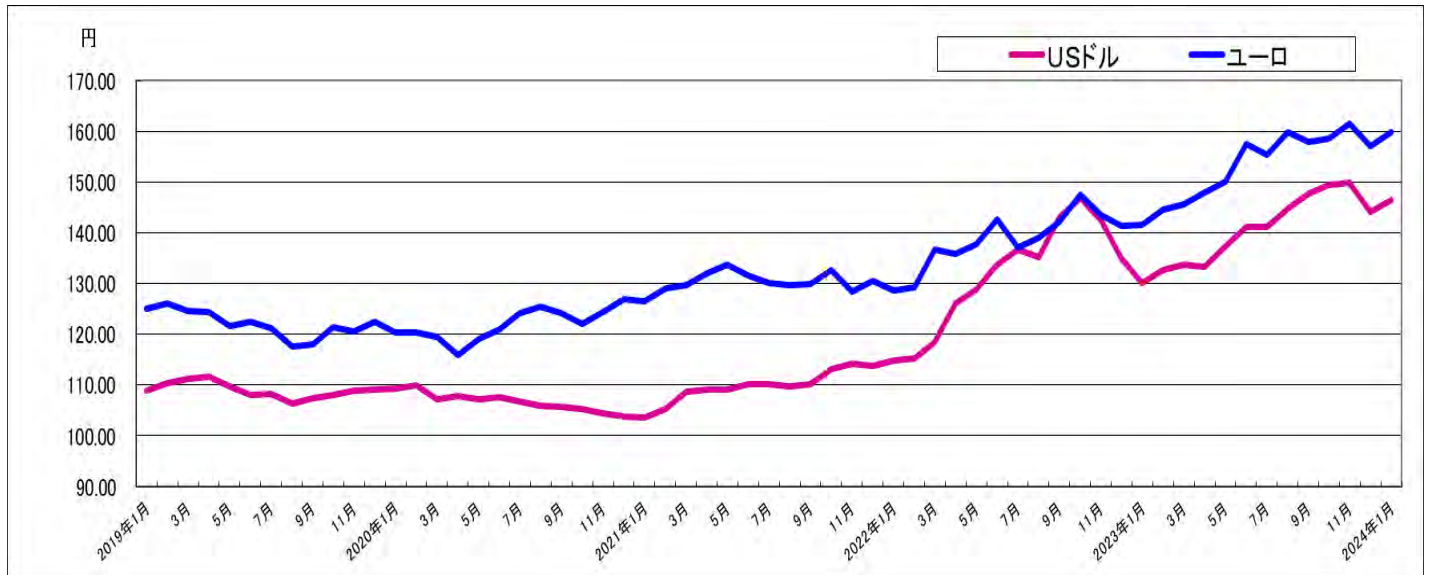
- 2023年は、木材産業の倒産件数が 27件（前年比208%）、負債金額が 5,322百万円（同70%）。

年・月		企業倒産状況							
		全 企 業				木材・木製品業			
		件数 (件)	前年 比(%)	負債金額 (百万円)	前年 比(%)	件数 (件)	前年 比(%)	負債金額 (百万円)	前年 比(%)
2020年	1	773	116	124,734	74	0	-	0	-
	2	651	111	71,283	36	0	-	0	-
	3	740	112	105,949	109	1	100	300	56
	4	743	115	144,990	136	10	500	1,280	161
	5	314	45	81,336	76	2	67	320	40
	6	780	106	128,816	148	4	400	444	753
	7	789	98	100,821	108	1	20	89	26
	8	667	98	72,416	83	2	67	150	54
	9	565	80	70,740	63	1	17	637	66
	10	624	80	78,342	88	2	100	57	63
	11	569	78	102,101	83	3	150	550	117
	12	558	79	138,518	88	1	25	25	5
2021年	1	474	61	81,388	65	2	-	180	-
	2	446	69	67,490	95	0	-	0	-
	3	634	86	141,453	134	3	300	327	109
	4	477	64	84,098	58	4	40	50	4
	5	472	150	168,664	207	1	50	120	38
	6	541	69	68,566	53	5	125	3,296	742
	7	476	60	71,465	71	0	-	0	-
	8	466	70	90,973	126	1	50	10	7
	9	505	89	90,860	128	2	200	230	36
	10	525	84	98,464	126	0	-	0	-
	11	510	90	94,101	92	0	-	0	-
	12	504	90	93,181	67	1	100	100	400
2022年	1	452	95	66,940	82	1	50	13	7
	2	459	103	70,989	105	0	-	0	-
	3	593	94	169,673	120	4	133	2,010	615
	4	486	102	81,253	97	2	50	2,900	5,800
	5	524	111	87,380	52	1	100	180	150
	6	546	101	1,232,583	1,798	0	-	0	-
	7	494	104	84,570	118	0	-	0	-
	8	492	106	111,428	122	1	100	1,880	18,800
	9	599	119	144,871	159	1	50	45	20
	10	596	114	86,995	88	1	-	200	-
	11	581	114	115,589	123	1	-	86	-
	12	606	120	79,172	85	1	100	331	331
2023年	1	570	126	56,524	84	3	300	230	1,769
	2	577	126	96,580	136	1	-	154	-
	3	809	136	147,434	87	4	100	1,340	67
	4	610	126	203,861	251	3	150	1,122	39
	5	706	135	278,734	319	2	200	270	150
	6	770	141	150,947	12	3	-	571	-
	7	758	153	162,137	192	3	-	339	-
	8	760	154	108,377	97	2	200	140	7
	9	720	120	691,942	478	0	-	0	-
	10	793	133	308,010	354	0	-	0	-
	11	807	139	94,871	82	1	100	50	58
	12	810	134	103,228	130	5	500	1,106	334
2020年計		7,773	93	1,220,046	86	27	90	3,852	79
2021年計		6,030	78	1,150,703	94	19	70	4,313	112
2022年計		6,428	107	2,331,443	203	13	68	7,645	177
2023年計		8,690	135	2,402,645	103	27	208	5,322	70
2020年	第1四半期	2,164	113	301,966	65	1	50	300	55
	第2四半期	1,837	89	355,142	118	16	267	2,044	124
	第3四半期	2,021	93	243,977	83	4	29	876	55
	第4四半期	1,751	79	318,961	87	6	75	632	57
2021年	第1四半期	1,554	72	290,331	96	5	500	507	169
	第2四半期	1,490	81	321,328	90	10	63	3,466	170
	第3四半期	1,447	72	253,298	104	3	75	240	27
	第4四半期	1,539	88	285,746	90	1	17	100	16
2022年	第1四半期	1,504	97	307,602	106	5	100	2,023	399
	第2四半期	1,556	104	1,401,216	436	3	30	3,080	89
	第3四半期	1,585	110	340,869	135	2	67	1,925	802
	第4四半期	1,783	116	281,756	99	3	300	617	617
2023年	第1四半期	1,956	130	300,538	98	8	160	1,724	85
	第2四半期	2,086	134	633,542	45	8	267	1,963	64
	第3四半期	2,238	141	962,456	282	5	250	479	25
	第4四半期	2,410	135	506,109	180	6	200	1,156	187

資料：東京商工リサーチ「TSR情報（全国企業倒産状況）」

基礎的指標-4 USドル及びユーロ為替相場

- 2024年1月の為替相場は、1ドル146.57円、1ユーロ159.97円。



(単位:円)

年月	USDドル	ユーロ
2019年1月	108.95	125.15
2月	110.36	126.09
3月	111.21	124.56
4月	111.66	124.38
5月	109.83	121.74
6月	108.06	122.49
7月	108.22	121.19
8月	106.27	117.63
9月	107.41	118.02
10月	108.12	121.46
11月	108.86	120.59
12月	109.18	122.54
2020年1月	109.34	120.30
2月	109.96	120.32
3月	107.29	119.55
4月	107.93	116.00
5月	107.31	119.13
6月	107.56	121.08
7月	106.78	124.13
8月	106.04	125.47
9月	105.74	124.17
10月	105.24	122.14
11月	104.40	124.38
12月	103.82	126.95
2021年1月	103.70	126.48
2月	105.36	129.15
3月	108.65	129.80
4月	109.13	131.99
5月	109.19	133.74
6月	110.11	131.58
7月	110.29	130.11
8月	109.84	129.69
9月	110.17	129.86
10月	113.10	132.77
11月	114.13	128.41
12月	113.87	130.51

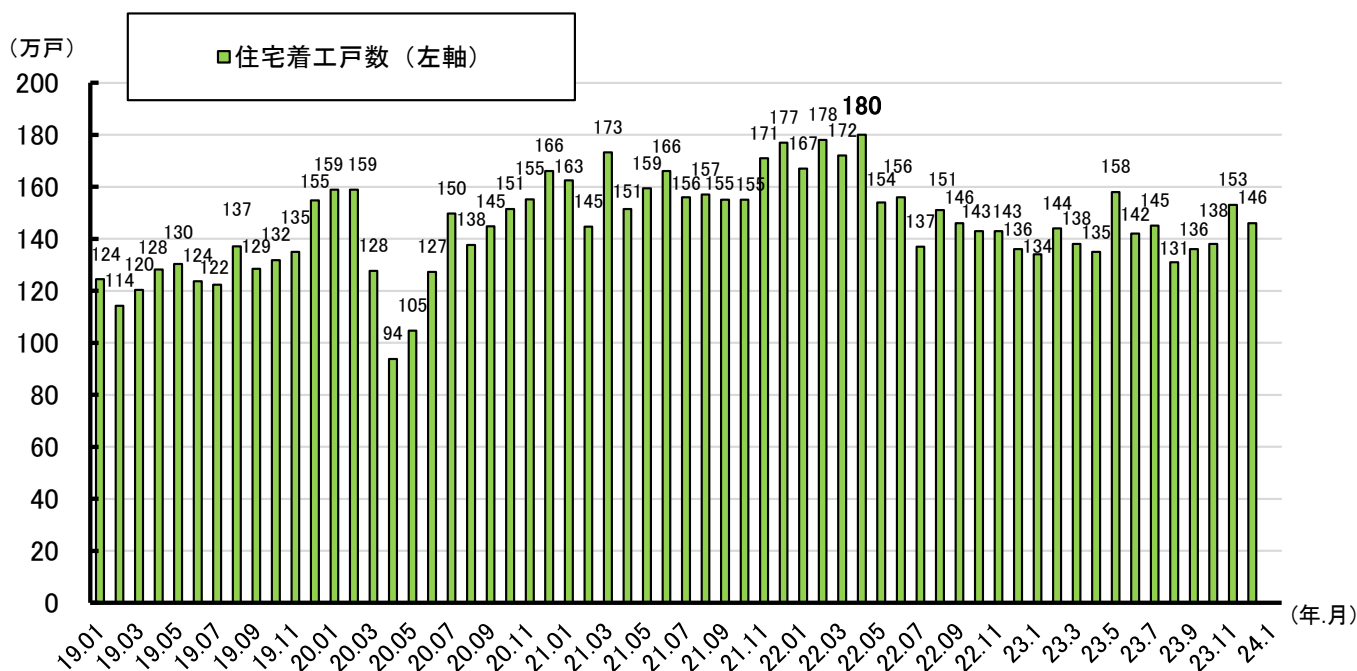
(単位:円)

年月	USDドル	ユーロ
2022年1月	114.83	128.66
2月	115.20	129.34
3月	118.51	136.70
4月	126.04	135.83
5月	128.78	137.76
6月	133.86	142.67
7月	136.63	137.25
8月	135.24	139.03
9月	143.14	142.32
10月	147.01	147.59
11月	142.44	143.58
12月	134.93	141.47
2023年1月	130.20	141.56
2月	132.68	144.61
3月	133.85	145.72
4月	133.33	148.04
5月	137.37	150.04
6月	141.19	157.60
7月	141.21	155.35
8月	144.77	159.84
9月	147.67	158.00
10月	149.53	158.66
11月	149.83	161.51
12月	144.07	157.12
2024年1月	146.57	159.97

資料：USドルは日銀 主要時系列統計データ表 為替相場（東京市場 スポットレート 中心相場 月中平均）、ユーロは日銀「金融経済統計月報」対顧客為替相場。

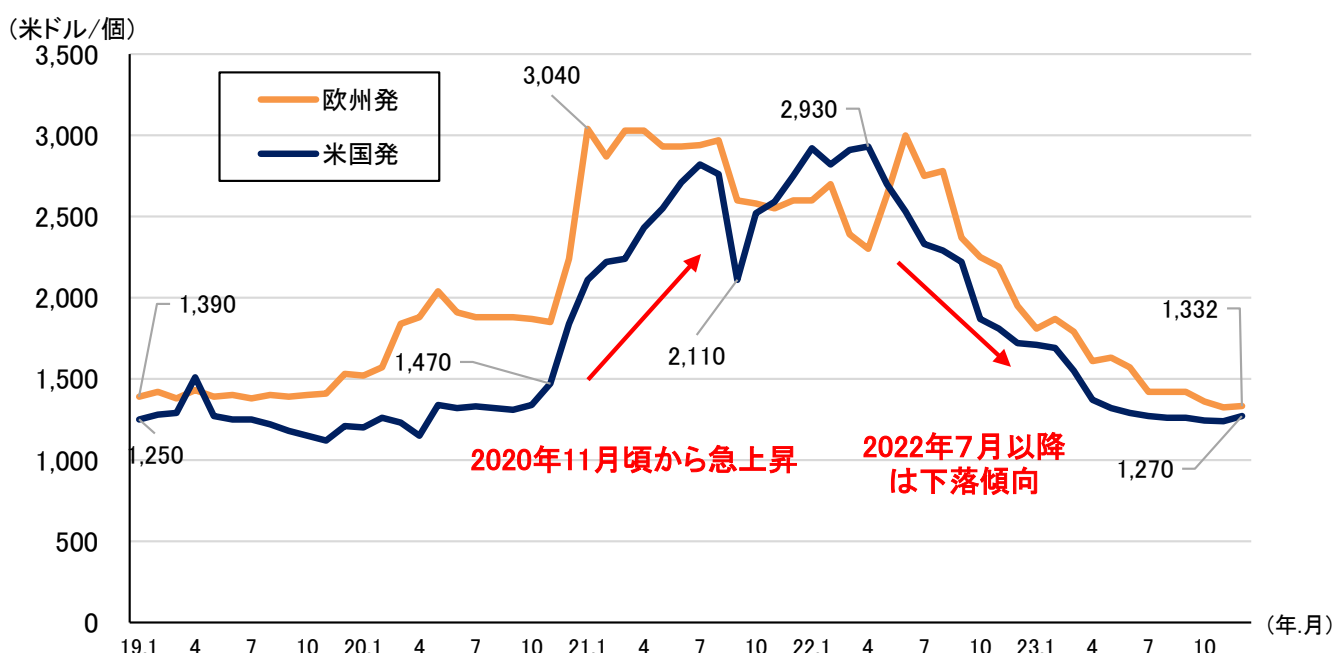
- 2023年12月の米国の住宅着工戸数(年率換算、戸建て計)は、前月比94%の約146万戸。
- 日本向けコンテナ運賃は、欧州発、米国発ともに一時期高騰していたが、2022年7月以降は下落傾向が続き、2023年12月時点で2019年頃の水準に戻っている。

○米国における住宅着工戸数



資料: (住宅着工戸数)米国商務省「住宅着工統計」(季節調整済み、年率換算、戸建て計)

○日本向けコンテナ運賃の推移



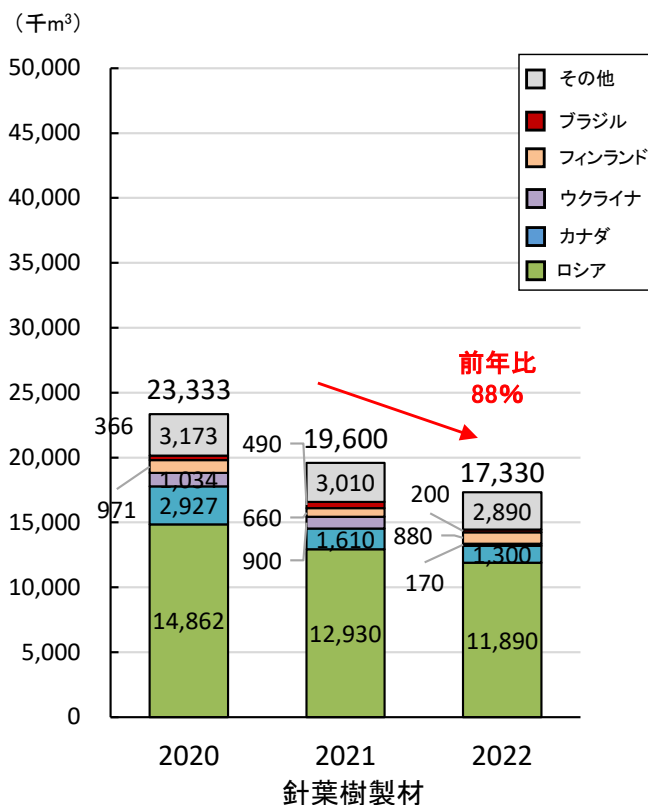
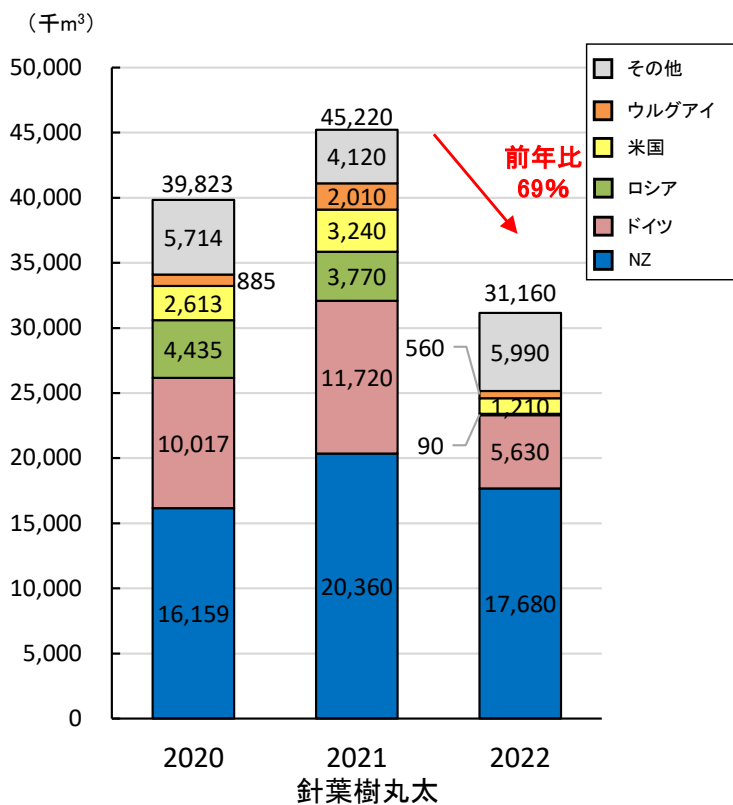
注: 40ftコンテナ。「米国発」はLos Angeles発横浜着、「欧州発」はRotterdam発横浜着。

出典: Drewry「Container Freight Rate Insight」

資料: 日本海事センター「主要航路コンテナ運賃動向」

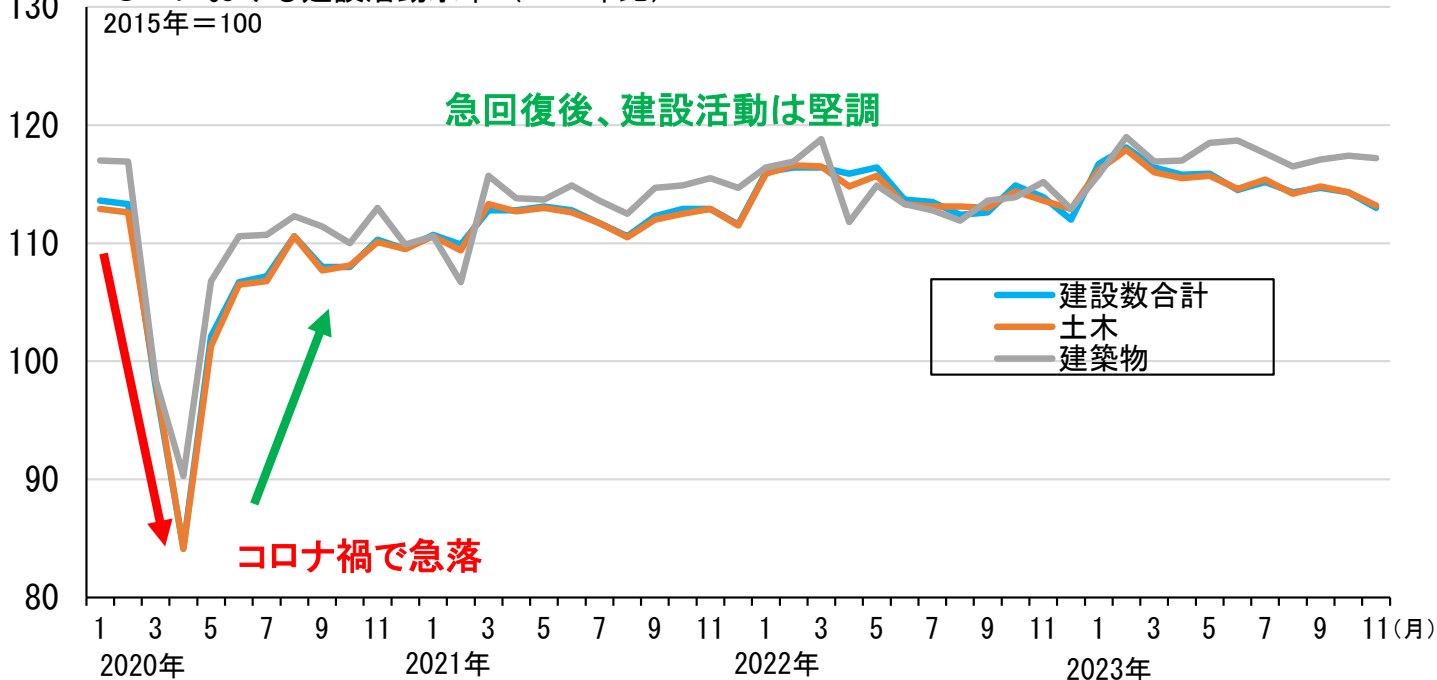
- 2022年の中国における針葉樹丸太輸入量は、前年比69%の31,160千m³。針葉樹製材輸入量は、前年比88%の17,330千m³。輸入量減少の主な要因として、産地側の事情とともに、中国当局による新型コロナウイルス感染防止のためのロックダウン（都市封鎖）に伴う総需要量の後退が影響。
- EUでは、コロナ禍により、2020年春に建設活動が急激に低下したが、同年夏以降は回復して、以後、堅調に推移。

○中国の木材輸入量 (2020年～2022年)



資料: ITTO (Tropical Timber Market Report, Vol.26 (3) (5)、Vol 27 (3) (4))

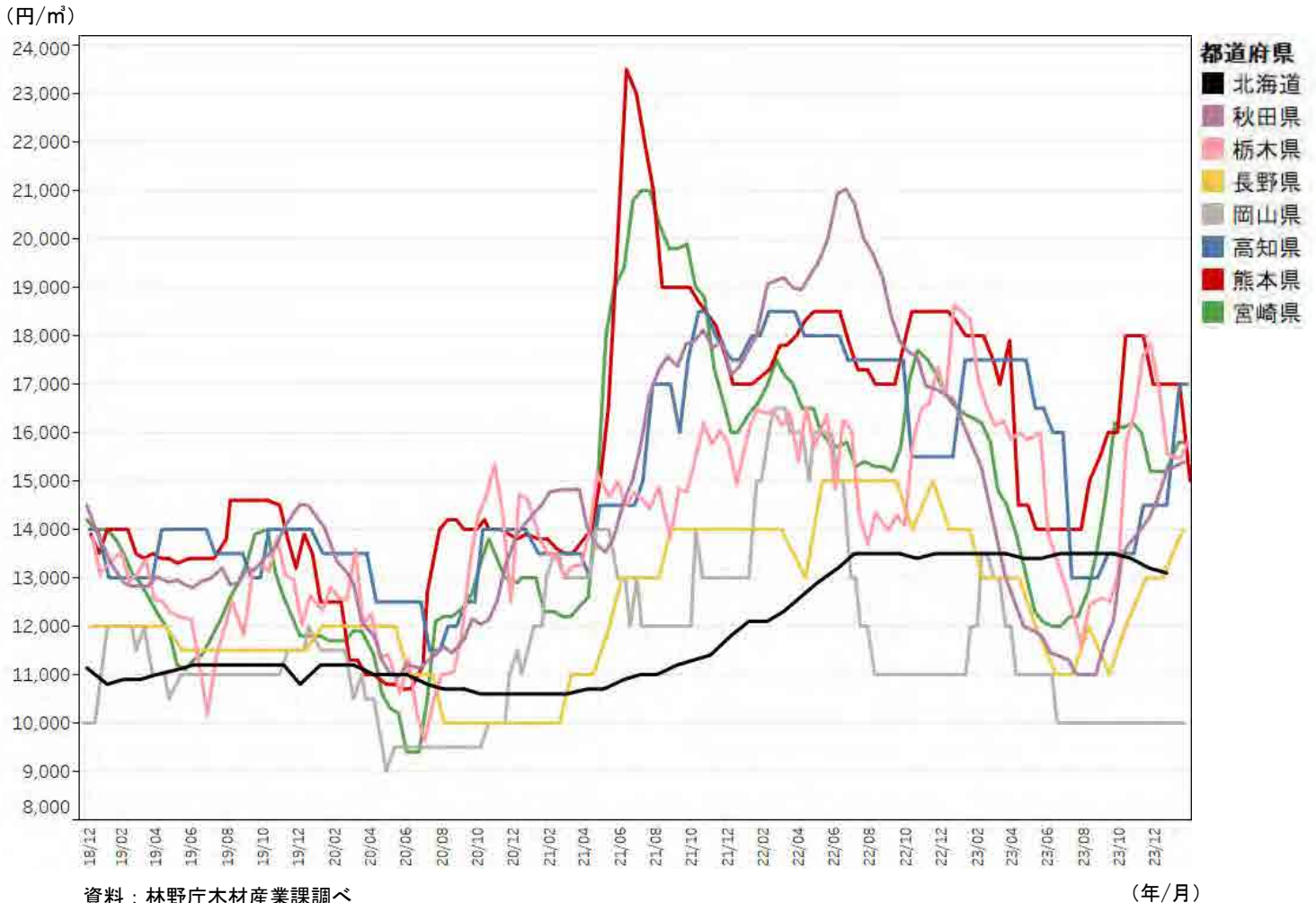
○EUにおける建設活動水準 (2015年比)



資料: Eurostat (Production in construction - monthly data)

木材価格情報-1 スギ原木の主要市場価格

- 全国の原木市場・共販所において、直近のスギ原木価格は、10,000円～17,000円/㎡となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ

注1：北海道はカラマツ（工場着価格）。

注2：径24cm程度、長さ3.65～4.0m（2018年12月～）。

注3：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

(年/月)

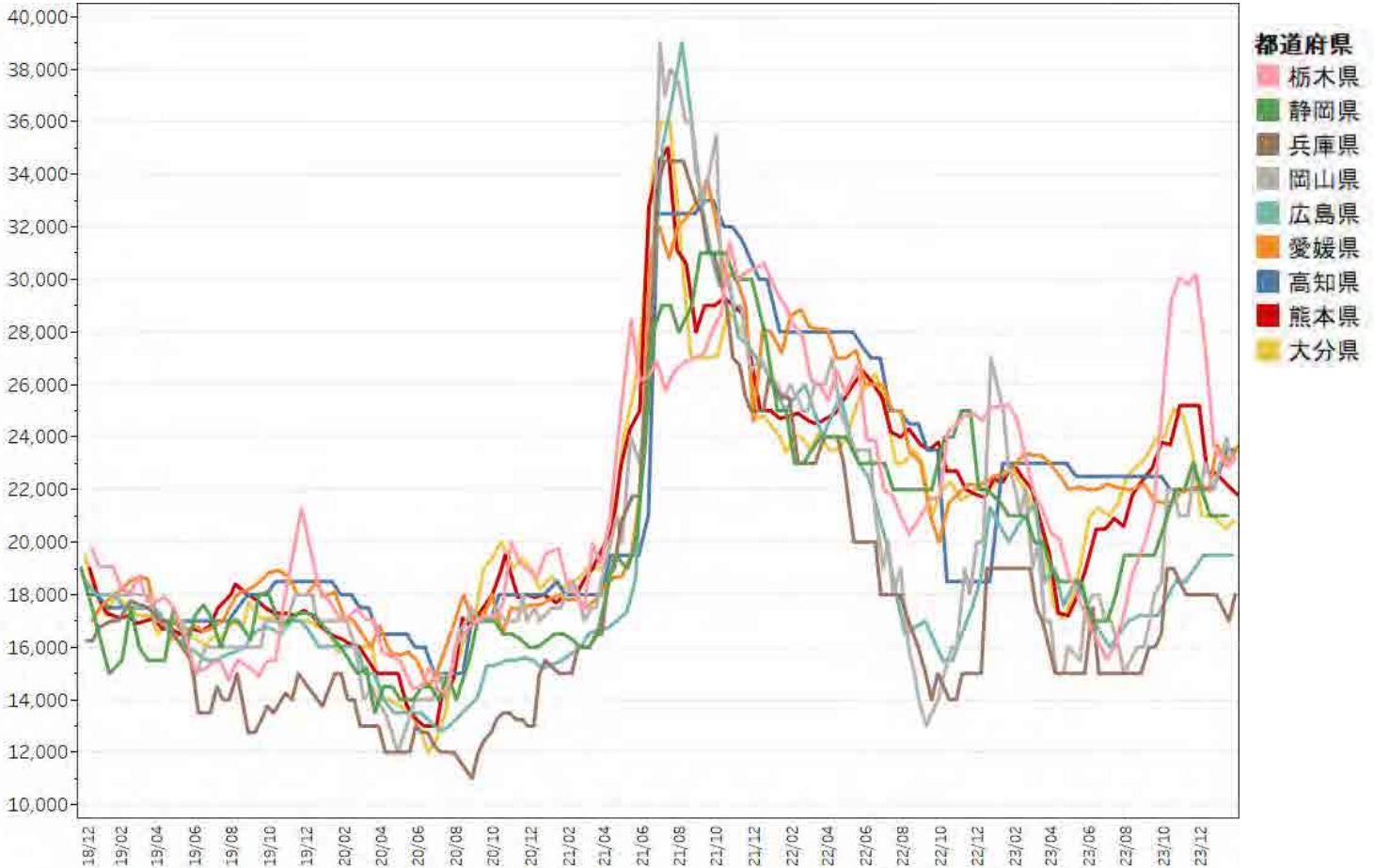
(単位：円/㎡)

都道府県	2024年直近*	前年同期	前年同期比
北海道	13,100	13,500	97%
秋田県	15,390	15,840	97%
栃木県	15,790	18,330	86%
長野県	14,000	14,000	100%
岡山県	10,000	12,000	83%
高知県	17,000	17,500	97%
熊本県	15,000	18,000	83%
宮崎県	15,800	16,300	97%

※北海道については12月、秋田県、栃木県、長野県、岡山県、高知県、熊本県及び宮崎県については1月の値を使用。

- 全国の原木市場・共販所において、直近のヒノキ原木価格は、18,000円～23,650円/m³となっている。

(円/m³)



資料：林野庁木材産業課調べ

注1：径24cm程度、長3.65～4.0m（2018年12月～）

注2：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

(年/月)

(単位：円/m³)

都道府県	2024年直近※	前年同期	前年同期比
栃木県	23,180	25,230	92%
静岡県	21,000	21,500	98%
兵庫県	18,000	19,000	95%
岡山県	23,000	23,000	100%
広島県	19,500	20,000	98%
愛媛県	23,650	22,900	103%
高知県	23,500	23,000	102%
熊本県	21,800	23,000	95%
大分県	20,800	23,000	90%

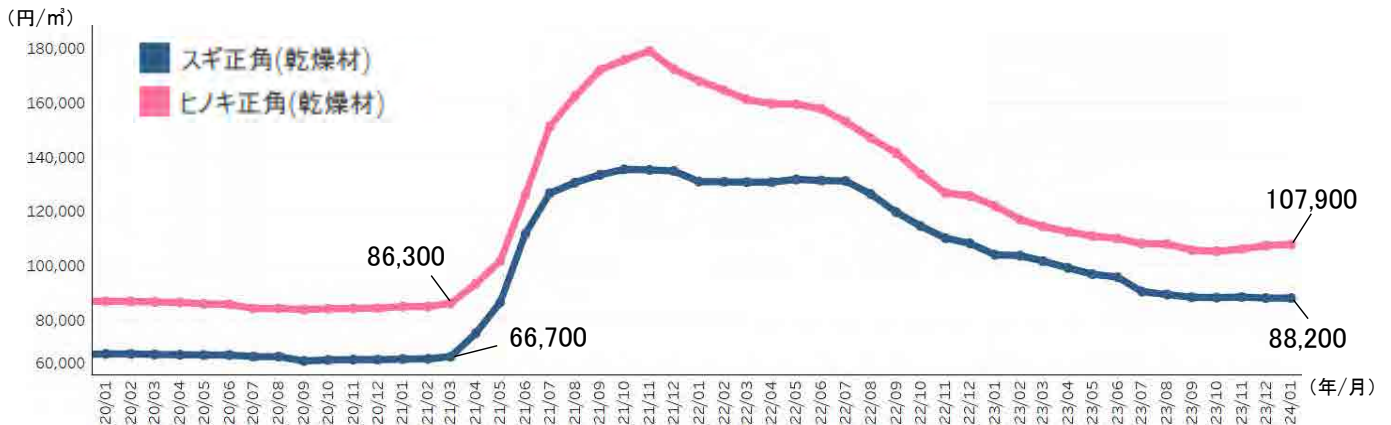
※各県1月の値を使用。

木材価格情報-2 木材価格（農林水産統計）

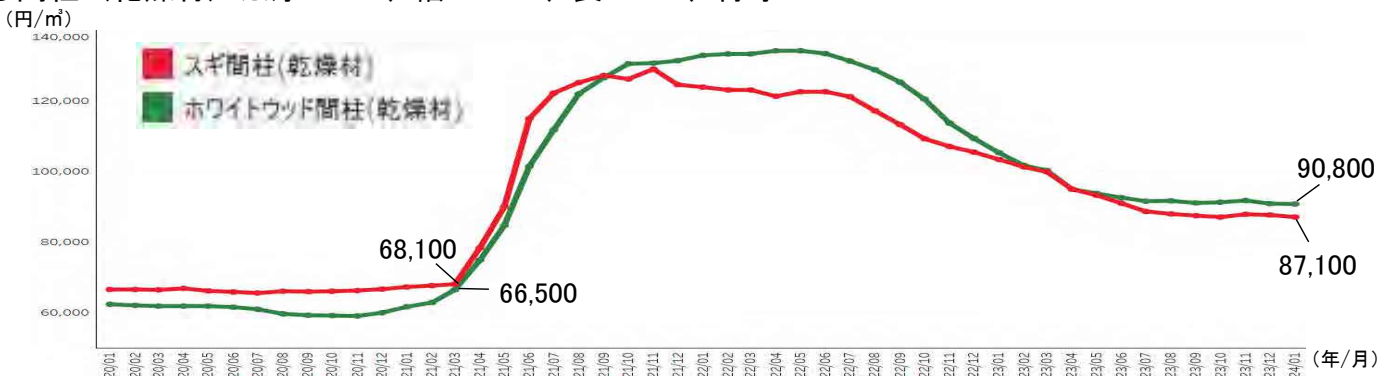
- 2024年1月の正角（乾燥材）の価格について、スギは88,200円/m³（前年同期比85%）、ヒノキは107,900円/m³（同88%）。
- 同月の間柱（乾燥材）の価格は、スギは87,100円/m³（前年同期比84%）、ホワイトウッドは90,800円/m³（同86%）。
- 2023年12月の針葉樹合板の価格は、1,790円/枚（前年同月比77%）。

■主な製材品等の価格推移（全国平均価格）

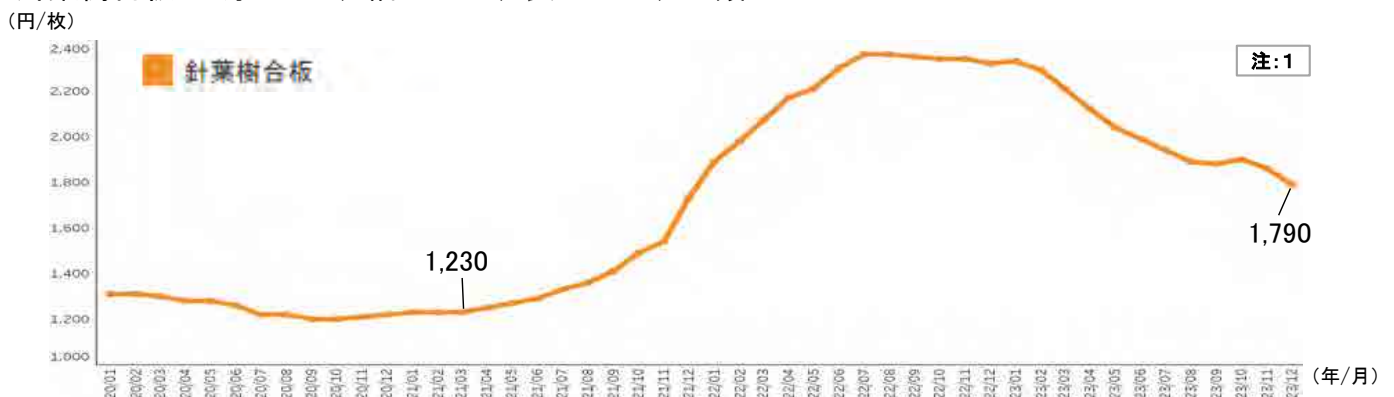
○正角（乾燥材）※厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級



○間柱（乾燥材）※厚3.0cm、幅10.5cm、長3.0m、特等



○針葉樹合板 ※厚1.2cm、幅91.0cm、長1.82m、1類



資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

注：1 針葉樹合板は、2022年1月より、四半期ごとの公表となった（4月に1～3月分、7月に4～6月分、10月に7～9月分、翌1月に10～12月分を公表）。

2 製材品価格及び合板価格は、木材市売市場にあたってはせり又は入札による取引価格、木材センター及び木材販売業者にあたっては店頭渡し価格である。

3 2023年は「木材価格」に拠る速報値、2022年以前は「木材需給報告書」に拠る確定値である。（速報値は今後修正される可能性がある）

(1) 全国平均価格

年次	月	丸太								製材品																	
		スギ		ヒノキ		カラマツ		スギ		スギ		ヒノキ		ヒノキ		ミツガ		スギ		ホワイトウッド							
		中丸太(製材用)		中丸太(製材用)		中丸太(製材用)		丸太(合板用)		正角		正角(乾燥材)		正角		正角(乾燥材)		正角(防腐処理材)		間柱(乾燥材)		間柱(乾燥材)					
		14-22cm 3.65-4m (円/m ³)	対前 年比 (%)	14-22cm 3.65-4m (円/m ³)	対前 年比 (%)	14-28cm 3.65-4m (円/m ³)	対前 年比 (%)	18cm上	対前 年比 (%)	10.5cm角、 3.0m (円/m ³)	対前 年比 (%)	10.5cm角、 3.0m (円/m ³)	対前 年比 (%)	10.5cm角、 3.0m (円/m ³)	対前 年比 (%)	10.5cm角、 3.0m (円/m ³)	対前 年比 (%)	4.0m (円/m ³)	対前 年比 (%)	3.0×10.5cm、 3.0m (円/m ³)	対前 年比 (%)	3.0×10.5cm、 3.0m (円/m ³)	対前 年比 (%)				
2021年	1	13,500	104	18,100	97	12,400	98	10,900	96	62,200	99	65,800	97	77,400	98	85,100	98	79,600	100	67,300	101	61,700	99				
	2	13,300	102	18,700	101	12,500	98	11,000	96	62,200	99	65,900	97	77,400	98	85,100	98	79,800	100	67,700	102	62,900	101				
	3	13,400	105	18,900	106	12,400	98	11,100	98	62,500	100	66,700	99	79,200	100	86,300	99	81,300	102	68,100	102	66,500	107				
	4	13,600	111	19,800	118	12,400	98	11,300	101	64,500	103	75,300	112	79,400	103	93,500	108	87,500	110	78,400	117	74,900	121				
	5	15,500	129	21,400	132	12,500	99	11,400	102	65,400	105	86,600	129	83,700	108	101,800	118	94,300	118	90,000	136	84,700	137				
	6	17,500	151	25,200	158	13,100	105	11,900	107	70,100	112	111,800	166	87,900	112	126,100	147	103,600	130	115,000	175	101,500	165				
	7	17,800	150	30,100	195	13,400	108	12,000	109	71,400	115	126,700	190	98,000	127	151,200	179	118,200	149	122,200	186	111,800	183				
	8	18,100	141	32,100	201	13,500	109	12,300	114	注1)68,900	注2)	130,600	196	注1)93,700	注2)	162,300	192	126,700	159	125,200	189	122,000	204				
	9	18,100	141	32,300	190	13,800	110	12,400	116	68,900	-	133,500	205	99,700	-	172,000	205	135,300	171	127,200	193	126,600	213				
	10	18,000	137	33,000	189	13,900	112	12,700	118	69,000	-	135,500	207	96,200	-	175,700	208	136,600	172	126,200	191	130,500	220				
	11	17,500	131	32,000	176	14,000	113	13,400	123	68,900	-	135,300	206	96,200	-	179,000	212	136,100	172	129,000	195	130,700	221				
	12	17,200	128	29,100	159	14,000	113	13,900	128	67,800	-	134,900	206	95,500	-	172,300	204	136,100	172	124,600	187	131,400	219				
2022年	1	16,900	125	29,100	161	14,400	116	14,200	130	67,600	-	131,000	199	94,800	-	168,000	197	139,200	175	123,900	184	132,900	215				
	2	17,600	132	27,900	149	14,500	116	15,500	141	65,800	-	130,900	199	94,100	-	164,600	193	139,300	175	123,100	182	133,300	212				
	3	17,800	133	27,600	146	14,800	119	15,700	141	65,800	-	130,800	196	93,400	-	161,100	187	139,300	171	123,100	181	133,300	200				
	4	17,500	129	27,200	137	15,000	121	16,000	142	65,900	-	130,800	174	93,800	-	159,600	171	141,400	162	121,300	155	134,200	179				
	5	17,900	115	26,500	124	16,000	128	16,100	141	65,900	-	131,800	152	93,400	-	159,400	157	142,100	151	122,600	136	134,200	158				
	6	17,800	102	25,900	103	17,300	132	16,100	135	65,900	-	131,400	118	92,000	-	157,700	125	143,100	138	122,600	107	133,400	131				
	7	17,500	98	25,300	84	17,000	127	16,200	135	65,900	-	131,200	104	91,200	-	153,000	101	143,500	121	121,200	99	131,300	117				
	8	17,400	96	24,000	75	17,000	126	15,900	129	64,600	94	126,400	97	89,300	95	147,000	91	143,100	113	117,200	94	128,800	106				
	9	17,400	96	21,900	68	16,900	122	15,700	127	63,500	92	119,800	90	88,400	89	141,600	82	142,400	105	113,300	89	125,300	99				
	10	18,000	100	21,600	65	16,900	122	15,600	123	61,700	89	114,700	85	86,700	90	133,800	76	141,800	104	109,300	87	120,500	92				
	11	17,800	102	22,100	69	16,700	119	15,400	115	61,700	90	110,200	81	85,900	89	126,800	71	141,200	104	107,100	83	113,700	87				
	12	17,500	102	22,000	76	16,700	119	15,400	111	60,500	89	108,300	80	84,800	89	125,800	73	140,700	103	105,500	85	109,400	83				
2023年	1	17,400	103	23,000	79	16,400	114	15,200	107	59,700	88	104,100	79	81,800	86	122,000	73	140,200	101	103,400	83	105,300	79				
	2	17,300	98	23,000	82	16,300	112	15,200	98	59,200	90	103,800	79	80,700	86	117,100	71	136,000	98	101,300	82	101,700	76				
	3	16,700	94	22,700	82	16,300	110	15,200	97	58,600	89	101,800	78	77,700	83	114,500	71	134,600	97	99,900	81	100,300	75				
	4	15,800	90	21,900	81	16,200	108	15,100	94	55,500	84	99,300	76	76,600	82	112,600	71	131,600	93	95,000	78	95,000	71				
	5	15,100	84	20,700	78	16,200	101	14,900	93	54,300	82	97,000	74	76,500	82	111,000	70	129,500	91	93,300	76	93,800	70				
	6	14,700	83	20,600	80	16,200	94	14,800	92	50,100	76	95,900	73	75,400	82	110,100	70	127,300	89	91,000	74	92,600	69				
	7	14,500	83	20,500	81	16,100	95	14,500	90	50,100	76	90,600	69	73,800	81	108,200	71	125,000	87	88,700	73	91,600	70				
	8	14,400	83	20,800	87	15,400	91	14,400	91	50,000	77	89,500	71	73,100	82	108,100	74	124,300	87	88,000	75	91,700	71				
	9	15,200	87	21,400	98	16,000	95	14,200	90	48,300	76	88,500	74	72,600	82	105,800	75	124,300	87	87,500	77	91,100	73				
	10	15,900	88	22,600	105	15,800	93	14,200	91	50,000	81	88,400	77	72,800	84	105,400	79	123,200	87	87,100	80	91,300	76				
	11	16,200	91	23,500	106	15,800	95	14,100	92	50,100	81	88,600	80	73,100	85	106,200	84	119,400	85	87,900	82	91,800	81				
	12	15,900	91	23,600	107	15,800	95	14,100	92	50,100	83	88,200	81	75,400	89	107,500	85	119,400	85	87,700	83	90,900	83				
2024年	1	16,300	94	23,400	102	15,800	96	14,100	93	注1) -	注2)	88,200	85	注1) -	注2)	107,900	88	注1) -	注2)	87,100	84	90,800	86				
2021年		16,100	127	25,900	151	13,200	106	12,000	108	注2)	-	注2)	-	105,700	158	注2)	-	注2)	-	132,500	155	109,600	138	103,400	156	100,400	165
2022年		17,600	109	25,100	97	16,100	122	15,700	131	64,600	-	124,800	118	90,700	-	149,900	113	141,400	129	117,500	114	127,500	127				
2023年		15,800	90	22,000	88	16,000	99	14,700	94	53,000	82	94,600	76	75,800	84	110,700	74	127,900	90	92,600	79	94,800	74				
2021年	第1四半期	13,400	103	18,600	102	12,400	98	11,000	96	62,300	99	66,100	98	78,000	99	85,500	98	80,200	101	67,700	102	63,700	103				
	第2四半期	15,500	129	22,100	136	12,700	101	11,500	103	66,700	107	91,200	136	83,700	108	107,100	124	95,100	119	94,500	143	87,000	141				
	第3四半期	18,000	144	31,500	196	13,600	110	12,200	113	注1) -	注2)	-	130,300	197	注1) -	注2)	-	161,800	192	126,700	160	124,900	190	120,100	200		
	第4四半期	17,600	132	31,400	174	14,000	113	13,300	122	68,600	-	135,200	206	96,000	-	175,700	208	136,300	172	126,600	191	130,900	220				
2022年	第1四半期	17,400	130	28,200	152	14,600	118	15,100	137	66,400	-	130,900	198	94,100	-	164,600	193	139,300	174	123,400	182	133,200	209				
	第2四半期	17,700	114	26,500	120	16,100	127	16,100	140	65,900	-	131,300	144	93,100	-	158,900	148	142,200	150	122,200	129	133,900	154				
	第3四半期	17,400	97	23,700	75	17,000	125	15,900	130	64,700	-	125,800	97	89,600	-	147,200	91	143,000	113	117,200	94	128,500	107				
	第4四半期	17,800	101	21,900	70	16,800	120	15,500	117	61,300	89	111,100	82	85,800	89	128,800	73	141,200	104	107,300	85	114,500	87				
2023年	第1四半期	17,100	98	22,900	81	16,300	112	15,200	101	59,200	89	103,200	79	80,100	85	117,900	72	136,900	98	101,500	82	102,400	77				
	第2四半期	15,200	86	21,100	80	16,200	101	14,900	93	53,300	81	97,400	74	76,200	82	111,200	70	129,500	91	93,100	76	93,800	70				
	第3四半期	14,700	84	20,900	88	15,800	93	14,400	91	49,500	77	89,500	71	73,200	82	107,400	73	124,500	87	88,100	75	91,500	71				
	第4四半期	16,000	90	23,200	106	15,800	94	14,100	91	50,100	82	88,400	80	73,800	86	106,400	83	120,700	85								

年次	月	構造用集成材						合板		チップ							
		スギ集成管柱 国産、無化粧			ホホワイトウッド集成管柱 国産、無化粧			針葉樹合板		チップ用素材(丸木)				木材チップ			
		10.5角×2.98~3m JAS			10.5角×2.98~3m JAS			1.2×91.0cm、 1.82m (円/枚)		針葉樹		広葉樹		針葉樹		広葉樹	
		(円/m ³) (参考値:注4)	(円/本)	対前 年比 (%)	(円/m ³) (参考値:注4)	(円/本)	対前 年比 (%)	対前 年比 (%)	(円/m ³)	対前 年比 (%)	(円/m ³)	対前 年比 (%)	(円/t)	対前 年比 (%)	(円/t)	対前 年比 (%)	
2021年	1	63,492	2,100	105	57,445	1,900	95	1,230	94	6,500	100	9,500	100	14,800	99	19,400	100
	2	60,469	2,000	100	57,445	1,900	95	1,230	94	6,500	100	9,500	100	14,600	98	19,300	99
	3	60,469	2,000	95	60,469	2,000	100	1,230	95	6,500	100	9,500	101	14,600	98	19,300	99
	4	63,492	2,100	105	66,515	2,200	110	1,250	98	6,500	100	9,500	100	14,600	98	19,300	99
	5	66,515	2,200	110	72,562	2,400	120	1,270	99	6,700	103	9,500	100	14,600	98	19,300	99
	6	72,562	2,400	120	84,656	2,800	140	1,290	102	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,300	99
	7	75,586	2,500	119	96,750	3,200	160	1,330	109	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,300	99
	8	90,703	3,000	143	117,914	3,900	195	1,360	111	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,400	100
	9	96,750	3,200	152	142,101	4,700	235	1,410	118	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,400	100
	10	105,820	3,500	175	154,195	5,100	255	1,490	124	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,400	101
	11	108,844	3,600	180	154,195	5,100	255	1,540	127	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,300	101
	12	111,867	3,700	185	154,195	5,100	268	1,730	142	6,700	103	9,500	100	14,600	99	19,400	101
2022年	1	111,867	3,700	176	157,218	5,200	274	1,890	154	6,700	103	9,500	100	15,000	101	19,400	100
	2	114,890	3,800	190	157,218	5,200	274	1,980	161	6,700	103	9,600	101	15,000	103	19,400	101
	3	111,867	3,700	185	154,195	5,100	255	2,070	168	6,800	105	9,600	101	15,100	103	19,400	101
	4	114,890	3,800	181	154,195	5,100	232	2,170	174	6,900	106	9,700	102	15,200	104	19,600	102
	5	114,890	3,800	173	154,195	5,100	213	2,210	174	7,000	104	9,700	102	15,300	105	19,800	103
	6	114,890	3,800	158	154,195	5,100	182	2,300	178	7,000	104	9,800	103	15,300	104	19,800	103
	7	111,867	3,700	148	142,101	4,700	147	2,360	177	7,100	106	9,800	103	15,300	104	19,800	103
	8	111,867	3,700	123	139,078	4,600	118	2,360	174	7,100	106	9,800	103	15,300	104	19,900	103
	9	111,867	3,700	116	133,031	4,400	94	2,350	167	7,200	107	9,800	103	15,300	104	19,900	103
	10	105,820	3,500	100	123,961	4,100	80	2,340	157	7,100	106	9,800	103	15,500	105	19,900	103
	11	102,797	3,400	94	120,937	4,000	78	2,340	152	7,200	107	9,900	104	15,700	107	20,200	105
	12	99,773	3,300	89	105,820	3,500	69	2,320	134	7,100	106	9,900	104	15,800	108	20,300	105
2023年	1	93,726	3,100	84	99,773	3,300	63	2,330	123	7,200	107	9,900	104	15,900	106	20,400	105
	2	90,703	3,000	79	93,726	3,100	60	2,290	116	7,300	109	9,900	103	15,900	106	20,400	105
	3	84,656	2,800	76	87,680	2,900	57	2,210	107	7,200	106	9,900	103	15,900	105	20,400	105
	4	81,633	2,700	71	78,609	2,600	51	2,120	98	7,500	109	9,800	101	16,700	110	20,900	107
	5	81,633	2,700	71	78,609	2,600	51	2,040	92	7,400	106	9,900	102	16,900	110	21,100	107
	6	81,633	2,700	71	78,609	2,600	51	1,990	87	7,400	106	9,900	101	16,900	110	21,100	107
	7	81,633	2,700	73	78,609	2,600	55	1,940	82	7,500	106	10,000	102	17,000	111	21,100	107
	8	81,633	2,700	73	78,609	2,600	57	1,890	80	7,500	106	10,000	102	17,000	111	21,100	106
	9	81,633	2,700	73	78,609	2,600	59	1,880	80	7,500	104	10,000	102	17,000	111	21,100	106
	10	81,633	2,700	77	78,609	2,600	63	1,900	81	7,600	107	10,000	102	17,100	110	21,100	106
	11	81,633	2,700	79	81,633	2,700	68	1,860	79	7,500	104	10,000	101	17,100	109	21,200	105
	12	81,633	2,700	82	81,633	2,700	77	1,790	77	7,600	107	10,000	101	17,200	109	21,200	104
2024年	1	81,633	2,700	87	81,633	2,700	82 ^{注5)}			7,700	107	10,100	102	17,200	108	21,200	104
2021年		81,633	2,700	135	102,797	3,400	170	1,360	109	6,600	102	9,500	100	14,700	99	19,300	99
2022年		111,867	3,700	137	142,101	4,700	138	2,220	163	7,000	106	9,700	102	15,300	104	19,800	103
2023年		84,656	2,800	76	81,633	2,700	57	2,020	91	7,400	106	9,900	102	16,700	109	20,900	106
2021年	第1四半期	60,469	2,000	100	57,445	1,900	95	1,230	94	6,500	100	9,500	100	14,700	99	19,300	99
	第2四半期	66,515	2,200	110	75,586	2,500	125	1,270	100	6,600	102	9,500	100	14,600	98	19,300	99
	第3四半期	87,680	2,900	138	117,914	3,900	195	1,370	113	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,400	100
	第4四半期	108,844	3,600	180	154,195	5,100	255	1,590	131	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,400	101
2022年	第1四半期	111,867	3,700	185	157,218	5,200	274	1,980	161	6,700	103	9,600	101	15,000	102	19,400	101
	第2四半期	114,890	3,800	173	154,195	5,100	204	2,230	176	7,000	106	9,700	102	15,300	105	19,700	102
	第3四半期	111,867	3,700	128	139,078	4,600	118	2,360	172	7,100	106	9,800	103	15,300	104	19,900	103
	第4四半期	102,797	3,400	94	117,914	3,900	76	2,330	147	7,100	106	9,900	104	15,700	107	20,100	104
2023年	第1四半期	90,703	3,000	81	93,726	3,100	60	2,280	115	7,200	107	9,900	103	15,900	106	20,400	105
	第2四半期	81,633	2,700	71	78,609	2,600	51	2,050	92	7,400	106	9,900	102	16,800	110	21,000	107
	第3四半期	81,633	2,700	73	78,609	2,600	51	1,900	81	7,500	106	10,000	102	17,000	111	21,100	106
	第4四半期	81,633	2,700	79	81,633	2,700	69	1,850	79	7,600	107	10,000	101	17,100	109	21,200	105

資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

- 注：1 構造用集成材価格、木材チップ用丸木価格及び木材チップ価格は、それぞれ集成管柱工場から販売先への出荷時の販売価格、木材チップ工場における工場着購入価格、パルプ向けチップ工場における工場渡し価格である。
 2 合板価格は、木材市売市場にあってはせり又は入札による取引価格、木材センター及び木材販売業者にあっては店頭渡し価格である。
 3 2022年1月より、四半期ごとの公表となった（4月に1～3月分、7月に4～6月分、10月に7～9月分、翌1月に10～12月分を公表）。
 4 構造用集成材のm³当たりの価格は、1本を0.033075m³に換算して算出した。
 5 2023年は「木材価格」に拠る速報値、2022年以前は「木材需給報告書」に拠る確定値である。（速報値は今後修正される可能性がある）

(2) 都道府県別価格

○スギ中丸太 (製材用、径14.0~22.0cm、長3.65~4.0m)

・2023年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
青森	14,400	13,300	13,300	13,300	13,300	13,200	13,200	13,200	12,100	12,100	12,100	12,100
岩手	17,300	17,000	16,700	15,000	14,600	14,300	14,100	14,100	14,100	14,300	14,900	15,200
宮城	14,800	14,200	14,500	13,700	13,700	13,700	12,600	12,000	12,600	13,100	14,200	14,200
秋田	14,300	13,800	13,400	12,600	12,400	12,100	11,800	11,800	11,700	11,800	12,000	12,700
山形	20,500	20,500	20,300	20,400	18,800	18,600	18,600	18,600	18,600	18,700	19,100	19,200
福島	13,200	13,300	12,100	12,000	12,500	12,300	11,800	10,900	11,100	12,100	13,000	12,700
栃木	16,500	16,500	15,400	14,800	14,300	13,200	13,200	13,200	14,300	14,900	15,400	14,900
岐阜	18,300	18,300	17,000	18,500	16,900	16,600	16,300	16,300	16,300	16,300	16,300	16,300
静岡	18,600	18,300	18,200	17,900	17,200	16,500	15,900	15,700	15,700	15,900	15,900	15,800
三重	16,600	16,900	16,800	17,200	16,400	15,900	14,400	14,300	14,300	14,400	15,800	15,700
奈良	15,800	15,300	15,300	15,300	13,800	13,800	13,800	13,800	13,800	13,800	13,800	14,800
岡山	14,000	14,000	14,000	13,000	13,100	12,400	11,400	10,900	11,000	11,000	11,000	11,000
徳島	16,700	16,700	16,700	16,700	16,700	16,700	16,700	16,700	16,700	16,700	16,700	16,700
愛媛	18,700	18,700	18,700	17,600	16,600	16,600	16,500	14,400	14,400	13,400	13,400	13,400
佐賀	16,500	16,500	16,700	16,100	15,400	14,800	14,900	15,200	15,400	15,400	15,800	16,100
熊本	20,800	20,800	20,800	19,100	18,100	17,600	17,600	17,600	20,000	20,900	19,700	19,300
大分	17,900	18,200	17,300	16,300	15,500	15,900	16,300	16,700	17,300	17,600	17,300	16,900
宮崎	17,900	17,800	16,500	15,500	14,600	14,000	13,900	13,800	15,100	17,000	17,600	16,700
鹿児島	18,800	18,800	18,700	17,300	15,000	14,300	13,700	13,900	15,200	15,700	18,400	18,200

・2024年

都道府県	1月
青森	12,100
岩手	15,200
宮城	14,200
秋田	12,900
山形	19,200
福島	12,800
栃木	15,400
岐阜	18,100
静岡	15,900
三重	15,800
奈良	14,800
岡山	11,000
徳島	16,700
愛媛	13,400
佐賀	16,100
熊本	19,600
大分	16,800
宮崎	17,600
鹿児島	18,000

○ヒノキ中丸太 (製材用、径14.0~22.0cm、長3.65~4.0m)

・2023年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
福島	25,600	25,500	23,400	21,300	20,700	19,700	18,000	18,600	21,700	29,300	32,500	30,900
茨城	23,300	23,500	22,400	21,200	20,200	19,400	18,800	19,100	20,700	24,700	27,200	27,000
栃木	25,700	25,700	24,400	23,200	20,900	18,800	17,800	18,800	21,800	29,000	31,200	27,800
岐阜	22,300	22,300	22,300	21,700	20,800	20,200	19,500	19,100	19,100	19,100	19,100	19,800
静岡	24,900	24,600	23,300	22,700	21,800	20,600	20,500	20,700	21,600	22,300	23,100	24,000
三重	23,500	23,600	23,200	21,400	19,600	19,800	18,900	19,300	20,100	21,300	22,200	22,500
兵庫	25,000	25,000	25,100	22,900	21,800	21,800	21,800	21,800	21,800	21,900	21,900	25,100
奈良	26,900	26,800	26,800	25,900	21,900	19,800	19,300	17,800	17,800	18,800	18,800	19,800
和歌山	22,000	21,900	21,800	20,500	20,100	20,100	18,400	18,300	18,200	17,300	17,400	18,200
岡山	25,900	25,100	24,500	23,800	20,700	22,000	21,100	21,100	21,400	22,500	23,000	23,500
広島	22,800	25,100	24,500	23,700	23,000	22,700	23,000	22,900	22,800	22,800	23,200	22,800
愛媛	20,000	20,200	20,700	20,600	20,300	20,000	21,000	21,900	22,200	22,700	23,800	24,800
高知	21,700	21,500	22,000	22,400	22,400	22,400	22,600	22,800	22,800	23,100	24,600	24,600
熊本	25,700	25,700	24,900	22,700	22,500	23,100	24,200	24,200	25,200	26,000	26,400	25,700
大分	18,400	17,900	18,000	18,200	16,900	17,000	17,700	18,700	18,800	19,600	20,600	19,900
宮崎	21,900	22,600	22,900	21,900	20,700	21,400	20,300	20,900	23,100	23,700	24,500	23,700

・2024年

都道府県	1月
福島	25,300
茨城	23,900
栃木	23,800
岐阜	23,100
静岡	23,600
三重	21,100
兵庫	25,100
奈良	19,800
和歌山	18,300
岡山	23,500
広島	23,100
愛媛	25,700
高知	24,700
熊本	25,300
大分	20,200
宮崎	22,600

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

○カラマツ中丸太（製材用、径14.0～28.0cm、長3.65～4.0m）

・2023年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	15,500	15,400	15,400	15,300	15,300	15,300	15,200	14,400	15,100	14,900	14,900	14,900
岩手	25,700	25,700	25,600	25,500	25,400	25,300	25,300	25,300	25,300	25,300	25,300	25,300

・2024年

都道府県	1月
北海道	14,900
岩手	25,300

○スギ丸太（合板用、径18.0cm上）

・2023年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
岩手	13,100	13,100	13,100	12,700	12,200	12,200	11,400	11,400	11,100	11,100	11,100	11,100
宮城	16,400	16,400	16,400	16,400	16,100	15,900	15,300	15,000	14,800	14,800	14,800	14,800
秋田	16,100	16,000	16,000	15,900	15,900	15,800	15,900	15,600	15,200	15,200	14,900	14,900
島根	15,000	15,100	15,100	15,000	14,800	14,700	14,600	14,500	14,600	14,400	14,300	14,300

・2024年

都道府県	1月
岩手	11,300
宮城	14,800
秋田	14,800
島根	14,300

○スギ正角（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2023年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
千葉	/		77,000	/			66,500	/		66,000	/		66,000
東京			53,500				x			x			x
大阪			81,500				80,400			80,400			80,400
福岡			56,400				54,700			52,800			55,700

・2024年

都道府県	1月
千葉	/
東京	
大阪	
福岡	

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

○スギ正角・乾燥材（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2023年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉	94,400	94,400	93,300	92,000	86,300	85,300	80,800	80,500	80,500	80,300	80,500	80,500
千葉	130,800	120,200	120,200	107,800	107,800	107,800	101,600	97,600	97,600	97,600	91,400	91,400
東京	109,800	109,800	109,800	109,400	109,400	109,100	98,500	98,400	98,400	98,500	98,500	98,500
神奈川	128,700	128,300	128,200	118,600	109,400	104,200	99,700	99,500	90,300	90,300	85,800	85,900
愛知	106,900	105,700	104,300	98,500	98,400	95,700	93,900	93,900	93,900	92,500	91,200	91,200
大阪	99,700	99,000	93,600	93,600	93,600	93,600	93,600	88,700	88,700	88,700	88,700	83,800
兵庫	111,600	111,600	111,600	102,200	98,200	98,100	94,100	94,100	94,100	94,100	91,100	91,100
福岡	102,800	102,800	98,300	94,500	92,600	90,700	88,000	86,200	83,500	83,500	85,200	85,200

・2024年

都道府県	1月
埼玉	80,500
千葉	91,400
東京	98,500
神奈川	86,100
愛知	92,500
大阪	83,800
兵庫	89,000
福岡	85,200

資料：農林水産省「木材価格」

注1：2021年8月より、東京都の調査対象が変更になったことから、2021年7月及び8月の東京都のスギ正角の数値は接続しない。

注2：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注3：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

○ヒノキ正角（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2023年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
千葉			81,100			78,900			75,600			75,600
東京			x			x			x			x
愛知			93,500			92,200			89,300			89,300
大阪			78,500			79,600			74,700			74,700
兵庫			95,500			90,000			87,800			89,800
福岡			82,500			75,100			69,600			76,500

・2024年

都道府県	1月
千葉	
東京	
愛知	
大阪	
兵庫	
福岡	

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

○ヒノキ正角・乾燥材（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2023年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉	108,400	108,400	107,200	106,200	101,900	100,900	96,800	96,800	96,800	96,800	98,400	103,500
千葉	150,200	146,800	146,800	x	x	x	114,400	114,400	113,300	113,300	104,500	104,500
東京	153,200	142,700	142,400	142,000	142,000	142,000	141,900	141,800	131,400	131,400	131,400	131,400
神奈川	138,900	133,700	133,600	131,800	131,500	129,300	129,300	129,100	129,100	128,800	130,700	134,300
愛知	114,900	109,800	107,200	105,600	105,400	102,900	101,400	101,400	100,900	98,600	96,800	96,800
大阪	118,900	110,700	104,400	104,400	104,400	104,400	102,500	102,100	102,100	102,100	103,300	103,300
兵庫	112,600	112,600	112,000	107,400	102,900	101,600	101,600	101,600	97,000	97,000	101,600	101,600

・2024年

都道府県	1月
埼玉	103,500
千葉	105,600
東京	131,400
神奈川	134,600
愛知	99,100
大阪	103,600
兵庫	101,600

○米ツガ正角・防腐処理材（厚10.5cm、幅10.5cm、長4.0m、2級）

・2023年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道			139,800			128,200			125,700			125,700
埼玉			141,400			129,900			133,600			117,600
千葉			131,200			116,300			111,600			106,600
東京			148,100			147,500			147,500			114,500
神奈川			138,300			135,500			129,600			129,600
愛知			132,000			138,100			129,500			129,500
大阪			132,000			132,000			132,000			132,000
兵庫			138,300			131,700			131,700			131,700

・2024年

都道府県	1月
北海道	
埼玉	
千葉	
東京	
神奈川	
愛知	
大阪	
兵庫	

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

注3：ヒノキ正角、米ツガ正角・防腐処理材の価格は、2022年1月より四半期ごとの公表となった（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

○スギ間柱・乾燥材（厚3.0cm、幅10.5cm、長3.0m、特等）

・2023年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉県	95,000	92,900	92,200	87,100	86,200	85,900	80,300	77,900	77,900	77,900	80,900	80,900
千葉県	102,400	98,700	96,200	85,500	82,100	77,900	76,900	76,900	76,800	76,800	79,400	79,400
東京都	96,800	96,700	96,500	89,400	89,400	83,200	82,300	82,300	82,000	84,100	84,100	83,900
神奈川県	111,200	107,900	106,700	106,100	106,100	102,700	100,400	99,200	94,700	94,700	92,500	92,500
愛知県	97,700	93,700	93,700	99,500	99,500	95,500	95,300	95,300	95,300	91,900	88,500	88,500
大阪府	95,700	95,700	94,600	94,600	93,500	93,500	89,100	89,100	89,100	89,100	89,100	84,700
兵庫県	110,500	110,500	105,200	99,600	99,600	99,500	94,200	94,100	94,100	94,100	93,700	93,700
広島県	124,700	121,500	121,000	120,400	113,500	109,200	109,200	109,000	107,400	106,700	106,400	106,200
福岡県	104,500	104,500	103,700	95,800	95,100	94,900	93,700	93,000	92,200	92,000	92,700	92,700

・2024年

都道府県	1月
埼玉県	79,700
千葉県	78,200
東京都	83,900
神奈川県	92,500
愛知県	88,300
大阪府	84,700
兵庫県	93,700
広島県	106,200
福岡県	92,700

○ホワイトウッド間柱・乾燥材（厚3.0cm、幅10.5cm、長3.0m、特等）

・2023年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉県	94,700	93,200	91,600	87,600	84,200	84,100	83,800	84,500	84,500	84,500	84,500	84,500
千葉県	125,000	122,600	121,700	100,500	100,200	99,900	94,500	94,500	94,300	94,300	96,400	96,400
東京都	121,200	120,000	119,100	118,200	117,400	111,500	111,500	111,500	111,500	111,500	111,500	111,500
神奈川県	118,700	113,200	110,600	109,900	109,900	107,600	107,600	107,600	107,600	107,600	109,900	110,400
愛知県	97,400	91,000	90,300	89,300	86,700	85,300	84,300	84,300	82,000	84,300	83,600	83,600
大阪府	93,500	93,100	92,900	87,700	87,600	87,700	87,700	87,700	87,400	87,400	87,400	82,500
兵庫県	104,500	101,600	98,800	90,600	90,600	88,000	88,000	88,000	88,000	88,000	88,000	88,000
広島県	112,300	105,400	102,800	102,800	100,500	99,400	99,400	99,400	99,400	93,800	93,800	93,800

・2024年

都道府県	1月
埼玉県	84,500
千葉県	96,500
東京都	111,500
神奈川県	110,400
愛知県	83,100
大阪府	82,500
兵庫県	88,000
広島県	92,600

○スギ集成管柱（厚10.5cm、幅10.5cm、長2.98~3.0m、1等）

・2023年

単位：円/本

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
秋田県	3,500	3,400	2,900	2,800	2,700	2,500	2,600	2,600	2,500	2,600	2,600	2,600
宮崎県	3,500	3,500	3,100	2,700	2,600	2,600	2,500	2,500	2,400	2,400	2,400	2,400

・2024年

都道府県	1月
秋田県	2,600
宮崎県	2,600

○ホワイトウッド集成管柱（厚10.5cm、幅10.5cm、長2.98~3.0m、1等）

・2023年

単位：円/本

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
岡山県	3,600	3,400	3,100	2,900	2,900	2,900	2,900	2,800	2,800	2,800	2,900	2,900

・2024年

都道府県	1月
岡山県	2,900

○針葉樹合板（厚1.2cm、幅91.0cm、長1.82m、1類）

・2023年

単位：円/枚

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉県			2,240			2,100			2,050			1,990
東京都			2,300			1,990			1,890			1,790
大阪府			2,040			1,920			1,740			1,640

・2024年

都道府県	1月
埼玉県	
東京都	
大阪府	

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

○チップ用丸太（針葉樹）

・2023年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	7,400	7,400	7,400	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,700	7,700	7,700
青森	7,000	7,000	7,000	7,600	7,600	7,600	7,600	7,600	7,600	7,600	7,600	7,600
岩手	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,400	7,500
宮城	6,000	6,000	6,000	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200
秋田	7,000	7,000	7,000	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300
山形	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200
福島	6,800	6,100	5,900	6,100	5,900	6,000	6,600	6,800	6,800	8,000	6,200	6,500
栃木	5,300	5,300	5,300	5,300	5,300	5,300	5,300	5,300	5,300	5,300	5,300	5,300
山梨	7,700	8,800	8,800	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400
長野	7,200	7,200	7,300	7,200	7,200	7,400	7,400	7,400	7,400	7,400	7,400	7,400
京都	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900
兵庫	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,400
島根	9,400	8,500	9,500	9,300	9,800	9,900	10,100	10,000	10,300	10,100	10,100	10,000
広島	6,100	5,900	5,700	5,900	6,700	6,700	6,700	6,700	7,000	7,200	7,100	7,400
高知	5,600	5,600	5,600	5,800	5,800	5,700	5,800	5,800	5,600	5,600	5,400	5,100
熊本	8,200	9,100	8,400	10,700	8,800	10,000	9,100	9,100	9,600	8,700	9,300	10,900
宮崎	8,000	8,000	8,100	8,100	8,100	8,000	8,100	8,200	8,300	8,300	8,300	8,300
鹿児島	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200

・2024年

都道府県	1月
北海道	7,900
青森	7,600
岩手	7,600
宮城	6,200
秋田	7,300
山形	4,200
福島	6,600
栃木	5,300
山梨	8,400
長野	7,400
京都	9,200
兵庫	7,400
島根	10,100
広島	7,400
高知	5,900
熊本	10,900
宮崎	8,400
鹿児島	8,200

○チップ用丸太（広葉樹）

・2023年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100
青森	12,100	12,100	12,100	11,900	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800
岩手	11,400	11,400	11,400	10,600	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800	10,900	11,000
宮城	9,000	9,000	9,000	9,300	9,300	9,300	9,300	9,300	9,300	9,300	9,300	9,300
秋田	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500	12,700	12,700
山形	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700
福島	8,900	9,000	9,600	9,000	9,000	8,700	9,000	8,900	9,200	9,600	9,600	9,200
山梨	7,500	7,500	7,500	7,800	7,900	7,900	7,900	7,900	7,900	7,900	7,900	7,900
島根	10,700	10,700	10,800	10,800	11,100	11,200	11,200	11,300	11,600	11,300	11,300	11,000
広島	6,000	6,000	6,100	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700
熊本	8,700	9,000	8,900	9,100	9,200	9,400	9,600	9,900	9,600	9,600	9,300	9,400
宮崎	8,400	8,700	8,600	8,200	8,900	9,100	8,700	8,700	8,900	9,200	9,200	9,300
鹿児島	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700

・2024年

都道府県	1月
北海道	10,200
青森	11,800
岩手	11,200
宮城	9,300
秋田	12,700
山形	9,700
福島	9,200
山梨	7,900
島根	11,300
広島	6,700
熊本	8,700
宮崎	8,900
鹿児島	9,700

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

○木材チップ（針葉樹）

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	15,400	15,400	15,400	16,000	16,100	16,200	16,200	16,300	16,300	16,300	16,000	16,000
青森	17,700	17,700	17,700	19,000	19,000	19,000	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500
岩手	17,100	17,100	17,100	18,000	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,300	20,500
宮城	19,800	19,800	20,000	20,300	20,600	20,600	20,600	20,600	20,600	20,600	20,300	20,300
秋田	16,800	16,900	16,900	17,300	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600
福島	21,200	21,200	21,200	21,400	21,400	21,400	21,400	21,400	21,400	21,400	22,600	22,600
茨城	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	8,800	8,800	8,800	8,800	8,800	9,400
栃木	12,800	12,800	12,800	12,800	12,800	12,800	12,800	12,800	12,800	12,800	12,800	12,800
富山	18,100	18,100	18,100	18,100	18,500	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600
静岡	18,000	18,000	18,000	18,100	18,700	18,700	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600
京都	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000
兵庫	19,300	19,300	22,200	22,300	22,300	22,300	22,300	22,300	22,300	22,300	22,300	22,300
岡山	14,600	14,600	14,600	14,600	14,600	14,600	14,600	14,600	14,600	14,600	14,600	14,600
広島	16,000	16,000	16,000	19,000	18,900	18,900	18,900	18,900	18,900	19,300	19,300	19,300
徳島	21,600	21,600	21,600	21,600	22,800	22,500	22,500	22,500	22,500	22,500	22,500	22,500
愛媛	12,900	12,900	12,900	13,300	13,500	13,500	13,500	13,500	13,500	13,500	13,100	13,100
高知	20,900	20,900	20,900	20,900	20,900	20,900	20,900	20,900	20,900	20,900	20,900	20,900
熊本	18,600	18,600	18,600	19,500	19,700	19,700	19,700	19,900	19,900	19,900	20,000	20,000
大分	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500	13,100	13,100	13,100	13,100	13,100	13,100
宮崎	11,100	11,100	11,100	11,100	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900
鹿児島	13,000	13,000	13,000	17,900	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000

単位：円／t

・2024年

都道府県	1月
北海道	16,100
青森	18,500
岩手	20,500
宮城	20,300
秋田	17,700
福島	22,900
茨城	9,500
栃木	12,800
富山	18,600
静岡	19,600
京都	22,000
兵庫	22,300
岡山	14,600
広島	19,300
徳島	22,500
愛媛	13,100
高知	21,200
熊本	20,000
大分	13,100
宮崎	11,900
鹿児島	17,000

○木材チップ（広葉樹）

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	21,200	21,200	21,200	21,700	21,700	21,700	21,700	21,700	21,700	21,900	21,900	21,900
青森	19,800	19,800	19,800	20,100	20,100	20,100	19,900	19,900	19,900	19,900	19,900	19,900
岩手	19,700	19,700	19,700	19,700	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600
宮城	20,500	20,500	20,900	21,300	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500	21,200	21,200
秋田	22,000	22,200	22,200	22,300	22,300	22,300	22,500	22,500	22,500	22,500	22,500	22,500
福島	21,400	21,400	21,400	21,700	21,700	21,700	21,700	21,700	21,700	21,700	22,900	22,900
栃木	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400
山梨	17,400	17,400	17,400	18,000	18,000	18,300	18,300	18,300	18,300	18,300	18,300	18,300
島根	22,600	22,600	22,600	23,100	25,500	25,500	25,500	25,500	25,500	25,500	25,500	25,500
広島	20,300	20,300	20,100	22,400	22,400	22,400	22,400	22,400	22,400	22,400	22,400	22,400
熊本	22,800	22,800	22,800	24,500	24,500	24,500	24,500	24,500	24,500	24,500	24,500	24,500
宮崎	21,000	21,000	21,200	21,200	21,300	21,300	21,300	21,300	21,300	21,300	21,300	21,300
鹿児島	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700

単位：円／t

・2024年

都道府県	1月
北海道	21,900
青森	19,900
岩手	19,600
宮城	21,200
秋田	22,500
福島	23,000
栃木	16,400
山梨	18,300
島根	25,500
広島	22,400
熊本	24,500
宮崎	21,300
鹿児島	15,700

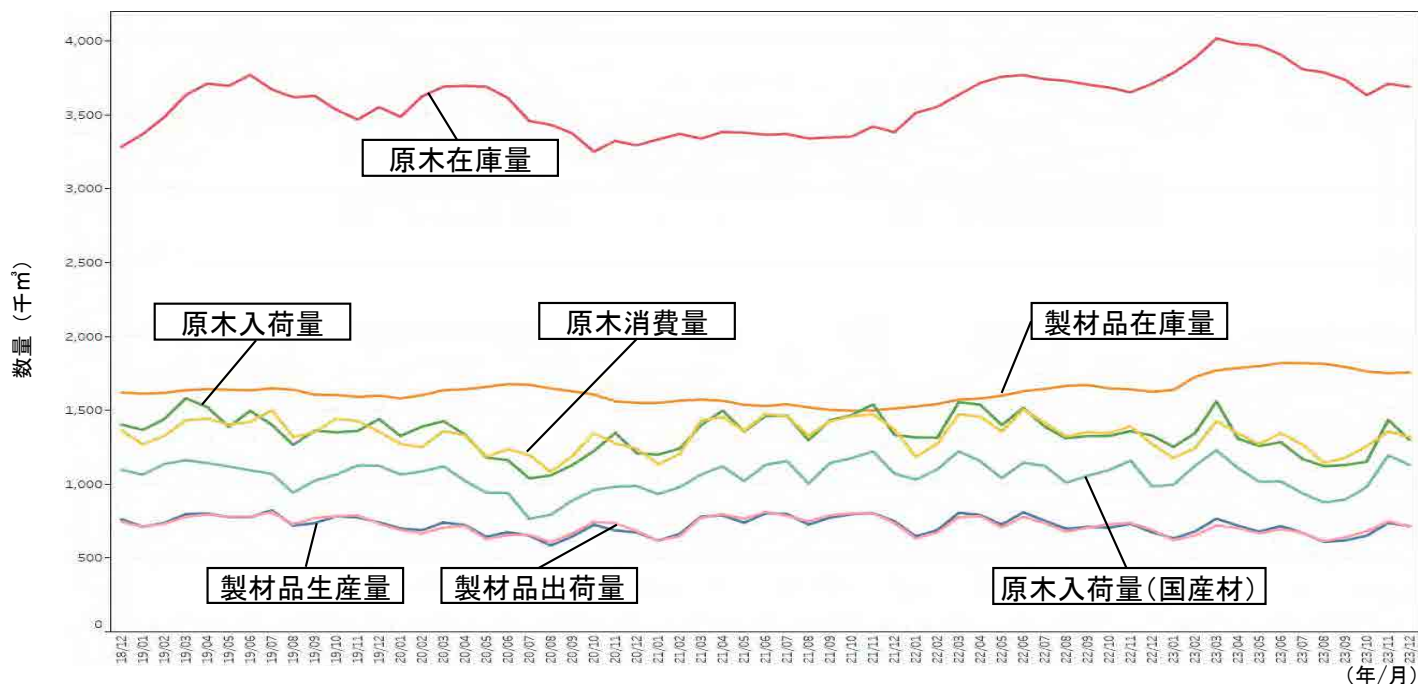
資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

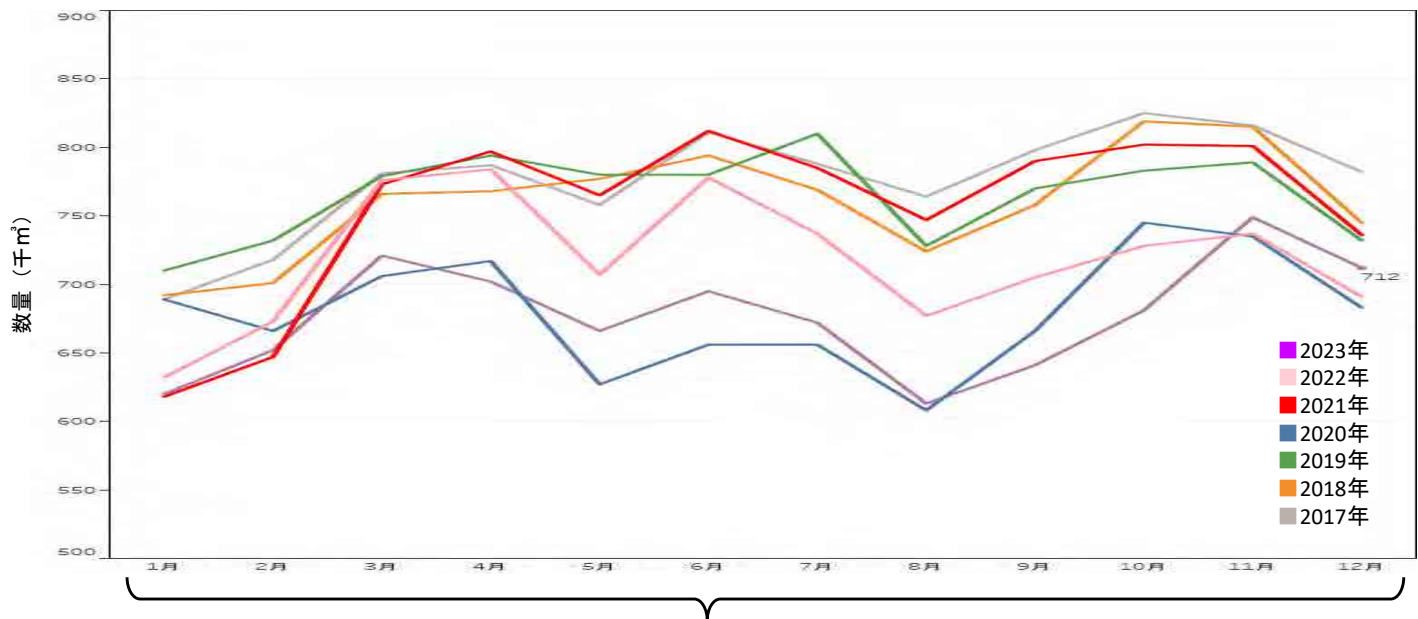
注2：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

木材需給情報-1 製材工場の原木入荷、製品生産等の動向

- 2023年1～12月の原木の入荷量は、15,313千m³（2019年比 90%）。
- 同様に製材品の出荷量は、8,124千m³（2019年比 88%）。



○製材品出荷量の月別推移（全国）



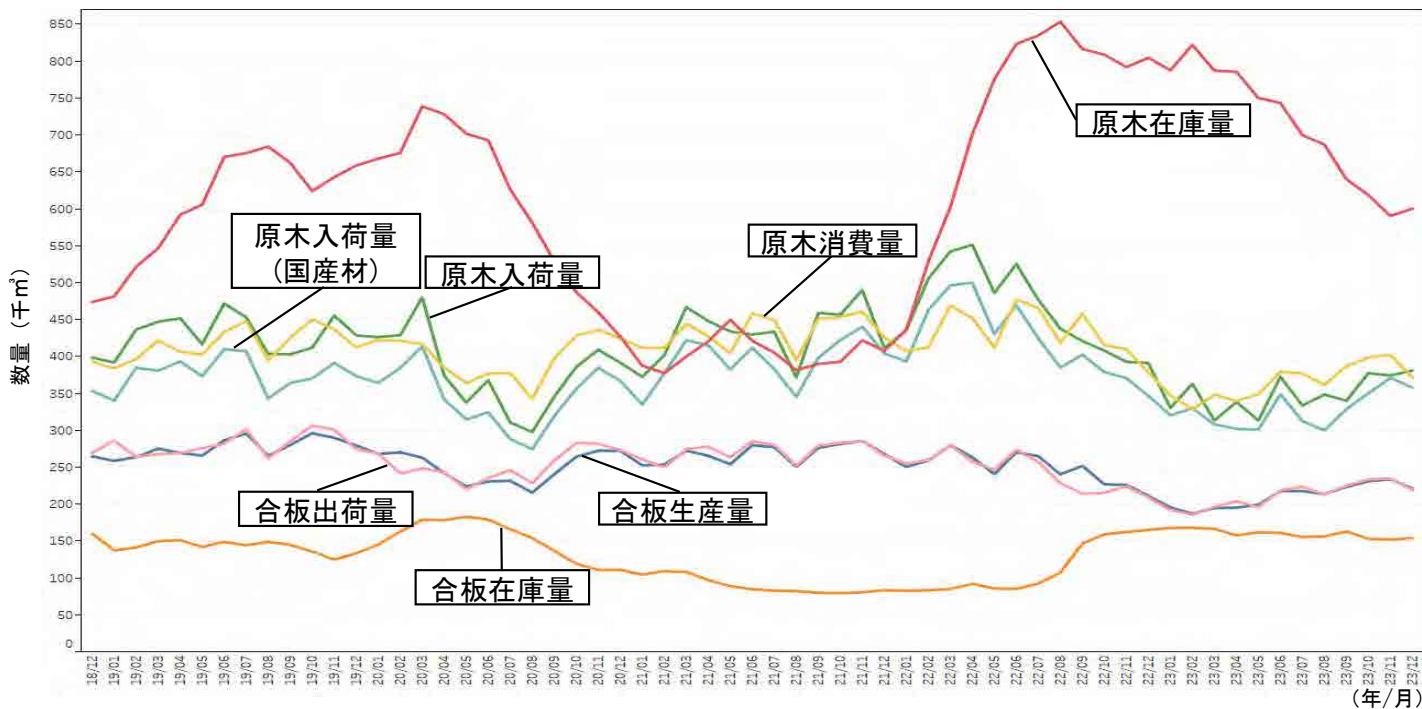
	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
1～12月原木入荷量 合計(千m ³)	16,508	16,679	16,974	14,824	16,685	16,677	15,313
2019年との比較※	97%	98%	—	87%	98%	98%	90%
1～12月出荷量 合計(千m ³)	9,317	9,128	9,187	8,154	9,073	8,625	8,124
2019年との比較※	101%	99%	—	89%	99%	94%	88%

※2019年（COVID-19の影響前）の数値を100%とした比較

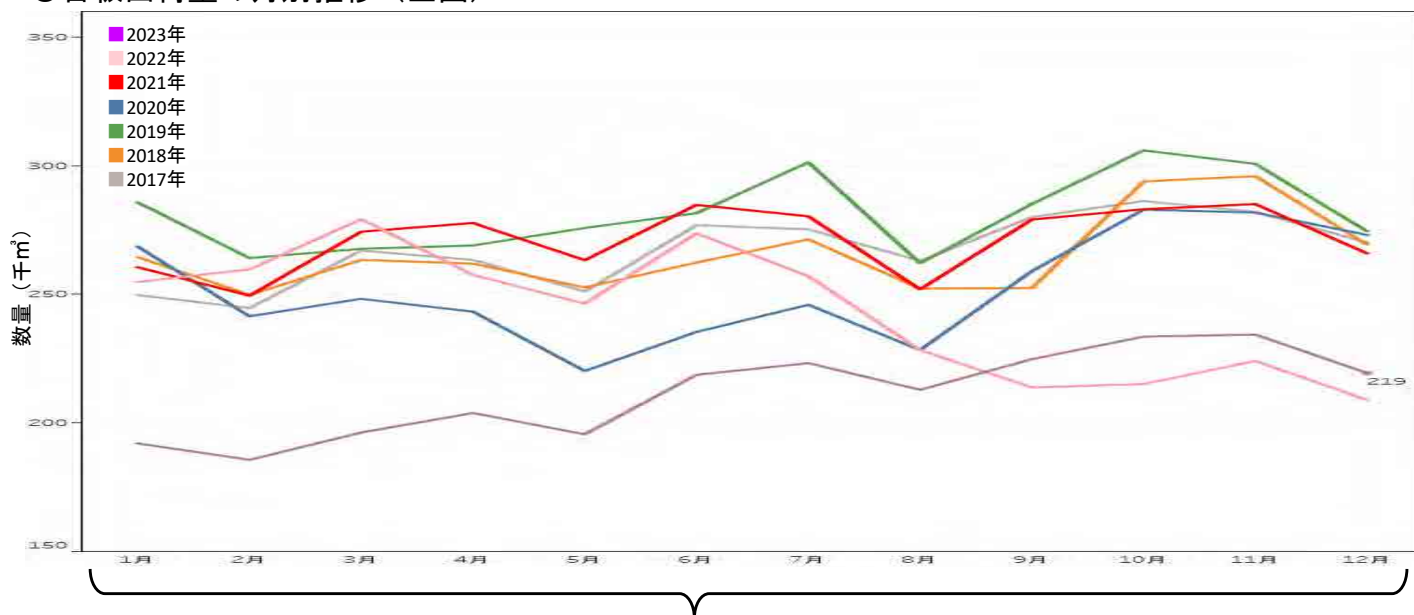
資料：農林水産省「製材統計」

木材需給情報-2 合板工場の原木入荷、製品生産等の動向

- 2023年1～12月の原木の入荷量は、4,184千 m^3 （2019年比 81%）。
- 同様に合板の出荷量は、2,540千 m^3 （2019年比 75%）。



○合板出荷量の月別推移（全国）

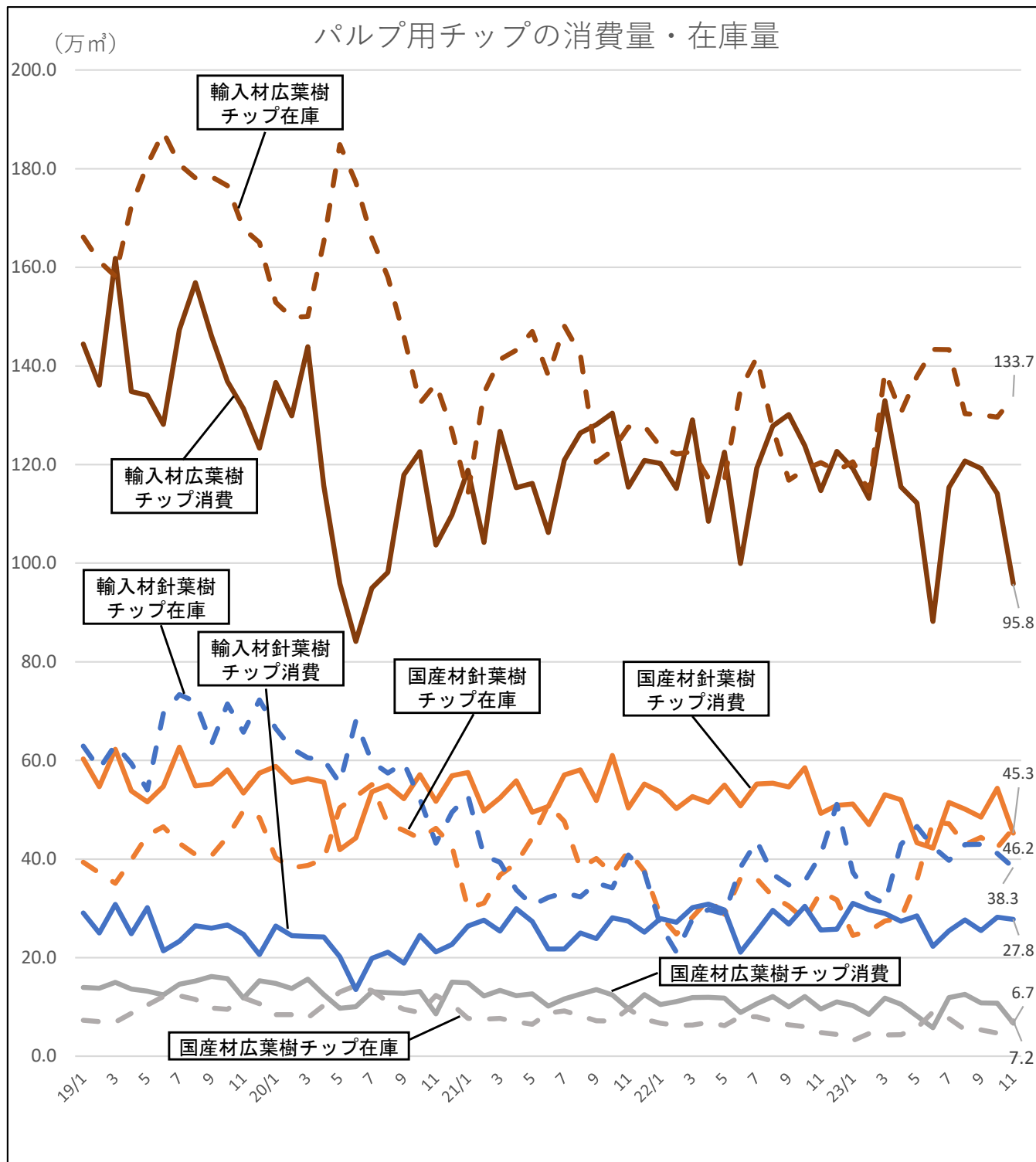


	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
1～12月原木入荷量 合計(千 m^3)	4,587	4,930	5,169	4,554	5,173	5,572	4,184
2019年との比較※	89%	95%	—	88%	100%	108%	81%
1～12月出荷量 合計(千 m^3)	3,209	3,190	3,374	3,028	3,256	2,919	2,540
2019年との比較※	95%	95%	—	90%	97%	87%	75%

※2019年（COVID-19の影響前）の数値を100%とした比較

資料：農林水産省「合板統計」

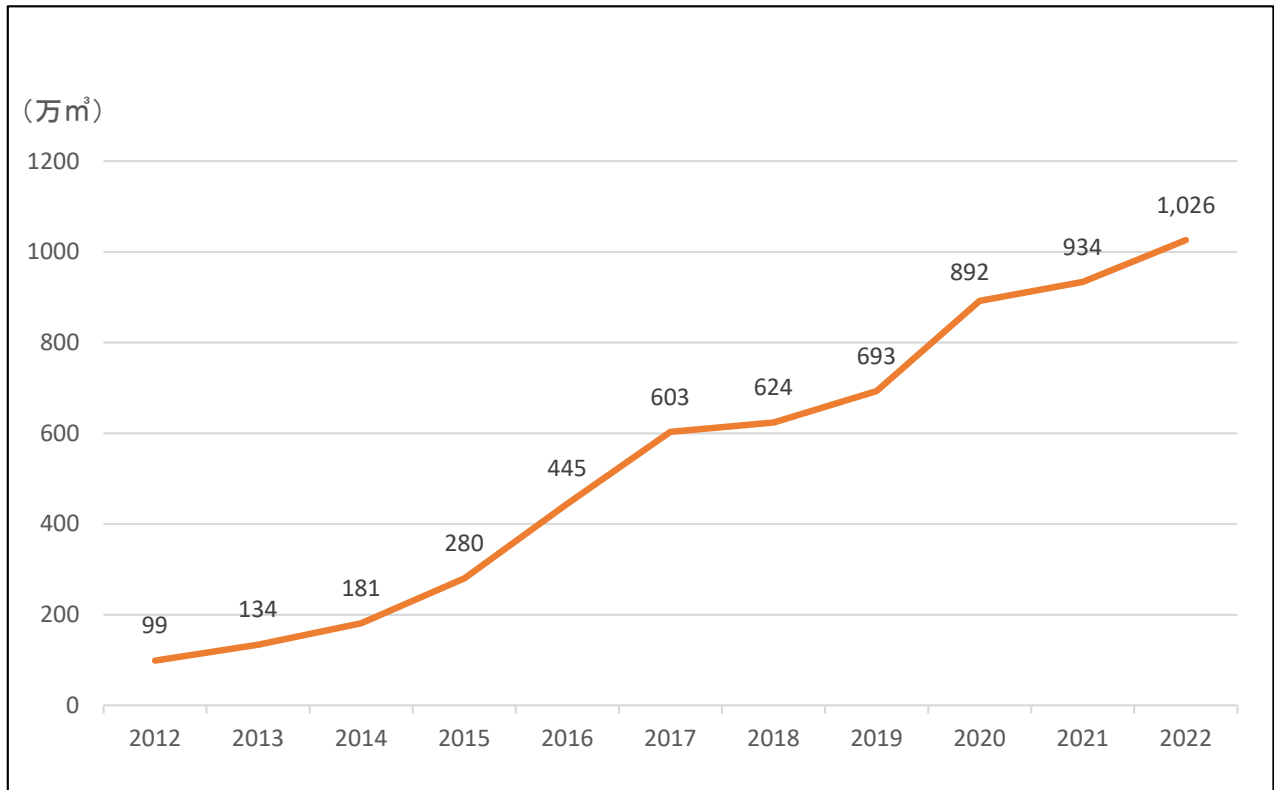
- パルプ用チップの消費について、2023年11月の輸入材広葉樹チップの消費量は95.8万m³。国産材針葉樹チップの消費量は45.3万m³となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ

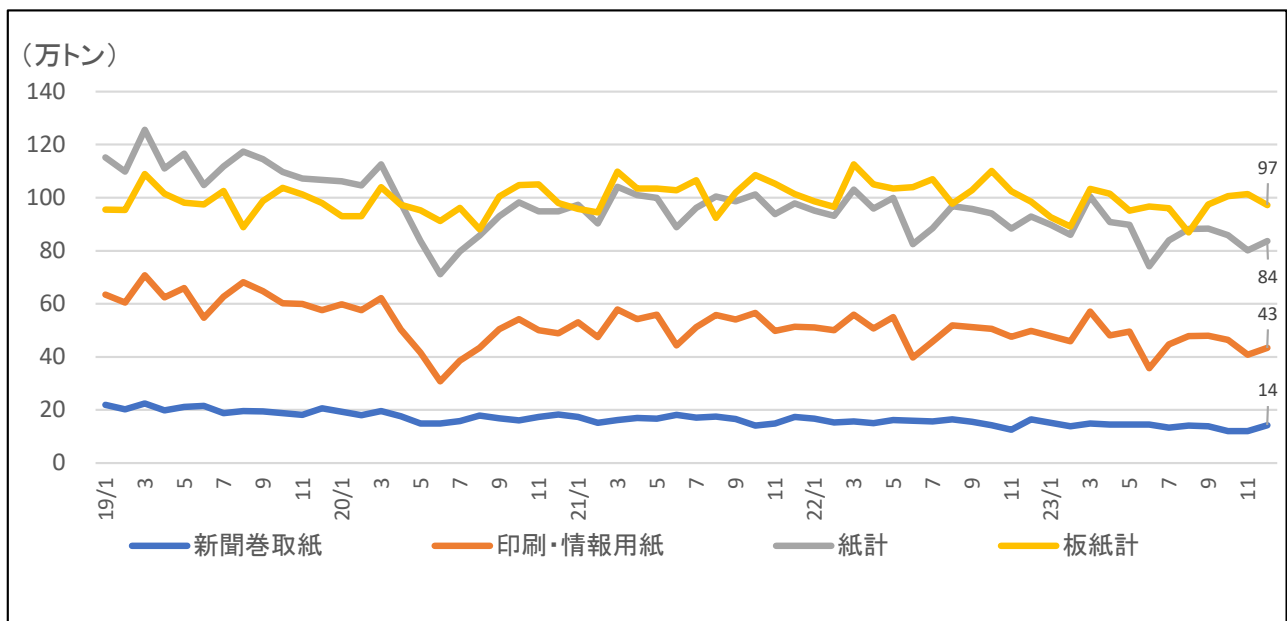
- 燃料材(国内生産)の利用量は、発電利用を中心に増加(過去10年間で約10倍)。
- 2023年12月の紙の生産高は84万トン。板紙の生産高は97万トンとなっている。

○燃料材(国内生産)の利用量の推移



資料：木材利用課調べ(～2014年)、林野庁「木材需給表」(2015年～)
注：利用量には輸出量は含まない。

○紙品種別生産高



資料：林野庁木材産業課調べ

木材需給情報-5 素材生産量（2022年）

- 2022年の製材、合板及びチップ用材の素材生産量の合計は2,208万m³。

単位：千m³

全 国 都道府県	計	製材用	合板等用	木材チップ用	針葉樹		広葉樹
					スギ		
全 国	22,082	12,937	4,912	4,233	20,386	13,238	1,696
北 海 道	3,335	1,707	706	922	2,774	75	561
青 森	979	361	386	232	942	827	37
岩 手	1,461	470	615	376	1,278	788	183
宮 城	685	218	302	165	637	595	48
秋 田	1,223	524	524	175	1,160	1,112	63
山 形	364	255	68	41	349	339	15
福 島	950	539	81	330	820	668	130
茨 城	455	387	8	60	421	330	34
栃 木	577	463	10	104	523	407	54
群 馬	213	149	27	37	196	145	17
埼 玉	x	30	x	x	42	29	x
千 葉	91	25	8	58	65	48	26
東 京	49	x	x	19	x	30	x
神 奈 川	8	8	0	-	8	5	0
新 潟	156	101	38	17	153	153	3
富 山	70	34	20	16	66	60	4
石 川	113	51	43	19	103	93	10
福 井	139	61	39	39	135	121	4
山 梨	141	19	69	53	122	29	19
長 野	467	189	231	47	461	99	6
岐 阜	391	258	69	64	381	221	10
静 岡	332	191	119	22	330	156	2
愛 知	157	100	x	x	151	82	6
三 重	327	191	76	60	319	190	8
滋 賀	65	14	15	36	53	34	12
京 都	171	46	37	88	149	103	22
大 阪	22	8	-	14	19	11	3
兵 庫	378	91	144	143	364	249	14
奈 良	121	94	9	18	119	70	2
和 歌 山	188	145	29	14	188	124	-
鳥 取	186	65	50	71	163	128	23
島 根	339	102	x	x	296	205	43
岡 山	406	333	28	45	382	131	24
広 島	331	121	76	134	235	122	96
山 口	246	125	x	x	224	151	22
徳 島	307	161	x	x	299	242	8
香 川	24	5	-	19	19	4	5
愛 媛	563	510	x	x	561	343	2
高 知	592	436	x	x	588	255	4
福 岡	186	155	9	22	179	129	7
佐 賀	148	116	6	26	138	83	10
長 崎	129	75	x	x	109	55	20
熊 本	957	744	125	88	935	720	22
大 分	1,198	889	288	21	1,194	1,018	4
宮 崎	2,031	1,869	96	66	2,011	1,878	20
鹿 児 島	743	483	145	115	679	581	64
沖 縄	x	x	-	x	x	-	x

資料：農林水産省「令和4年木材統計」（2023年6月30日公表）

- 統計数値については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値（全国）と内訳（都道府県別）の計が一致しない場合がある。
- 「x」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの
- 「0」：単位に満たないもの（例：0.4千m³ → 0千m³）、「-」：事実のないもの

- 2021年の木材生産の都道府県別木材生産の産出額の合計は2,666億円。

単位：1,000万円

都道府県	木材生産	針葉樹					広葉樹	竹材
		スギ	ヒノキ	アカマツ・クロマツ	カラマツ・エゾマツ・トドマツ			
北海道	3,145	2,652	42	-	1	2,573	493	-
青森	863	811	684	0	39	52	51	-
岩手	1,498	1,264	728	4	165	365	215	-
宮城	534	507	465	6	21	14	25	2
秋田	1,176	1,089	1,075	0	3	12	85	-
山形	317	312	298	0	2	13	5	-
福島	853	765	484	211	29	37	86	-
茨城	547	528	283	242	2	0	19	-
栃木	851	774	453	306	6	3	70	2
群馬	283	271	186	51	3	29	11	-
埼玉	67	49	24	24	0	1	17	-
千葉	43	30	22	7	-	-	11	3
東京	41	36	20	11	-	1	5	-
神奈川	13	13	6	6	-	-	1	-
新潟	140	133	132	0	0	1	6	0
富山	118	104	92	11	0	1	14	-
石川	135	126	101	11	3	0	9	0
福井	116	114	108	5	1	0	2	0
山梨	120	99	28	17	11	34	10	-
長野	648	623	101	107	36	376	9	-
岐阜	593	586	284	281	2	11	7	0
静岡	638	638	189	400	1	2	0	-
愛知	171	163	75	74	0	11	9	-
三重	445	443	158	282	3	-	1	-
滋賀	57	42	27	11	0	0	14	1
京都	162	140	90	48	0	-	17	5
大阪	x	11	5	6	0	-	x	-
兵庫	340	324	178	141	1	0	15	0
奈良	201	200	77	124	-	-	0	0
和歌山	231	224	124	98	0	-	5	2
鳥取	262	248	167	75	5	0	14	-
島根	385	337	210	106	13	0	48	0
岡山	726	698	90	603	2	-	24	3
広島	467	423	159	251	13	0	43	-
山口	331	312	168	142	1	1	14	5
徳島	352	346	242	104	0	-	6	0
香川	13	10	1	10	0	-	2	0
愛媛	809	808	383	425	0	0	-	0
高知	702	700	281	382	0	-	2	1
福岡	239	234	157	75	1	-	5	0
佐賀	237	229	113	116	0	-	8	0
長崎	195	182	72	110	-	-	13	-
熊本	1,684	1,657	1,107	549	0	-	20	7
大分	1,709	1,690	1,332	358	1	-	9	4
宮崎	3,217	3,206	2,980	224	1	-	10	-
鹿児島	970	902	725	172	1	-	52	15
沖縄	x	0	-	-	-	-	x	-
合計	26,655	25,054	14,726	6,188	367	3,537	1,483	51

資料：農林水産省「令和3年林業産出額」

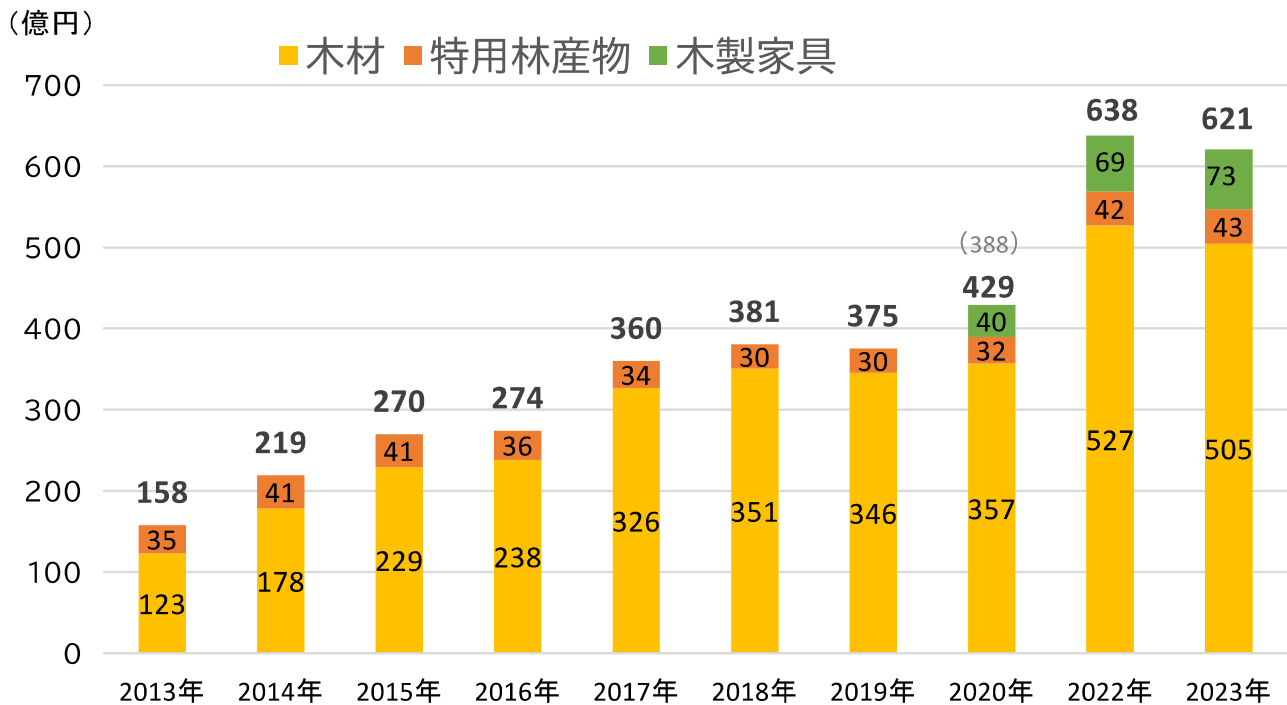
注：都道府県別産出額には、全国値には含まれる木材生産におけるパルプ工場が直接入荷するパルプ用素材、輸出丸太及び燃料用チップ素材の産出額を含まない。

また、全国値には含まない木材生産における県外移出されたしいたけ原木の産出額を含む。

「x」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計調査を公表していないもの

- 2023年12月の林産物輸出額は、55億円（前年同期比99%）となった。
- 内訳は、木材が43億円（同98%）、特用林産物が4億円（同121%）、木製家具が7億円（同99%）となった。
- 2023年1～12月の林産物輸出額は、621億円（前年同期比97%）となった。内訳は、木材が505億円（同96%）、特用林産物が43億円（同102%）、木製家具が73億円（同107%）となった。

○林産物輸出の推移



資料:財務省「貿易統計」

※特用林産物には、きのこ(はらたけ属以外)、乾しいたけ、ロジン、植物性ろう等が含まれる。なお、木質ペレット、薪、木炭は木材に含まれる。

※2020年の(388)は品目の見直しによる追加品目(木製家具、調整・保存処理したきのこ等)を含まない数字。

※四捨五入により、合計が合致しない場合がある。

○林産物の月別輸出額

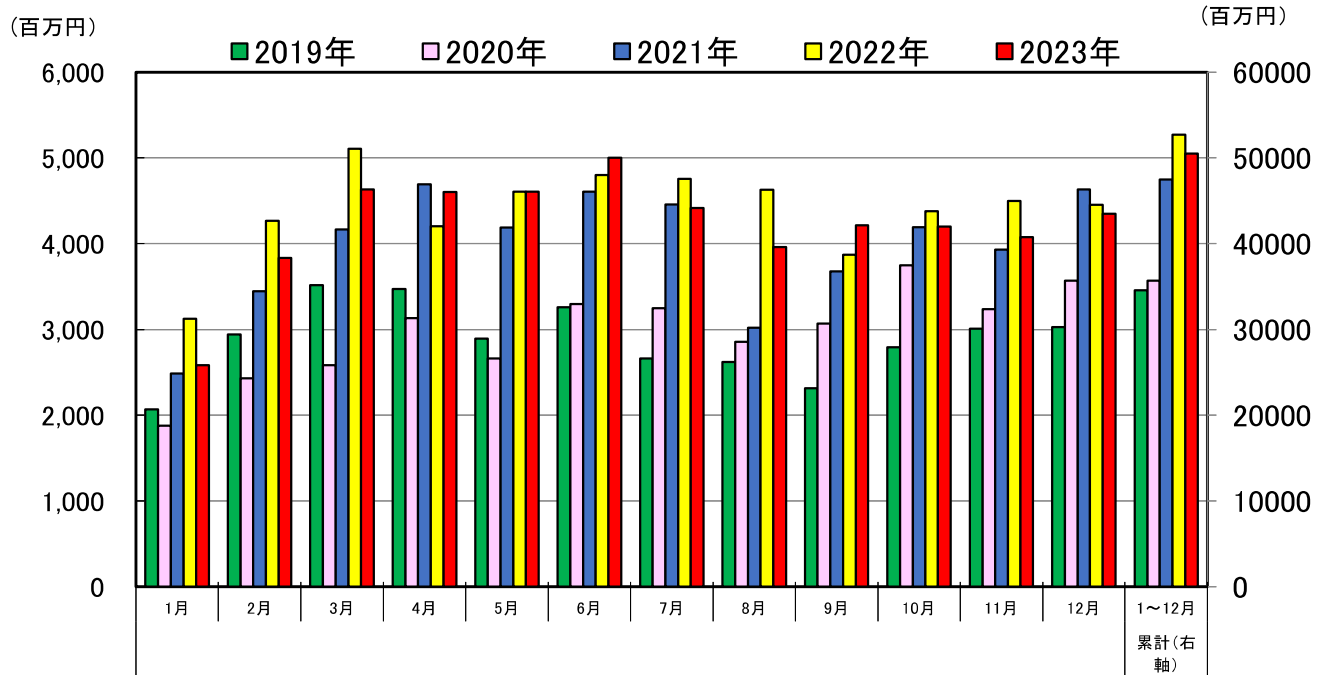
(億円)

	2022年				2023年					
	林産物	木材	特用林産物	木製家具	林産物	前年比	前々年比	木材	特用林産物	木製家具
1月	37	31	3	4	33	88%	105%	26	3	4
2月	50	43	3	4	47	94%	114%	38	3	5
3月	61	51	4	6	55	91%	109%	46	3	6
4月	51	42	3	5	56	110%	101%	46	3	7
5月	55	46	3	5	55	101%	114%	46	3	6
6月	58	48	4	6	60	105%	112%	50	4	7
7月	58	48	4	7	55	95%	106%	44	4	7
8月	56	46	3	6	48	87%	129%	40	3	5
9月	48	39	4	6	52	109%	116%	42	4	6
10月	54	44	4	6	52	97%	102%	42	4	7
11月	55	45	4	7	51	93%	107%	41	4	7
12月	56	45	4	7	55	99%	100%	43	4	7
12月累計	638	527	42	69	621	97%	109%	505	43	73

資料:財務省貿易統計

- 2023年12月の木材輸出額は43億円(前年同期比98%)、1~12月累計の木材輸出額は505億円(前年同期比96%)となった。
- 1~12月累計輸出額の前年同期比をみると、品目別では丸太が増加しており、丸太は、中国向けが120%となっている。製材、合板は前年を下回って推移しており、製材はフィリピン、米国、韓国向けの減少が大きい。

○木材輸出額の推移(月別)



○木材輸出額の推移(主な国別・品目別)

輸出先	12月 単月					1~12月累計				
	輸出額 (百万円)	前年比 (%)	主要品目内訳(百万円) 前年比(%)			輸出額 (百万円)	前年比 (%)	主要品目内訳(百万円) 前年比(%)		
			丸太	製材	合板			丸太	製材	合板
中国	2,185	120%	1,762 135%	165 162%	16 59%	24,812	114%	20,038 120%	1,491 96%	253 71%
韓国	279	91%	197 99%	38 90%	0 0%	2,804	76%	1,671 80%	493 46%	21 57%
台湾	238	88%	100 64%	44 107%	2 -	2,645	93%	1,224 82%	626 92%	13 458%
米国	459	103%	0 -	202 116%	0 0%	5,274	86%	4 -	2,190 75%	15 131%
フィリピン	767	60%	0 -	135 132%	571 51%	11,192	77%	0 -	1,069 37%	9,488 90%
その他	419	129%	10 108%	66 117%	2 84%	3,735	99%	171 60%	606 105%	34 56%
総計	4,348	98%	2,069 124%	649 125%	590 51%	50,461	96%	23,108 112%	6,475 70%	9,824 89%

※資料：財務省貿易統計(第4類を集計)、四捨五入により、数値が合わないことがある。

木材輸出についての詳細は、次のURLをご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/yusyutu/mokuzai-yusyutsu.html>



林産物輸出入情報-3 木材輸入額

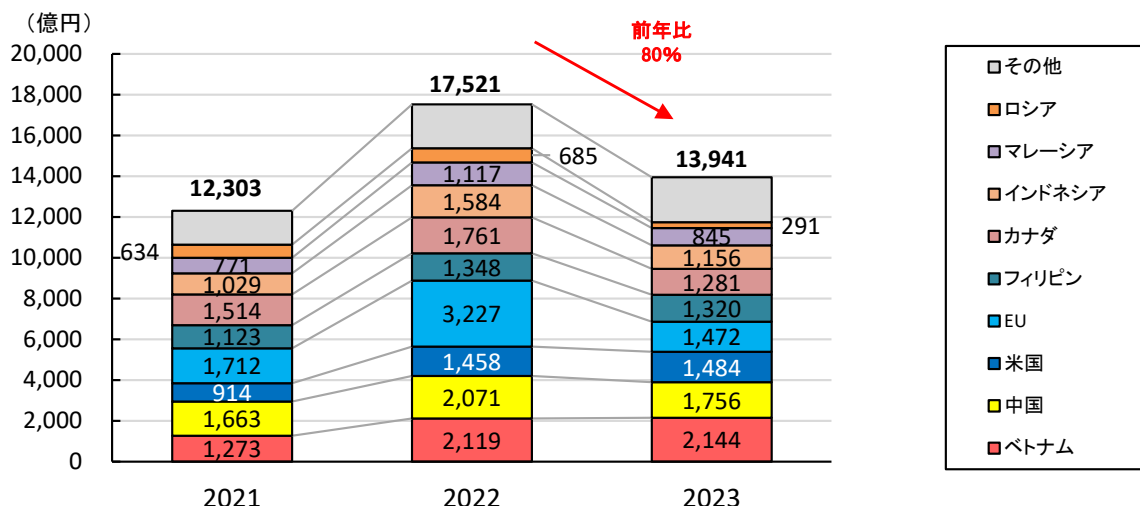
- 2023年12月の木材輸入額は、前月比95%、前年同月比90%の1,124億円。
- 2023年1～12月の木材輸入額累計は、前年同期比80%の1兆3,941億円。

○2023年12月の木材輸入額

(単位:億円)

年 国名	2022年 (1月～ 12月)	月別金額				累計金額		
		2023年 11月	2023年 12月	前月比	前年 同月比	2022年 1～12月	2023年 1～12月	前年 同期比
世界計	17,521	1,186	1,124	95%	90%	17,521	13,941	80%
E U	3,227	127	130	102%	77%	3,227	1,472	46%
(フィンランド)	1,080	36	33	92%	53%	1,080	439	41%
(スウェーデン)	688	25	29	116%	78%	688	293	43%
ベトナム	2,119	184	145	79%	75%	2,119	2,144	101%
中国	2,071	162	151	93%	97%	2,071	1,756	85%
カナダ	1,761	99	120	121%	117%	1,761	1,281	73%
インドネシア	1,584	109	103	94%	94%	1,584	1,156	73%
米国	1,458	103	115	111%	106%	1,458	1,484	102%
フィリピン	1,348	107	103	96%	96%	1,348	1,320	98%
マレーシア	1,117	91	61	67%	72%	1,117	845	76%
ロシア	685	18	21	116%	105%	685	291	43%
その他	2,152	185	174	94%	85%	2,152	2,191	102%
我が国の総輸入額	1,181,642	96,047	95,745	100%	94%	1,181,642	1,101,711	93%
我が国の総輸入額に 占める木材輸入額の割合	1.48%	1.24%	1.17%			1.48%	1.27%	

○2021～2023年の木材輸入額



資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第44類（木材及びその製品並びに木炭）の合計（※次ページ以降に記載の品目の合計ではない）。

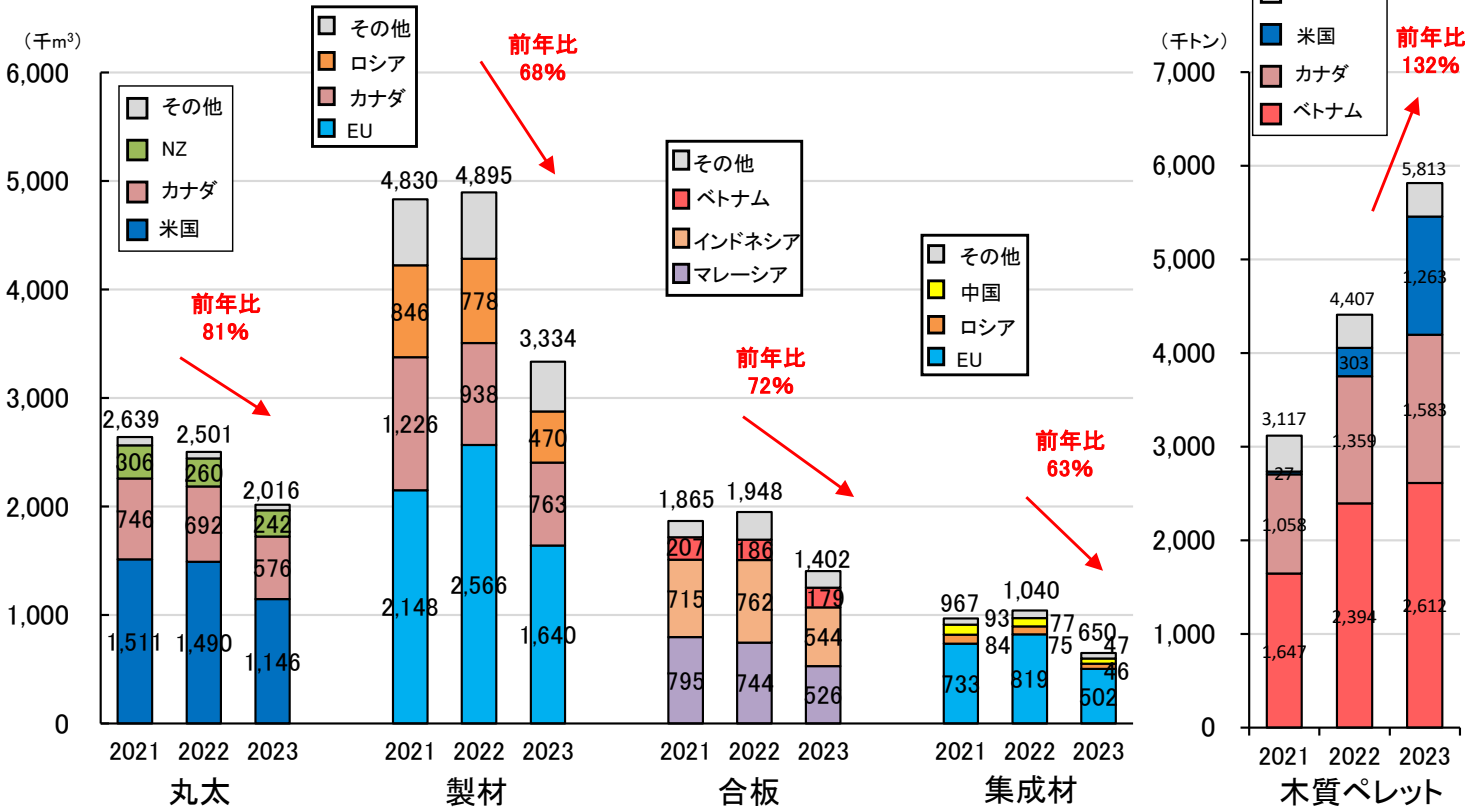
注2：EUに英国は含まない。

注3：EUは、フィンランド、スウェーデンの合計ではない。

林産物輸出入情報-3 木材輸入量（累計）

- 2023年の品目別輸入量は、前年比で、丸太が81%、製材が68%、合板が72%、集成材が63%、木質ペレットが132%となった。なお、2021年比では、丸太が76%、製材が69%、合板が75%、集成材が67%、木質ペレットが187%となった。
- 2022年の品目別の輸入量は、前年比で丸太が95%と減少する一方で、製材が101%、合板が104%、集成材が107%と増加した。

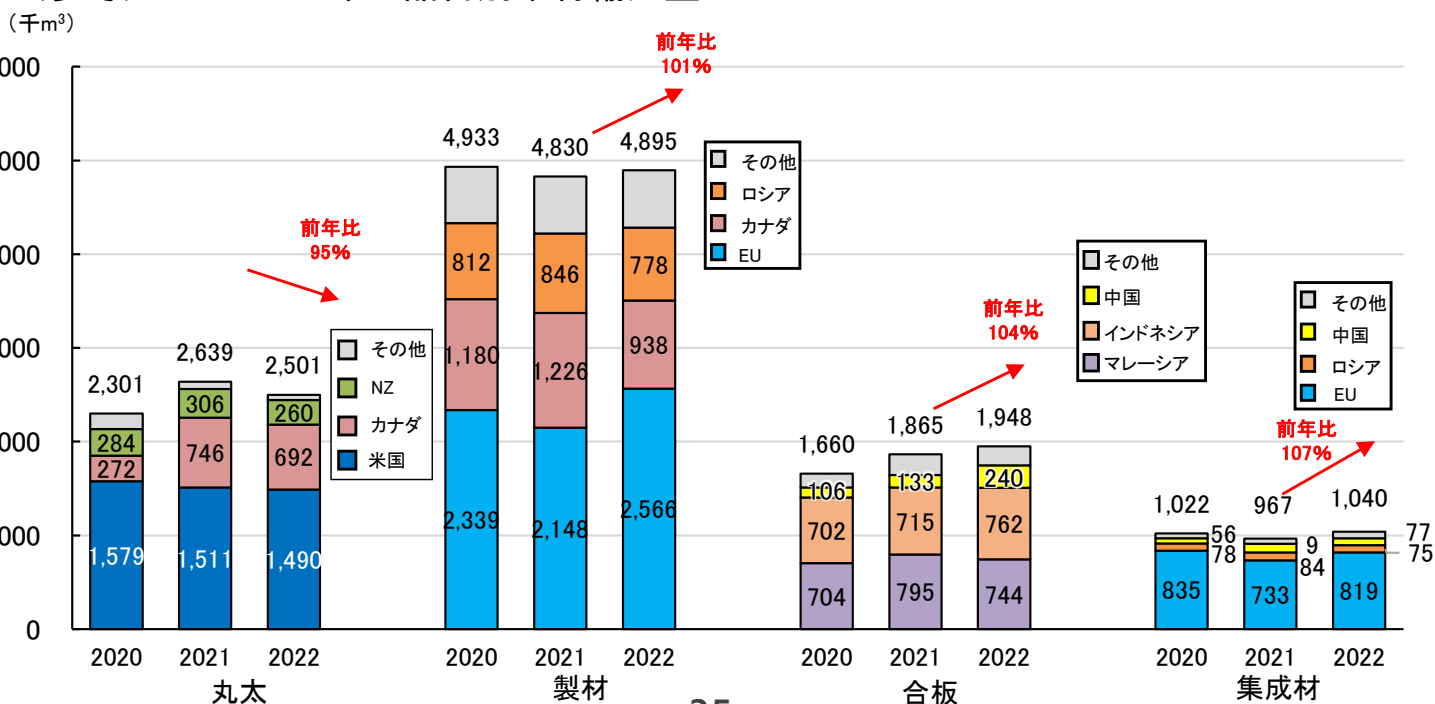
○2021～2023年の品目別木材輸入量



資料：財務省貿易統計

注1：2023年9月号より木質ペレットのグラフを追加。

(参考)2020～2022年の品目別木材輸入量



林産物輸出入情報- 4 木材輸入量（丸太）

- 2023年12月の丸太輸入量は、前月比128%、前年同月比69%の14万m³。

(単位:千m³)

材種 国名	年 2022年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
		2023年 11月	2023年 12月	前月比	前年 同月比	2022年 1～12月	2023年 1～12月	前年 同期比
合計	[100%] 2,501	[100%] 106	[100%] 136	128%	69%	[100%] 2,501	[100%] 2,016	81%
米材	[87%] 2,182	[99%] 105	[80%] 109	104%	66%	[87%] 2,182	[85%] 1,722	79%
米国	[60%] 1,490	[65%] 69	[48%] 65	94%	61%	[60%] 1,490	[57%] 1,146	77%
カナダ	[28%] 692	[34%] 36	[32%] 44	123%	76%	[28%] 692	[29%] 576	83%
南洋材	[1%] 29	[0%] 1	[0%] 0	5%	0%	[1%] 29	[2%] 31	108%
インドネシア	[0%] 0	-	[0%] 0	皆増	皆増	[0%] 0	[0%] 0	65%
マレーシア	[1%] 22	[0%] 1	-	0%	0%	[1%] 22	[1%] 17	78%
パプアニュー ギニア	[0%] 7	-	-	-	-	[0%] 7	[1%] 14	201%
ロシア材	[0%] 7	-	-	-	-	[0%] 7	-	0%
ニュージーランド材	[10%] 260	[0%] 0	[19%] 26	16163%	125%	[10%] 260	[12%] 242	93%
欧州材	[1%] 15	[0%] 0	[0%] 0	229%	58%	[1%] 15	[1%] 13	88%
EU 計	[1%] 15	[0%] 0	[0%] 0	229%	58%	[1%] 15	[1%] 13	88%
アフリカ材	[0%] 2	[0%] 0	[0%] 0	124%	888%	[0%] 2	[0%] 4	167%
中国	[0%] 2	[0%] 0	[0%] 0	133%	109%	[0%] 2	[0%] 2	82%
その他	[0%] 3	[0%] 0	[1%] 1	1158%	542%	[0%] 3	[0%] 2	69%

資料：財務省貿易統計

注1：丸太は輸入統計品目表第4403項の合計。

2：米材は米国、カナダより輸入された材。

3：南洋材はインドネシア、マレーシア、パプアニューギニア、ソロモン諸島、フィリピン、シガポール、ブルネイの7か国より輸入された材。

4：欧州材はロシアを除く全ての欧州各国より輸入された材。

5：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

6：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

7：「-」は輸入実績なし等。

8：EUに英国は含まない。

林産物輸出入情報- 4 木材輸入量（製材）

- 2023年12月の製材輸入量は、前月比92%、前年同月比103%の29万m³。

(単位:千m³)

材種 国名	年	月別数量				累計数量			
		2022年 (1月～ 12月)	2023年 11月	2023年 12月	前月比	前年 同月比	2022年 1～12月	2023年 1～12月	前年 同期比
合計		[100%] 4,895	[100%] 310	[100%] 285			[100%] 4,895	[100%] 3,334	
米材		[22%] 1,070	[29%] 90	[31%] 87			[22%] 1,070	[26%] 872	
米国		[3%] 132	[3%] 11	[3%] 9			[3%] 132	[3%] 109	
カナダ		[19%] 938	[26%] 79	[28%] 78			[19%] 938	[23%] 763	
南洋材		[1%] 63	[1%] 4	[1%] 4			[1%] 63	[1%] 50	
インドネシア		[0%] 21	[0%] 1	[1%] 2			[0%] 21	[1%] 19	
マレーシア		[1%] 40	[1%] 2	[1%] 2			[1%] 40	[1%] 29	
パプアニューギニア		[0%] 0	[0%] 0	-			[0%] 0	[0%] 0	
ロシア材		[16%] 778	[10%] 30	[12%] 35			[16%] 778	[14%] 470	
ニュージーランド材		[1%] 47	[1%] 3	[0%] 1			[1%] 47	[1%] 32	
チリ材		[5%] 251	[9%] 28	[2%] 4			[5%] 251	[6%] 187	
欧州材		[54%] 2,619	[48%] 149	[52%] 149			[54%] 2,619	[50%] 1,668	
EU計		[52%] 2,566	[47%] 146	[52%] 148			[52%] 2,566	[49%] 1,640	
(スウェーデン)		[17%] 847	[17%] 53	[21%] 60			[17%] 847	[17%] 567	
(フィンランド)		[17%] 842	[16%] 48	[16%] 45			[17%] 842	[17%] 579	
アフリカ材		[0%] 2	[0%] 0	[0%] 0			[0%] 2	[0%] 4	
中国		[1%] 57	[1%] 4	[1%] 4			[1%] 57	[1%] 42	
その他		[0%] 8	[0%] 1	[0%] 1			[0%] 8	[0%] 9	

資料：財務省貿易統計

注1：製材は輸入統計品目表第4407項の合計。

2：米材は米国、カナダより輸入された材。

3：南洋材はインドネシア、マレーシア、パプアニューギニア、ソロモン諸島、フィリピン、シカゴール、ブルネイの7か国より輸入された材。

4：欧州材はロシアを除く全ての欧州各国より輸入された材。

5：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

6：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

7：「-」は輸入実績なし等。

8：EUに英国は含まない。

9：EUは、フィンランド、スウェーデンの合計ではない。

- 2023年12月の合板輸入量は、前月比88%、前年同月比96%の13万m³。

(単位:千m³)

年 国名	2022年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
		2023年 11月	2023年 12月	前月比	前年 同月比	2022年 1～12月	2023年 1～12月	前年 同期比
総輸入量	[100%] 1,948	[100%] 145	[100%] 128	88%	96%	[100%] 1,948	[100%] 1,402	72%
インドネシア	[39%] 762	[37%] 53	[42%] 54	102%	115%	[39%] 762	[39%] 544	71%
マレーシア	[38%] 744	[43%] 63	[34%] 43	69%	88%	[38%] 744	[38%] 526	71%
中国	[12%] 240	[8%] 12	[9%] 12	101%	86%	[12%] 240	[10%] 139	58%
ベトナム	[10%] 186	[12%] 17	[14%] 18	105%	82%	[10%] 186	[13%] 179	96%
EU	[0%] 6	[0%] 1	[1%] 1	108%	171%	[0%] 6	[1%] 8	120%
その他	[1%] 10	[0%] 0	[0%] 0	73%	39%	[1%] 10	[0%] 6	61%

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4412.10号111～299、第4412.31号、第4412.33号、第4412.34号、第4412.39号の合計。

注2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

注3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

注4：EUに英国は含まない。

- 2023年12月の木材チップ輸入量は、前月比89%、前年同月比78%の78万トン。

(単位:千トン)

年 国名	2022年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
		2023年 11月	2023年 12月	前月比	前年 同月比	2022年 1～12月	2023年 1～12月	前年 同期比
総輸入量	[100%] 11,312	[100%] 876	[100%] 779	89%	78%	[100%] 11,312	[100%] 11,115	98%
ベトナム	[38%] 4,300	[39%] 345	[29%] 222	64%	72%	[38%] 4,300	[37%] 4,071	95%
オーストラリア	[17%] 1,943	[24%] 207	[23%] 179	87%	104%	[17%] 1,943	[18%] 2,022	104%
チリ	[8%] 868	[6%] 50	[13%] 102	202%	125%	[8%] 868	[7%] 761	88%
南アフリカ共和国	[10%] 1,099	[5%] 48	[4%] 31	65%	48%	[10%] 1,099	[9%] 1,036	94%
米国	[8%] 960	[7%] 61	[10%] 80	133%	65%	[8%] 960	[8%] 940	98%
その他	[19%] 2,142	[19%] 166	[21%] 164	99%	67%	[19%] 2,142	[21%] 2,285	107%

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4401.21号と第4401.22号の合計。

注2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

注3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

林産物輸出入情報-4 木材輸入量（集成材）

- 2023年12月の集成材輸入量は、前月比97%、前年同月比106%の6.0万m³。
- 構造用集成材に限ると、前月比99%、前年同月比107%の5.3万m³。

（単位：千m³）

年 国名	2022年 (1月～12月)	月別数量				累計数量		
		2023年 11月	2023年 12月	前年		2022年 1～12月	2023年 1～12月	前年 同期比
				前月比	同月比			
総輸入量	[100%] 1,040	[100%] 62	[100%] 60			[100%] 1,040	[100%] 650	
うち 構造用集成材	[100%] 906	[100%] 54	[100%] 53			[100%] 906	[100%] 558	
E U	[79%] 819	[80%] 49	[79%] 47			[79%] 819	[77%] 502	
うち 構造用集成材	[88%] 797	[90%] 48	[86%] 46			[88%] 797	[87%] 488	
フィンランド	[38%] 390	[36%] 22	[33%] 20			[38%] 390	[38%] 244	
うち 構造用集成材	[43%] 385	[41%] 22	[36%] 19			[43%] 385	[43%] 241	
ルーマニア	[15%] 156	[20%] 12	[15%] 9			[15%] 156	[13%] 83	
うち 構造用集成材	[16%] 148	[22%] 12	[15%] 8			[16%] 148	[14%] 80	
オーストリア	[12%] 125	[11%] 7	[11%] 7			[12%] 125	[11%] 72	
うち 構造用集成材	[13%] 116	[12%] 6	[12%] 6			[13%] 116	[11%] 64	
中国	[7%] 77	[7%] 4	[7%] 4			[7%] 77	[7%] 47	
うち 構造用集成材	[5%] 45	[5%] 3	[5%] 3			[5%] 45	[5%] 26	
ロシア	[7%] 75	[5%] 3	[8%] 5			[7%] 75	[7%] 46	
うち 構造用集成材	[7%] 63	[5%] 3	[9%] 5			[7%] 63	[8%] 43	
その他	[7%] 68	[9%] 5	[6%] 4			[7%] 68	[8%] 54	
うち 構造用集成材	[0%] 0	-	[0%] 0			[0%] 0	[0%] 0	

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4412.10号910、第4412.51号100、第4412.59号100、第4412.91号100、第4412.92号100、第4412.99号110、190と、第4418.81号（構造用集成材）の合計。

2：数量の上段の〔 〕書きは、総輸入量に占める各国の割合。

3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

4：「-」は輸入実績なし等。

5：EUに英国は含まない。

6：EUはフィンランド、ルーマニア、オーストリアの合計ではない。

林産物輸出入情報-4 木材輸入量（木質ペレット、LVL）

- 2023年12月の木質ペレット輸入量は、前月比118%、前年同月比164%の54万トン。

（単位：千トン）

国名	年	月別数量				累計数量			
		2022年 (1月～ 12月)	2023年 11月	2023年 12月	前月比	前年 同月比	2022年 1～12月	2023年 1～12月	前年 同期比
総輸入量	[100%] 4,407	[100%] 458	[100%] 541	118%	164%	[100%] 4,407	[100%] 5,813	132%	
ベトナム	[54%] 2,394	[47%] 216	[39%] 211	97%	99%	[54%] 2,394	[45%] 2,612	109%	
カナダ	[31%] 1,359	[17%] 77	[31%] 168	219%	187%	[31%] 1,359	[27%] 1,583	116%	
米 国	[7%] 303	[26%] 119	[28%] 150	126%	皆増	[7%] 303	[22%] 1,263	417%	
マレーシア	[3%] 137	[10%] 46	[2%] 11	25%	41%	[3%] 137	[4%] 231	168%	
その他	[5%] 214	[0%] 0	[0%] 0	105%	65%	[5%] 214	[2%] 125	58%	

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4401.31号000を集計。

2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

- 2023年12月のLVL輸入量は、前月比103%、前年同月比92%の4.8万m³。

（単位：千m³）

国名	年	月別数量				累計数量			
		2022年 (1月～ 12月)	2023年 11月	2023年 12月	前月比	前年 同月比	2022年 1～12月	2023年 1～12月	前年 同期比
総輸入量	[100%] 527	[100%] 47	[100%] 48	103%	92%	[100%] 527	[100%] 490	93%	
中 国	[75%] 397	[75%] 35	[75%] 36	103%	92%	[75%] 397	[74%] 365	92%	
ベトナム	[20%] 107	[22%] 10	[22%] 10	103%	94%	[20%] 107	[22%] 106	99%	
インドネシア	[4%] 19	[3%] 1	[2%] 1	66%	59%	[4%] 19	[3%] 15	80%	
その他	[1%] 4	[0%] 0	[1%] 1	317%	148%	[1%] 4	[1%] 4	105%	

資料：財務省貿易統計

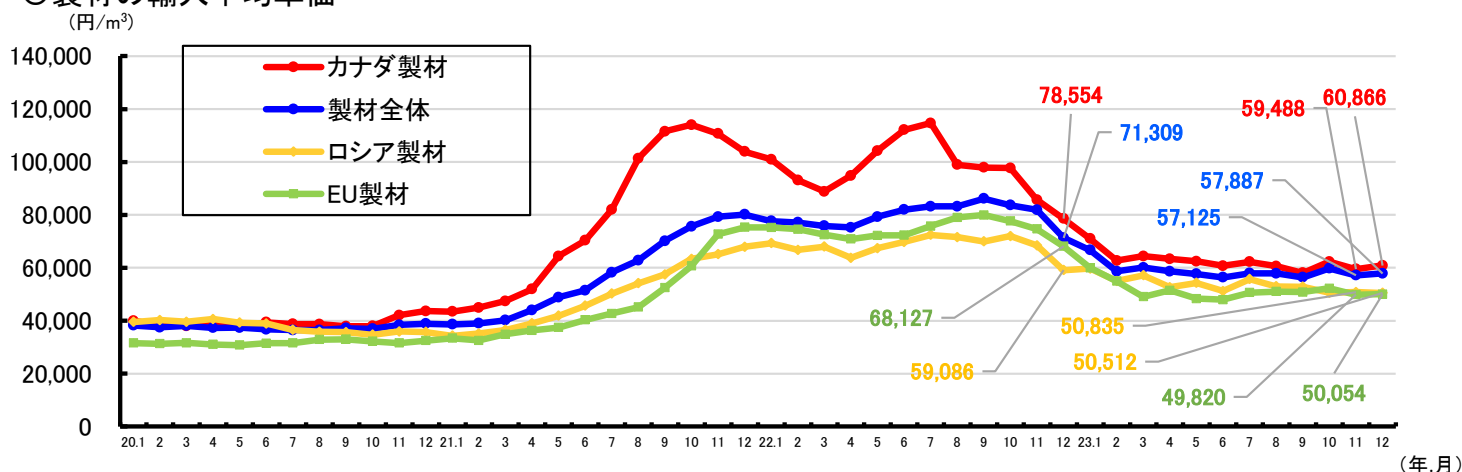
注1：輸入統計品目表第4412.41号000、4412.42号000、4412.49号を集計。

2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

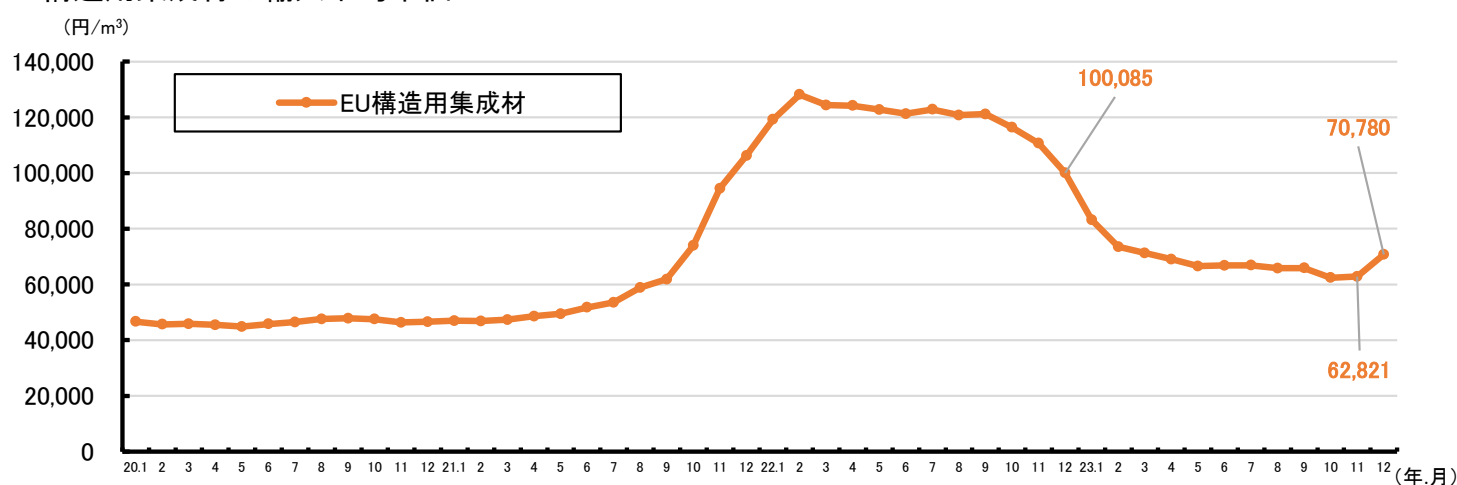
3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

- 2023年12月の製材輸入平均単価（総輸入額／総輸入量）は、前月比101%の57,887円/m³（前年同月比81%）。国別に見ると、カナダの製材は、前月比102%の60,866円/m³（前年同月比77%）、EUの製材は、前月比100%の50,054円/m³（前年同月比73%）、ロシアの製材は、前月比99%の50,512円/m³（前年同月比85%）。
- 同月のEUからの構造用集成材輸入平均単価は、前月比113%の70,780円/m³（前年同月比71%）。
- 同月の合板輸入平均単価は、前月比98%の82,059円/m³（前年同月比83%）。

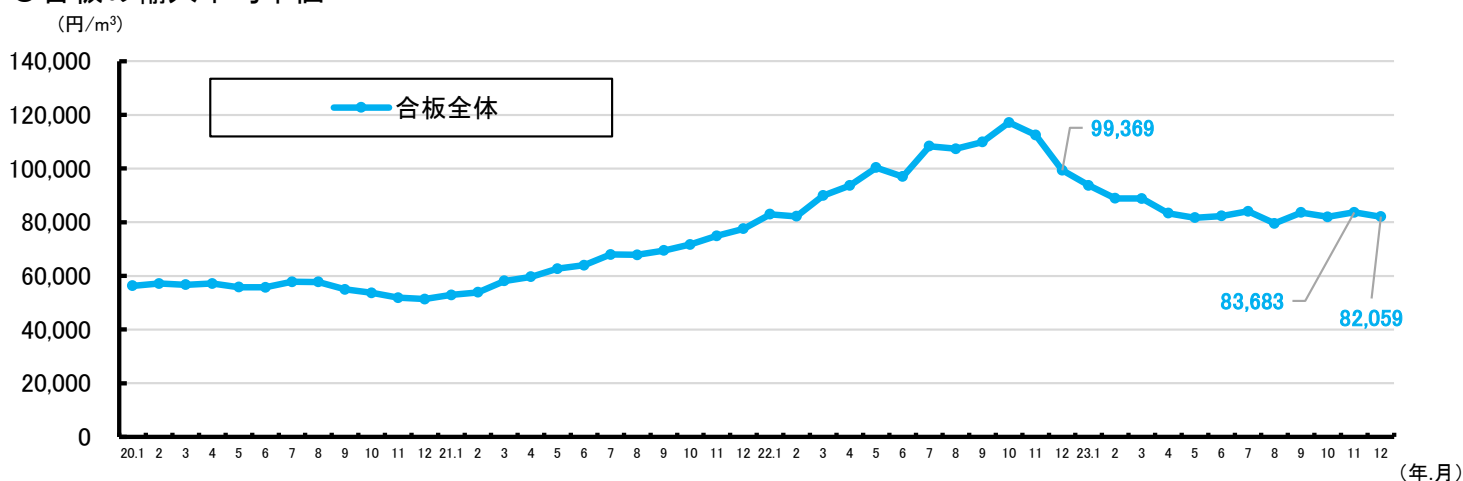
○製材の輸入平均単価



○構造用集成材の輸入平均単価



○合板の輸入平均単価



資料：財務省貿易統計

注：輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

特用林産情報-1 特用林産物の国内生産量

- 2022年の食用きのこ類の生産量は46万0,890t（対前年比99.8%）となった。
- たけのこの生産量は2万1,798t（対前年比109.4%）となった。
- 木炭の生産量は1万1,882t（対前年比102.9%）となった。

○きのこ類

単位:t

年次	品目	きのこ類													
		しいたけ計	乾しいたけ	乾しいたけ (生換算値)	生しいたけ	きのこ類		なめこ	えのきたけ	ひらたけ	ぶなしめじ	まいたけ	エリンギ	きくらげ類	まつたけ
					原木栽培	菌床栽培									
2011	平成23	97,125	3,696	25,871	71,254	10,735	60,519	25,426	143,189	2,082	118,006	44,453	38,055	643	36
2012	24	92,414	3,705	25,938	66,476	8,426	58,050	25,816	134,097	1,883	122,276	43,251	38,163	819	16
2013	25	92,437	3,499	24,491	67,946	7,707	60,239	23,383	133,647	2,290	117,363	45,453	40,200	765	38
2014	26	89,093	3,175	22,222	66,872	7,437	59,435	21,796	135,919	2,327	115,751	49,541	39,645	894	42
2015	27	86,284	2,631	18,415	67,869	7,611	60,258	22,897	131,683	3,263	116,152	48,852	39,692	1,182	71
2016	28	88,241	2,735	19,141	69,100	7,324	61,778	22,935	133,297	3,449	116,271	48,523	40,475	1,278	69
2017	29	86,767	2,544	17,807	68,961	6,393	62,568	22,946	135,615	3,828	117,712	47,728	39,088	1,710	18
2018	30	88,196	2,635	18,442	69,754	5,965	63,789	22,809	140,038	4,001	117,916	49,670	39,413	2,309	56
2019	令和元	87,971	2,414	16,901	71,071	5,914	65,157	23,285	128,974	3,862	118,597	51,108	37,635	2,315	14
2020	2	86,394	2,302	16,115	70,280	5,396	64,884	22,835	127,914	3,824	122,802	54,993	38,500	3,132	32
2021	3	86,573	2,216	15,514	71,058	4,981	66,078	24,063	129,587	4,463	119,545	54,521	38,344	3,031	39
2022	4	83,773	2,034	14,241	69,532	4,328	65,204	23,738	126,321	4,501	122,840	56,763	37,798	2,997	35

注:乾しいたけの生換算値は「乾燥重量×7」により算出した。

○その他食品

単位:t

年次	品目	その他食用		
		くり	たけのこ	わさび (根茎+葉柄)
2011	平成23	19,100	32,217	2,703
2012	24	20,900	39,244	2,670
2013	25	21,000	24,203	2,381
2014	26	21,400	36,364	2,429
2015	27	16,300	28,980	2,213
2016	28	16,500	35,592	2,266
2017	29	18,700	23,582	2,214
2018	30	16,500	25,364	2,080
2019	令和元	15,700	22,285	1,973
2020	2	16,900	26,449	2,017
2021	3	15,700	19,917	1,886
2022	4	15,600	21,798	1,635

注:くりの生産量は、農林水産省大臣官房統計部『果樹生産出荷統計』、『令和4年産西洋なし、かき、くりの結果樹面積、収穫量及び出荷量(概数値)』による。

○非食品

年次	品目	非食品																
		生うるし	木ろう	竹材	桐材	木炭	竹炭	オガ炭	オガライト	薪	木質粒状燃料	つばき油	しきみ	さかき	煉炭	豆炭	木酢液	竹酢液
		kg	t	千束	m ³	t	t	t	t	層積m ³	t	kl	t	t	t	t	kl	kl
2011	平成23	1,345	16	1,184	631	22,124	1,058	8,044	1,225	87,760	78,258	80	2,214	832	11,160	11,567	2,141	287
2012	24	1,438	18	1,199	589	22,646	1,002	6,615	1,051	62,071	98,184	44	2,176	860	10,840	11,567	2,136	242
2013	25	1,045	24	1,196	647	21,409	1,119	7,060	435	74,683	110,092	36	1,960	854	7,446	8,831	2,134	232
2014	26	1,003	28	1,178	669	20,281	599	6,869	318	84,659	126,035	50	1,750	832	7,841	10,742	2,100	213
2015	27	1,182	19	1,235	599	17,723	499	7,643	261	72,493	119,570	47	1,892	1,016	6,104	8,235	2,497	185
2016	28	1,294	24	1,272	492	16,769	411	6,553	185	82,584	120,162	70	1,875	1,091	5,123	7,262	2,774	203
2017	29	1,434	15	1,196	465	15,942	526	6,628	88	82,839	126,532	61	1,881	945	6,615	7,306	2,410	193
2018	30	1,845	41	1,143	404	14,699	534	6,479	79	76,659	131,401	45	1,586	811	5,936	6,846	2,450	197
2019	令和元	1,997	26	1,071	264	14,393	447	6,481	66	73,739	147,321	40	1,524	935	4,728	6,093	2,087	193
2020	2	2,051	21	1,030	200	12,945	451	6,363	31	83,536	148,726	42	1,672	866	4,054	5,735	1,743	151
2021	3	2,036	22	916	187	11,550	459	5,156	19	91,791	155,836	78	1,865	1,075	3,972	5,123	1,708	192
2022	4	1,766	22	828	230	11,882	426	4,773	5	91,516	158,046	69	1,774	1,000	3,615	4,830	1,689	190

注: 1 木炭は白炭、黒炭、粉炭を含む。
2 煉炭、豆炭の生産量は日本煉炭工業会調べによる。

資料: 農林水産省「令和4年特用林産基礎資料」

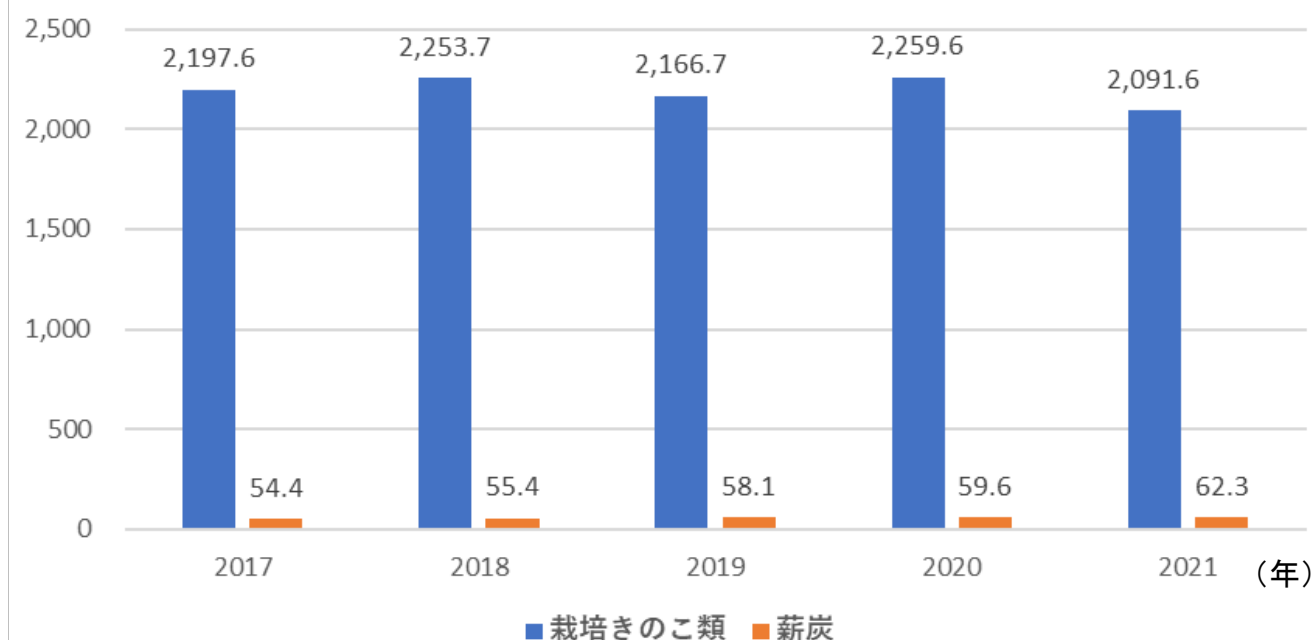
特用林産情報- 2 特用林産物の産出額

- 2021年のきのこ類の林業産出額は、2,091.6億円（対前年比92.6%）となった。
- 薪炭の林業産出額は、62.3億円（対前年比104.5%）となった。

（億円）

	2017	2018	2019	2020	2021
栽培きのこ類	2,197.6	2,253.7	2,166.7	2,259.6	2,091.6
薪炭	54.4	55.4	58.1	59.6	62.3

（億円）



資料：農林水産省「令和3年林業産出額」

- 2023年1～12月の乾しいたけの輸出量は36トン、輸入量は4,350トン。
- 2023年1～12月の木炭の輸出量は268トン、輸入量は78,816トン。

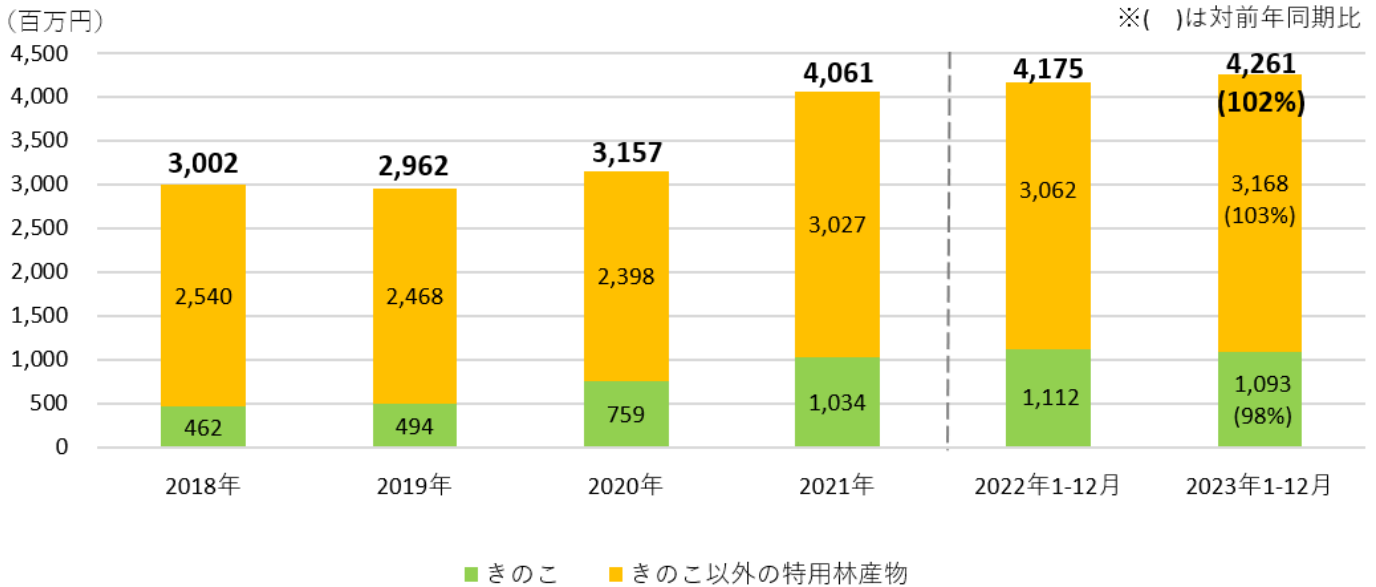
品目	単位	2019		2020		2021		2022		2023 1-12月	
		輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量
乾しいたけ	トン	33	4,869	33	4,354	41	4,575	36	4,596	36	4,350
生しいたけ	トン	…	1,835	…	1,785	…	1,988	14	2,262	16	2,162
なめこ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
えのきたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
ひらたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
ぶなしめじ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
まいたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
エリンギ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
きくらげ類	トン	89	25,320	14	23,190	66	22,060	76	24,882	47	22,831
まつたけ	トン	…	849	…	629	…	524	0	408	0	481
くり	トン	…	9,019	…	7,371	…	8,401	…	8,481	…	8,585
くるみ	トン	…	52,236	…	56,478	…	67,581	…	53,991	…	54,099
たけのこ	トン	…	157,296	…	142,544	…	149,778	…	153,619	…	130,160
ねまがりたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
わさび	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
おうれん	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
きはだ皮	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
木ろう	トン	7	10	4	9	5	11	5	10	7	5
生うるし	kg	…	36,254	…	30,165	…	21,910	…	23,880	…	28,140
つばき油	kl	…	180	…	220	…	224	…	218	…	210
竹皮	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
竹材	千束	0	215	0	194	0	191	0	159	0	163
桐材	m ³	…	10,099	…	9,726	…	9,871	…	9,813	…	9,910
木炭	トン	460	143,953	439	79,739	270	84,224	205	78,838	268	78,816
竹炭	トン	…	9,414	12	7,605	2	6,790	6	9,666	1	12,401
木酢液	kl	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
竹酢液	kl	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
薪	層積m ³	788	1,830	468	2,326	490	7,099	558	9,048	580	8,508
オガライト	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
オガ炭	トン	…	54,183	…	44,499	…	37,584	…	43,396	…	45,198
煉炭	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
豆炭	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…

資料：財務省貿易統計

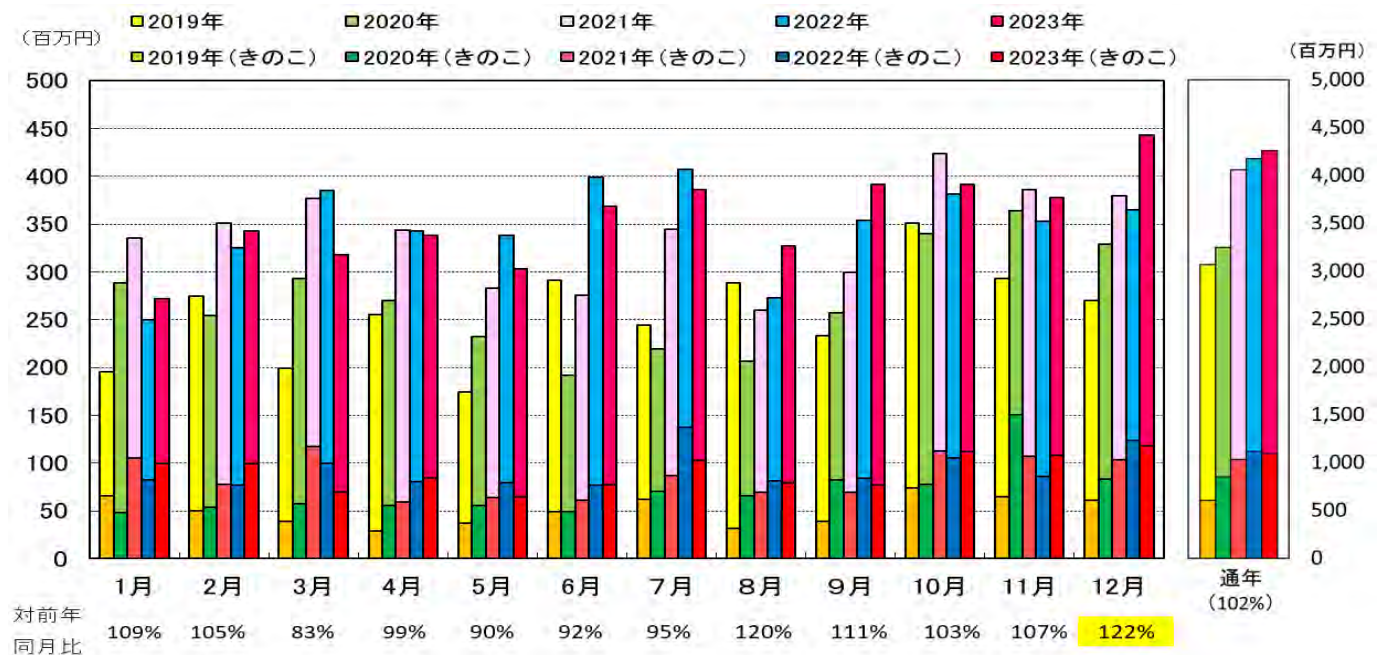
注：「…」は事実不詳又は調査を欠くもの。

- 2023年（1～12月）の特用林産物輸出額は4,261百万円（前年同期比102%）となった。内訳としては、きのこ（乾しいたけを含む）は1,093百万円（対前年同期比98%）、きのこ以外は3,168百万円（対前年同期比103%）となった。
- 12月の輸出額は、443百万円（対前年同月比122%）となった。内訳としては、きのこ（乾しいたけを含む）は118百万円（対前年同月比96%）、きのこ以外は325百万円（対前年同月比135%）となった。

○特用林産物輸出額全体の推移（累計）



○特用林産物輸出額全体の推移（月別）



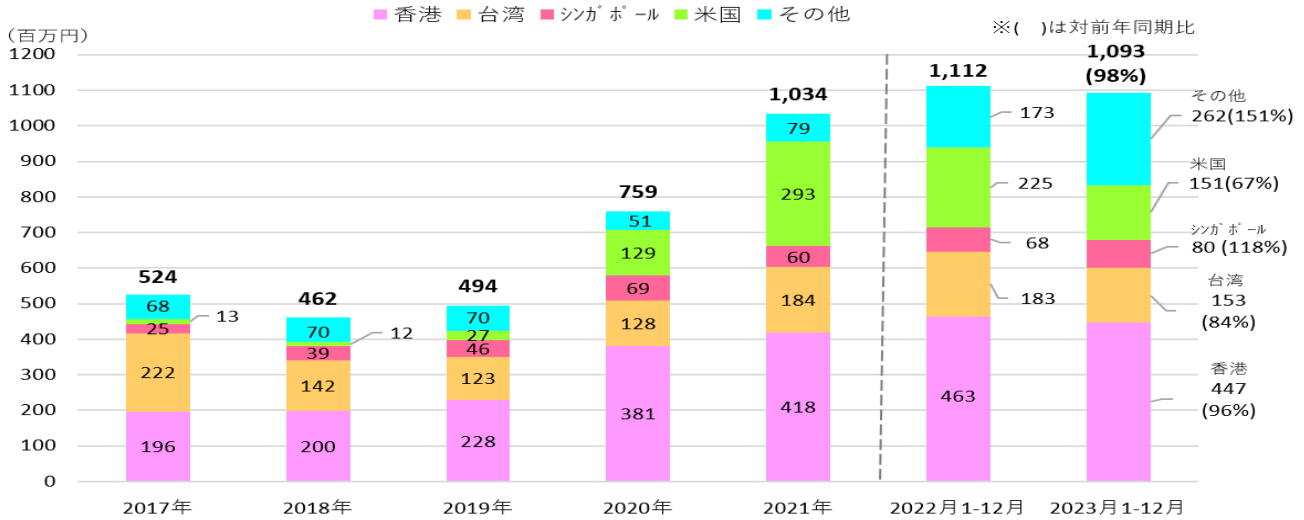
資料：財務省貿易統計

※生鮮きのこ、乾しいたけのほか、ロジン、植物性ろう等を含み、木質ペレット、チップ、薪、木炭は含まず。

※令和2年の定義見直しにより、令和3年実績から、乾燥きくらげ類、調整きのこ、保存処理をしたきのこ、しいたけ以外の乾燥きのこを計上した。

- 2023年（1～12月）のきのこのこの輸出額は1,093百万円で、対前年同期比98%となっている。国別には、主要な輸出先である香港が対前年同期比96%、台湾が84%、シンガポールが118%、米国が67%となっている。
- 2023年（1～12月）の輸出量は1,537トンで、対前年同期比102%となっている。主要な輸出先では、香港が対前年同期比89%、台湾が80%、シンガポールが117%、米国が62%となっている。

○きのこのこ（乾しいたけ含む）輸出額の推移（累計）



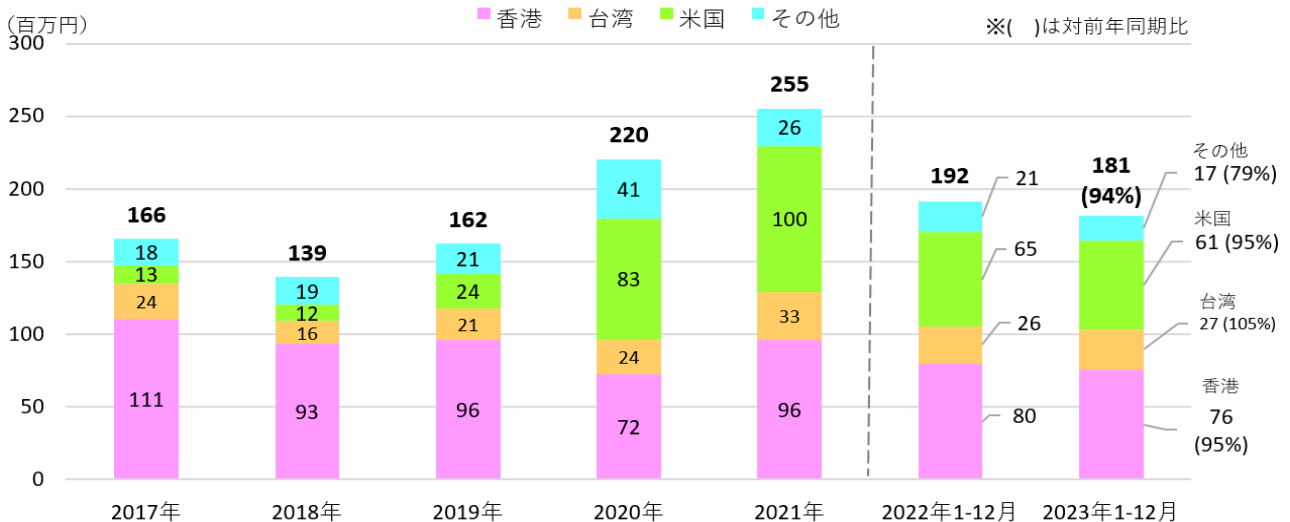
資料：財務省貿易統計

※()は対前年同期比

※令和2年の定義見直しにより、令和3年実績から、生鮮きのこ、乾しいたけに加え、乾燥きくらげ類、調整きのこ、保存処理をしたきのこ及びしいたけ以外の乾燥きのこを計上している。

- 2023年（1～12月）の乾しいたけの輸出額は181百万円で、対前年同期比94%となっている。国別には、主要な輸出先である香港が対前年同期比95%、台湾は105%、米国は95%となっている。
- 2023年（1～12月）の輸出量は36トンで、対前年同期比100%となっている。主要な輸出先では、香港が対前年同期比102%、台湾が83%、米国が106%となっている。

○乾しいたけ輸出額の推移（累計）



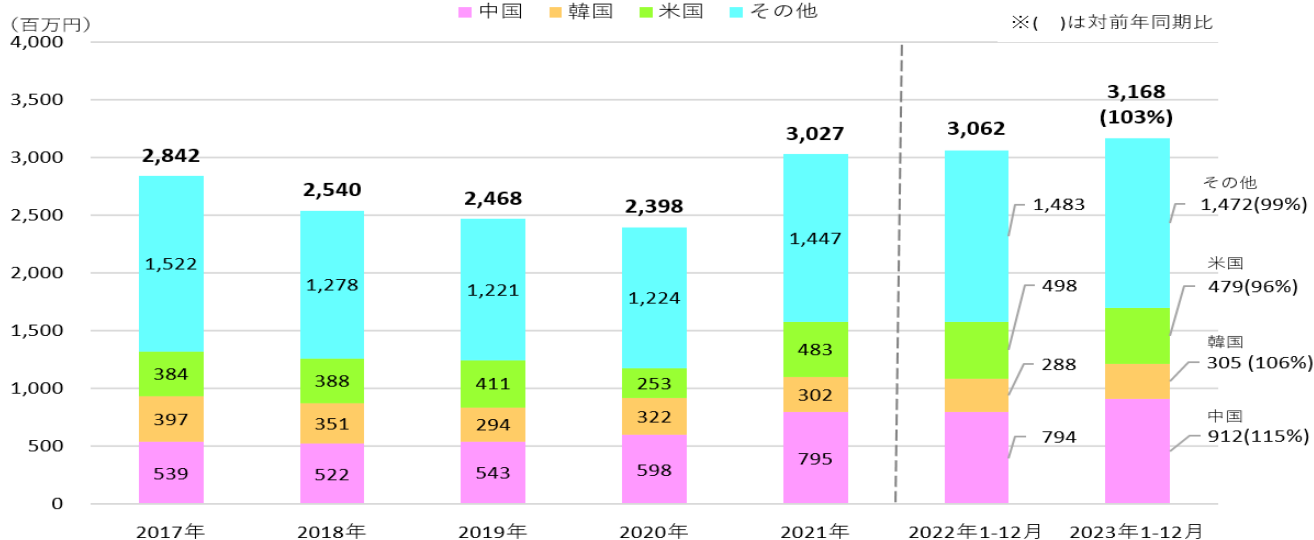
資料：財務省貿易統計

※()は対前年同期比

特用林産情報- 4 特用林産物の輸出額③

- 2023年（1～12月）のきのこ以外の特用林産物の輸出額は3,168百万円で、対前年同期比103%となっている。国別には、中国が対前年同期比115%、韓国が106%、米国が96%となっている。取引額の大きい品目では、ロジン（松脂）が対前年同期比97%、植物性ろうが108%、テルペン油が123%となっている。
- 2023年（1～12月）の輸出量は2,414トンで、対前年同期比91%となっている。主要な輸出先では、中国が対前年同期比105%、韓国が108%、米国が75%となっている。

○きのこ以外の特用林産物の輸出額の推移（累計）



資料：財務省貿易統計
※()は対前年同期比

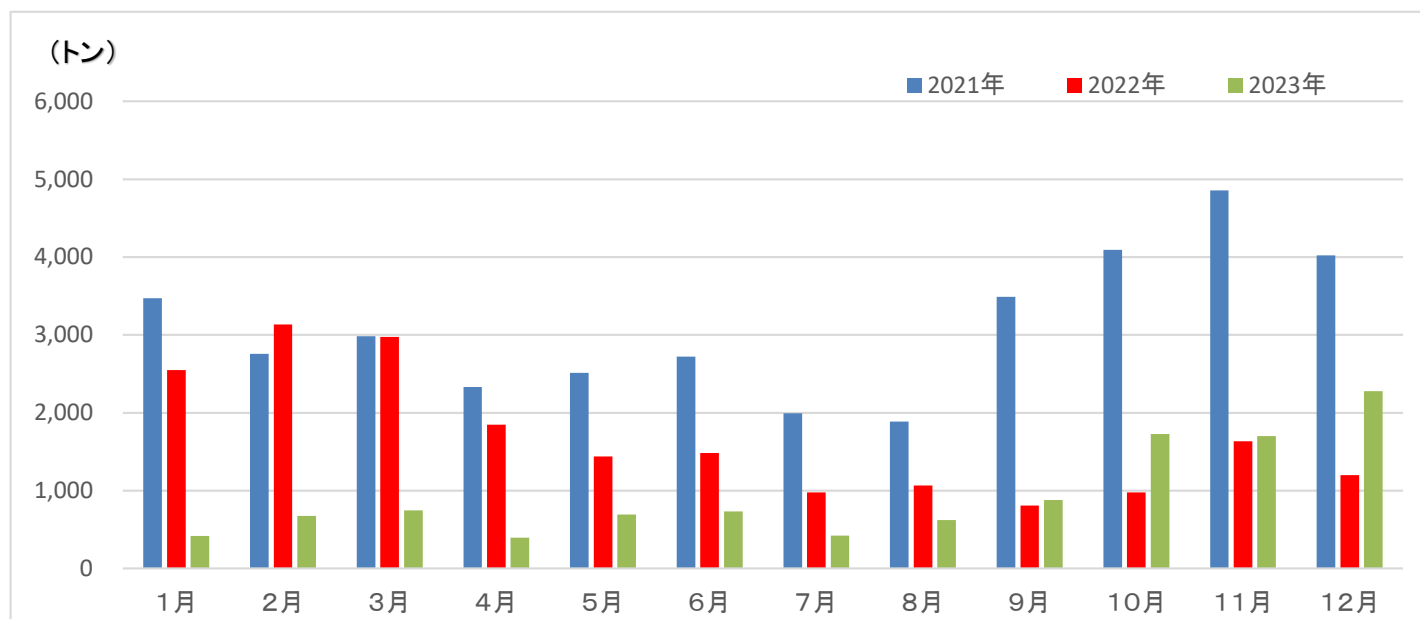
特用林産情報-5 中国からのしいたけ菌糸輸入量

- 中国からのしいたけ菌糸の輸入量は近年増加傾向にあったが、生しいたけの原産地表示のルール改正があった2022年4月以降は減少傾向に転じている。
- 2023年12月の輸入量は2,278トンであり、対改正前直近年の同月比56.7%となっている。

○中国からのしいたけ菌糸輸入量（月別）

（単位：トン）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2021年 (令和3年)	3,472	2,757	2,984	2,330	2,513	2,722	1,996	1,889	3,488	4,092	4,856	4,022
2022年 (令和4年)	2,548	3,136	2,975	1,850	1,439	1,482	980	1,068	808	979	1,634	1,199
2023年 (令和5年)	420	675	746	395	695	732	424	622	880	1,726	1,702	2,278



資料：財務省貿易統計

特用林産情報-6 きのこと類の卸売数量・単価

- 2024年1月のきこの卸売数量は6,682トン（対前年同月比90.1%）となった。
- 2024年1月のきこの卸売総額は3,973百万円（対前年同月比94.5%）となった。

きこの類の卸売数量

単位：トン

	2020年	2021年	2022年	2023年 1月	2023年 8月	2023年 9月	2023年 10月	2023年 11月	2023年 12月	2024年 1月
生しいたけ	48,466	47,744	45,782	1,541	1,038	1,157	1,621	1,657	1,873	1,480
なめこ	16,889	16,285	14,650	468	455	511	525	523	528	462
えのきだけ	98,312	99,571	94,232	3,374	2,085	2,848	3,586	3,426	3,694	3,014
しめじ	62,573	62,049	62,384	2,030	1,444	1,830	2,201	1,987	2,056	1,726
合計	226,240	225,649	217,048	7,413	5,022	6,346	7,933	7,593	8,151	6,682

きこの類の卸売総額

単位：百万円

	2020年	2021年	2022年	2023年 1月	2023年 8月	2023年 9月	2023年 10月	2023年 11月	2023年 12月	2024年 1月
生しいたけ	43,781	41,270	41,358	1,766	993	1,204	1,737	1,708	2,225	1,660
なめこ	7,431	7,032	6,426	223	194	239	266	247	247	216
えのきだけ	26,245	23,267	22,842	1,247	457	764	1,100	1,209	1,591	1,192
しめじ	28,688	25,099	24,164	969	539	859	1,137	1,078	1,175	905
合計	106,145	96,668	94,790	4,204	2,182	3,066	4,241	4,241	5,238	3,973

きこの類の卸売単価

単位：円/kg

	2020年	2021年	2022年	2023年 1月	2023年 8月	2023年 9月	2023年 10月	2023年 11月	2023年 12月	2024年 1月
生しいたけ	903	864	903	1,146	957	1,041	1,071	1,031	1,188	1,121
なめこ	440	432	439	476	425	468	507	472	467	468
えのきだけ	267	234	242	370	219	268	307	353	431	396
しめじ	458	405	387	477	373	469	517	542	572	524

資料：農林水産省「青果物卸売市場調査」を基に作成。

注1：月別の値は、全国の中央卸売市場のうち、一部の主要卸売市場で得られた旬別の調査結果を単純積み上げで集計したものである。

注2：年別の値は、全国の中央卸売市場の各年の調査結果及び農林水産省が保有する全国の地方卸売市場における直近の年度の市場情報を基に算出された推定値であり、2023年の値は、2024年4月末に更新予定。

林野庁が関係（主催・後援等）する各種セミナー・イベントの情報をご紹介します。

■ 2月中旬以降の開催情報

イベント名	開催日時	会場	イベント概要
「二国間クレジット制度を利用した途上国における森林保全・植林プロジェクトの新規案件形成に向けた現地調査」 成果報告会	2月29日（木）	オンライン形式	JCM森林分野に関心を持つ方を対象に実施する説明会です。 主催：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株） 事前申込：要 参加費：無料 詳細： https://www.murc.jp/information/seminar/w_240229/
企業／団体が できる 気候変動対策	3月12日（火）	オンライン形式	途上国の森林保全・資源利活用の課題解決に向け、我が国の民間事業者等が有する知見・技術（ナレッジ）を活用した取組事例を紹介します。 主催：（公財）国際緑化推進センター（JIFPRO） 事前申込：要 参加費：無料 詳細： https://jifpro.or.jp/infomation/21621/
建築・建材展2024	3月12日（火） ～3月15日（金）	東京国際 展示場 「ビッグ サイト」 東展示棟	安心・安全で快適な住環境、商環境の実現に不可欠な各種建材及び関連設備機器などを一堂に集め展示します。 主催：（株）日本経済新聞社 事前申込：不要 参加費：3,000円（ウェブサイトから事前登録した場合は入場料無料） 詳細： https://messe.nikkei.co.jp/ac/
途上国森づくり ワークス ー植えるを 視える化ー	3月14日（木）	オンライン形式	途上国における民間企業等の森林づくり活動の貢献度を環境・社会面から可視化する手法を開発するための取組事例を紹介します。 主催：（公財）国際緑化推進センター（JIFPRO） 事前申込：要 参加費：無料 詳細： https://jifpro.or.jp/infomation/21598/
第74回日本木材 学会大会 公開シンポジウム 「木の文化 ～ 伝統を未来に つなぐ～」	3月14日（木）	京都大学 時計台百周年 記念ホール	豊かな森林資源を背景に育まれてきた貴重な歴史的建造物や彫刻、工芸品に関する伝統的な技術の継承と保存、修理、修復事例を紹介します。 主催：（一社）日本木材学会 事前申込：不要 参加費：無料 詳細： https://confit.atlas.jp/guide/event/wood2024/static/sympj

セミナー・イベント情報

イベント名	開催日時	会場	イベント概要
第13回「日本の木の家づくり」サミット in 関西	5月21日(火) ～5月23日(木)	国立京都国際会館 アネックス ホール	『日本の魅力～住宅のルーツから 新しい暮らしの形を考える～』をテーマに、先進的な地域工務店や有識者から具体的な体験や取り組みを学び、地域工務店として何を為すべきか、これからの住まいづくり・暮らしづくりに必要なことを考えます。 主催：(特非)環境共棲住宅「地球の会」 詳細： https://www.chikyunokai.com/topics/2023/10/vol72.html
理想のすまいと建築フェア	5月30日(木) ～5月31日(金)	インテックス 大阪	建築材料及び住宅設備に関する機器・技術を総合的に展示し、広く住宅・非住宅関連の最新情報を提供します。 主催：(一社)日本建築材料協会 テレビ大阪 事前申込：要 参加費：無料 詳細： http://ken-ten.jp/

お知らせ

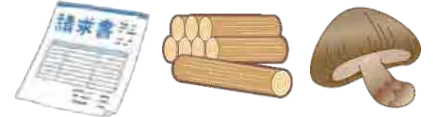
10月1日から 消費税インボイス制度 が始まりました！

森林・林業・木材産業関係者の皆様に、制度をよく理解いただき、各々の取引実態を踏まえて適切に準備いただく一助となるよう、林野庁ではインボイスサイトを開設し、ポイントをわかりやすくまとめたリーフレット掲載の他、各種パンフレットや関係サイトを紹介しております。
また、相談窓口も開設しておりますので、ぜひご活用ください！



インボイス制度（適格請求書等保存方式）のポイント！

- 消費税は、商品の販売やサービスの提供等の取引に対して広く公平に課される税であり、リーフレット消費者が負担するが、納税は事業者が実施。
- 事業者は、売上げに係る消費税額から、仕入れに係る消費税額を差し引いた額を納税（仕入税額控除）。
- 2023年10月1日から、事業者が仕入税額控除を行うためには、原則として、仕入先からインボイス（適格請求書）を交付してもらい、保存しておく必要。
- このインボイスは、税務署長の登録を受けた課税事業者のみが交付可能。（免税事業者はインボイスの交付不可！）



納付する消費税額の計算方法

※ 消費税額は、税率ごとに区分して計算する必要

$$\text{売上げに係る消費税額 (売上税額)} \text{ マinus } \text{仕入れや経費に係る消費税額 (仕入税額)} = \text{納付する税額 (納付税額)}$$

仕入れに係る消費税額を差し引くこと = 仕入税額控除

仕入税額控除にはインボイスの保存が必要

インボイスがなければ仕入税額控除できない！※

※ 制度開始から6年間は、経過措置が設けられています。

簡易課税制度を選択した場合の計算方法

$$\text{納付する税額} = \text{売上げの消費税額} \text{ マinus } \text{仕入れや経費の消費税額}$$

インボイスの保存不要！

$$\text{売上げの消費税額} \times \text{みなし仕入率}$$

売上税額がわかれば納付税額の計算が可能！

事務負担が軽減！

事業区分	該当する事業	みなし仕入率
第一種	卸売業	90%
第二種	小売業、農林漁業（飲食料品）	80%
第三種	製造業、農林漁業（飲食料品除く）等	70%
第四種	その他事業（飲食店業等）	60%
第五種	サービス業等	50%
第六種	不動産業	40%

（注）簡易課税制度の適用には、事前の届出書の提出と、基準期間の課税売上高が5,000万円以下であることが必要。

インボイス（適格請求書）とは？

- 丸太等を購入した買手に対し、正確な適用税率や消費税額等を伝えるために、登録番号※、適用税率、消費税額等の記載した請求書。（※ 登録番号は、登録後に税務署から通知される番号）
- 「インボイス」という名称の書類を新たに作成する必要はなく、現在の請求書や領収書等に不足する項目を追加するイメージ。

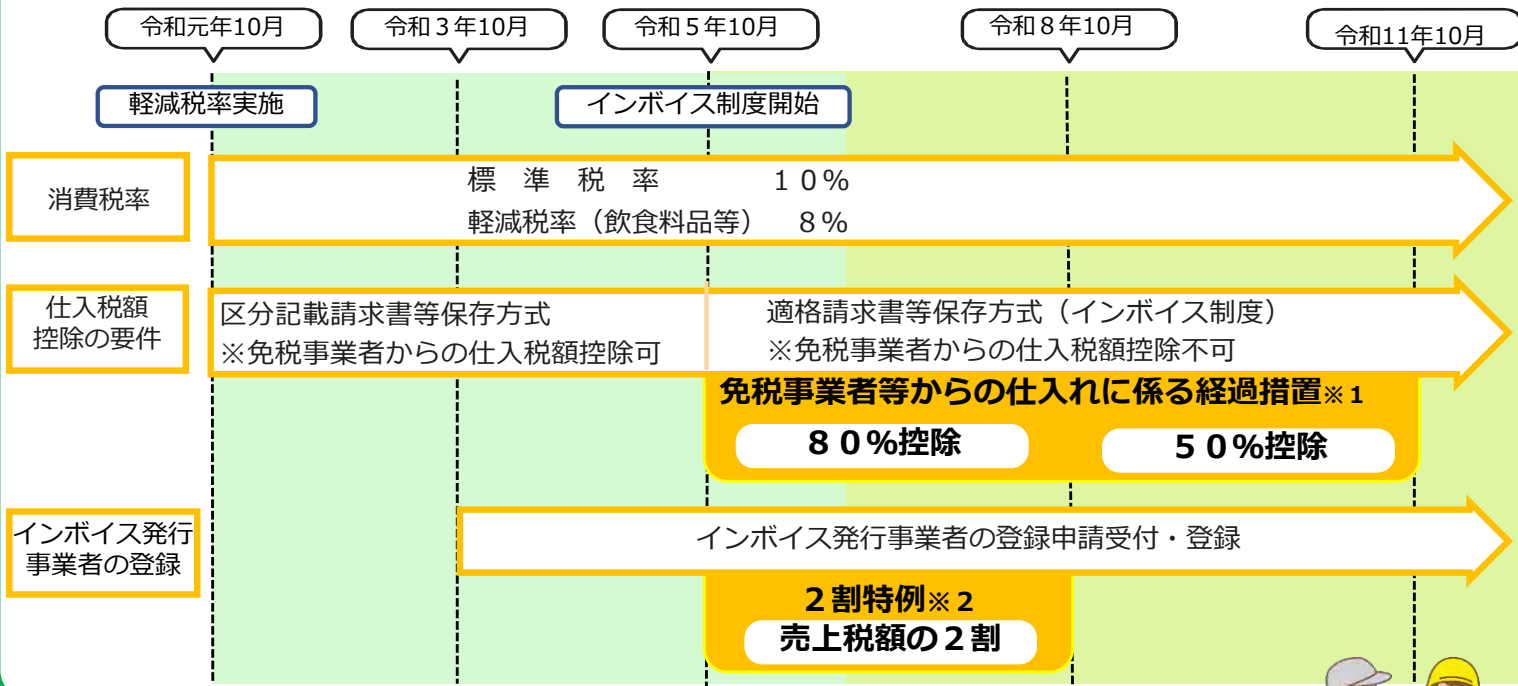
【インボイスのイメージ】

請求書	
●●(株)御中	登録番号 ○○会社 (T1234...)
○年○月分 請求金額	115,400円
○月○日 丸太	110,000円
○月○日 乾しいたけ※	5,400円
合計	115,400円
適用税率	10%対象 110,000円 内税 10,000円
	8%対象 5,400円 内税 400円
※は軽減税率対象	
	消費税額等

赤字が従来の区分記載請求書との変更点 →

インボイス制度のスケジュール及び経過措置等

- 免税事業者については、令和5年10月1日から11年9月30日までの日の属する課税期間中に登録を受ける場合、**登録希望日（登録申請書提出から15日経過以後の日）からインボイス発行事業者となる経過措置**が設けられています。但し**登録通知が届くまで一定期間（e-Tax提出：約1ヶ月、書面提出：約1ヶ月半）を要する**ため、登録を受ける事をお決めの方は、**お早めの申請をおすすめします！**
- **制度開始後6年間（～令和11年9月30日）は、従来の区分記載請求書等に基づき、免税事業者等からの仕入れであっても一定の割合で仕入税額控除が出来る経過措置**が設けられています（※1）。
- **免税事業者からインボイス発行事業者となる場合には、納付税額を売上げの消費税額の2割とすることができる負担軽減措置（2割特例）**があります（※2）。



免税事業者の方や、取引先が免税事業者である場合の対応に関する考え方



仕入先である免税事業者との取引について、インボイス制度の実施を契機として取引条件を見直すことを検討する場合は、上述の経過措置が設けられていることを考慮しつつ、**一方的な取引価格の引下げや取引の打ち切りなど、独占禁止法上の問題（優越的地位の濫用）等とならないように注意する必要がある**があります。

また、消費税の性質上、免税事業者であっても自らの仕入れや諸経費に係る消費税を負担しているため、その分は免税事業者の取引価格に織り込まれる必要があります。

関係省庁連名で、令和4年1月19日付「**免税事業者及びその取引先のインボイス制度への対応に関するQ&A**」（財務省・公正取引委員会・経済産業省・中小企業庁・国土交通省）が公表されていますので、制度への理解を深め、必要な対応をご検討いただく際に参考としてください。

公正取引委員会
インボイス制度
関連コーナー



林野庁のインボイス制度に関する相談窓口

林野庁企画課 **03-3502-8111**（内線**6064**）【受付時間】9:30～17:00（土日祝除く）

メールアドレス syohizei_rinya@maff.go.jp

（インボイス制度の基本的な内容や、業界特有の対応に係るご質問から、地域等での説明会の開催に当たっての講師派遣、広報誌への寄稿等、お気軽にご相談ください！）

林野庁インボイスサイト https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/kinyu/syohizei_invoice.html

林野庁
インボイスサイト
はこちら！



お知らせ

山林所得の確定申告の際、 各種控除が受けられます！

教えて！林業税制
シリーズ vol.1



令和5年分の所得税の確定申告は、**令和6年2月16日(金)から3月15日(金)まで**となっています。
山林所得の申告にあたっては、各種控除や軽減措置がありますので、ぜひご確認ください！

そもそも、山林所得って？

- **所有期間が5年を超える山林(立木)**を、①伐採して譲渡 or ②立木のままで譲渡することによって生ずる所得です。
- 山林(立木)を**取得してから5年以内**に①又は②によって生ずる所得は、その伐採や譲渡が事業として営まれている場合には**事業所得**、そうでない場合には**雑所得**として扱われます。
- 山林を土地付きで譲渡した場合は、**土地の部分は譲渡所得**として扱われます。

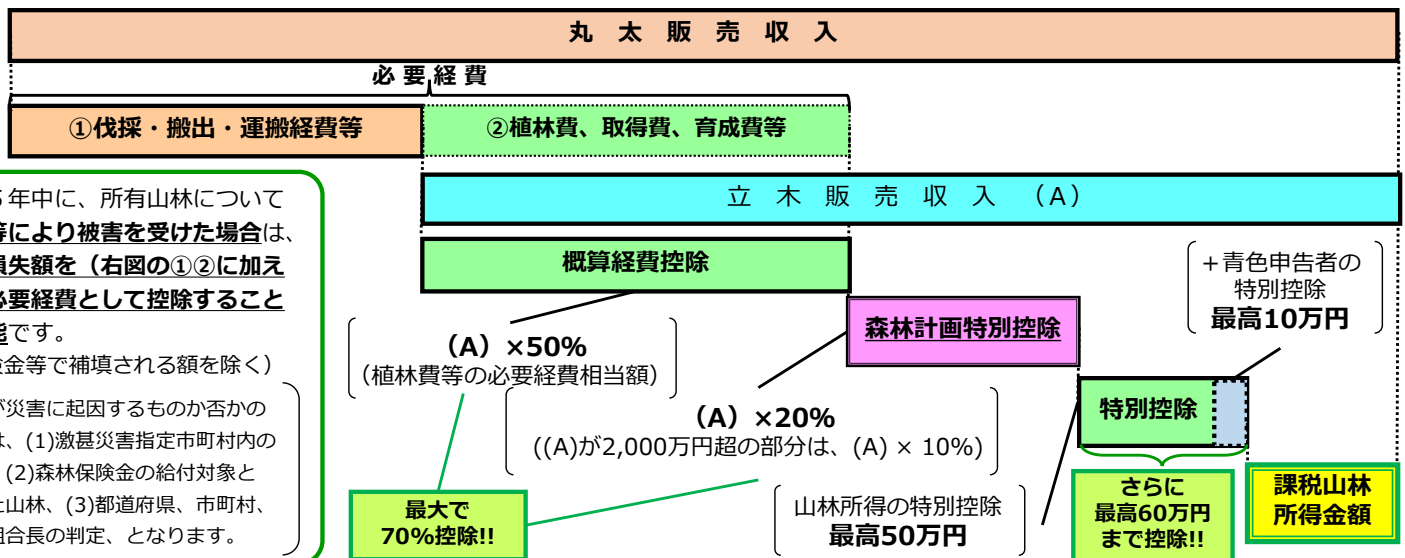
山林所得に係る 所得税額の計算は？

$$\text{総収入金額(丸太販売収入)} - \text{必要経費} * - \text{特別控除額} = \text{課税山林所得金額}$$

* 植林費、取得費(山林の購入費)、育成費(下刈等)、伐採費、譲渡費用等

$$\text{課税山林所得金額} \times 1/5 \times \text{所得税率} \times 5 = \text{所得税額}$$

山林所得の課税所得金額の計算イメージ



Point 1

概算経費控除で、植林費等の必要経費を簡便に計算可能！(立木収入金額の50%を控除！)

植林費や育成費(下刈等)などこれまで要した経費(必要経費)を計算する場合、昔の帳簿が残っていないと大変です。
そこで、譲渡した年の15年前の12月31日以前(令和5年確定申告にあたっては、平成20年12月31日以前)から引き続き所有していた山林を譲渡した場合であれば、丸太販売収入金額から伐採費等の譲渡費用を差し引いた金額(立木販売収入金額)の50%に相当する金額を、必要経費とすることができます。

Point 2

森林経営計画に基づく山林の伐採又は譲渡の場合、立木収入金額の20%等を控除可能！

森林経営計画に基づいて山林を伐採又は立木のままで譲渡した場合、その収入金額から伐採・搬出等の必要経費を控除した残額(立木販売収入)の20%(立木収入金額が2,000万円を超える部分については10%)に相当する金額を控除(森林計画特別控除)できます。

Point 3

さらに最高50万円+10万円の特別控除が受けられます！

山林所得の総収入金額から必要経費を控除し、その残額から最高50万円(残額が50万円に満たない場合は、当該残額)を控除できます(山林所得の特別控除)。また、青色申告者の場合は、更に最高10万円の特別控除(青色申告特別控除)が可能です。

Point 4

台風等の自然災害や病虫獣害等により被害を受けた山林の損失額は、必要経費として控除可能！

- ・ その年に山林所得がない場合や山林所得より損失額が大きい場合は、「損益通算」により、他の所得から控除可能です。
- ・ 損失額が大きくその年だけでは控除しきれない場合は、翌年以降3年間まで「繰越控除」が適用可能です。

山林所得に係る所得税額の計算イメージ

$$\text{所得税額} = \left\{ \left(\text{課税山林所得金額} \times \frac{1}{5} \right) \times \text{所得税率} \right\} \times 5$$

①

Point 5 山林所得に係る所得税額の計算は、分離5分5乗方式により、超過累進課税を緩和！

山林所得は、長期間にわたって蓄積された所得が一時に実現することから、課税については、**所得税の超過累進課税を緩和する必要があるため、他の所得の計算とは分離し、課税山林所得金額の1/5相当額に、所得税率を乗じた額を5倍して税額を算出する「分離5分5乗課税方式」が採用**されています。

(所得税額の速算表)

課税される所得金額(A)	税率	控除額
0.1万円から 194.9万円まで	5%	0万円
195万円から 329.9万円まで	10%	9.75万円
330万円から 694.9万円まで	20%	42.75万円
695万円から 899.9万円まで	23%	63.6万円
900万円から 1,799.9万円まで	33%	153.6万円
1,800万円から 3,999.9万円まで	40%	279.6万円
4,000万円以上	45%	479.6万円

算式：(A) × 税率 - 控除額 = 所得税額

計算の例

【例1】 40年間個人で所有している山林（森林経営計画の対象外）を伐採して（譲渡費用250万円）、総収入450万円を得た場合。

（概算経費特別控除を活用した場合）

1 課税山林所得金額の計算

- ① 立木販売収入 450万円 - 250万円 = **200万円**
- ② 概算経費控除 ① × 50% = **100万円**
- ③ 森林計画特別控除 適用外
- ④ 課税山林所得金額 ① - ② - 特別控除50万円 = **50万円**

2 山林所得に係る所得税額の計算

所得税額 ④ 50万円 × 1/5 × 5% × 5 = **2.5万円**

【例2】 20年間個人で所有している森林経営計画対象山林を伐採して（譲渡費用2,000万円）、総収入4,000万円を得た場合。

（概算経費特別控除 + 森林計画特別控除を活用した場合）

1 課税山林所得金額の計算

- ① 立木販売収入 4,000万円 - 2,000万円 = **2,000万円**
- ② 概算経費控除 ① × 50% = **1,000万円**
- ③ 森林計画特別控除 ① × 20% = **400万円**
- ④ 課税山林所得金額 ① - ② - ③ - 特別控除50万円 = **550万円**

2 山林所得に係る所得税額の計算

所得税額 ④ 550万円 × 1/5 × 5% × 5 = **27.5万円**

申告の手続き

令和5年分の所得税の確定申告は令和6年3月15日(金)まで！(※)

- ・山林所得の申告は、「**申告書第一表、第二表**」「**申告書第三表（分離課税用）**」の申告書用紙で行います。
- ・山林所得の金額計算は、「**山林所得収支内訳表（計算明細書）**」で行い、申告書に添付します。

（山林所得がある方は、e-TAXの「確定申告書等作成コーナー」をご利用いただけませんが、「e-TAXソフト」で申告書の作成・送信ができます）

- ・なお、森林計画特別控除を受ける場合には、申告書に以下の書類の添付が必要です。

- ① 森林経営計画に基づく伐採・譲渡である旨などの市町村長等の証明書
- ② 伐採・譲渡した山林に係る林地の測量図
- ③ 森林経営計画書の写し

- ・詳細については、**国税庁HPの「令和5年分 山林所得の申告のしかた」**をご確認ください！

<https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/shinkoku/tebiki/2023/kisairei/sanrin/index.htm>



※ 令和6年能登半島地震により被害を受けた方におかれましては、**申告期限の延長等の措置**がございます。詳細につきましては、以下の国税庁HPをご覧ください。

国税庁HP（令和6年能登半島地震に関するお知らせ）

<https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/saigai/r6/noto/index.htm>



<お問合せ先> 電話：03-3502-8037（林野庁 企画課 税制班）

今回ご案内した内容を含め、林野関係税制でご不明な点等ありましたら、お気軽にご相談ください
各種税制支援措置の概要などはこちら <https://www.maff.go.jp/j/aid/zeisei/rin/index.html>



お知らせ

令和6年能登半島地震により被災された方

林業・木材産業災害復旧対策保証

をご活用ください

保証割合 原則**100%**

保証額 最大**8千万円**

保証料 最大5年間**不要**にできます

事業用資産等が被災された方はさらに

連帯保証人 **不要**にできます

物的担保 **不要**にできます

必要な出資金 最大**1万円**

※詳細は信用基金ホームページでご確認ください。保証については一定の審査があります。
<https://www.jaffic.go.jp/guide/rin/jigyousya/jigyousyokei.html#cms202401saigaishitei>

お気軽にご相談ください

独立行政法人 農林漁業信用基金

電話 **03-3434-7825** (林業信用保証管理部)

〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1
愛宕グリーンヒルズMORIタワー28階



ウッド・チェンジ ロゴマーク 活用のご案内

ウッド・チェンジ ロゴマークは、「ウッド・チェンジ (※)」の趣旨に賛同し、木材利用の取組を積極的に推進していることのPRにご使用いただけます！（例：ポスター、チラシ、webサイト等）

広くロゴマークをご使用いただくことで、「ウッド・チェンジ」の輪が大きくなり、「木づかい運動」を盛り上げ、木材利用の需要拡大につながります。多くの方の使用登録をお待ちしています！

(※) ウッド・チェンジとは、身の回りのものを木に変える、木を暮らしに取り入れる、建築物を木造・木質化するなど、木の利用を通じて持続可能な社会へチェンジする行動を指します。

【背景】

林野庁では、日本の森林の健全な維持やカーボンニュートラルにつながる「伐って、使って、植えて、育てる」という森林資源の循環利用を促進するため、建築物等の木造・木質化や身近なものの木製品化による木材利用拡大に取り組んでいます。

その一環で国民運動として「木づかい運動」を展開しており、「ウッド・チェンジ」を合言葉に様々な取組を行っています。



WOOD  CHANGE

WOOD  CHANGE



【ロゴマークの使用申請について】

1. ウッド・チェンジ ロゴマーク使用規程をご確認の上、内容にご了承いただける場合には、使用を開始する日の5日前（土、日、祝日の日数は算入しない）までに、登録フォームに必要事項を入力して申請してください。
2. 使用を認められないと判断される場合のみ、遅滞なく通知いたします。

(注) 使用が認められない場合の例として、営利を主たる目的とする場合が該当します。

例えば、販売して収益を上げる予定の布バッグやTシャツの柄としてロゴマークをプリントするなど、商品そのものへのマークの使用はお控えください。

なお、商品のチラシやパッケージ、イベントで着用するTシャツや配布者自ら製作する頒布品等に使用することは問題ありません。

ロゴマークの使用規程・ガイドライン、申請登録フォームなど、詳細はこちらから↓
<http://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/wood-change-logo.html>

お問合せ先：林野庁木材利用課 消費対策班 (TEL : 03-6744-2298)



森林所有者の皆様へ

令和6年4月から 相続登記の申請が義務化されます

あなたがお持ちの森林の土地の相続登記はお済みですか？

- ✓ 令和6年4月から、相続によって不動産を取得したことを知った日から3年以内に、相続登記の申請を行うことが義務になります。
- ✓ 法施行より前に相続した不動産も、義務化の対象です。
- ✓ 新たに設けられる「相続人申告登記制度」により、早期に遺産分割をすることが困難な場合には、申請義務を簡易に履行することができるようになります。

お問い合わせ先

- 制度や手続きの詳細については、法務省Webサイトをご覧ください。

相続登記の義務化の詳細について(法務省Webサイト) ▶



林野庁

Q1 相続登記の義務化とは、どのような内容ですか？

相続人は、不動産を相続で取得したことを知った日から3年以内に、相続登記をすることが法律上の義務になり、法務局に申請する必要があります。

※正当な理由がないのに相続登記をしない場合、10万円以下の過料が科される可能性があります。



Q2 義務化が始まるのは、いつからですか？ 義務化前に相続した不動産も対象ですか？

「相続登記の義務化」は、令和6年4月1日から始まります。
令和6年4月1日より前に相続した不動産も、相続登記がされていないものは、義務化の対象になります(令和9年3月31日までに申請する必要があります。)ので、要注意です。

Q3 不動産を相続した場合、どう対応すればいいですか？ 相続人が多数いて、早期の遺産分割が難しいのですが。

相続人の間で早めに遺産分割の話し合いを行い、不動産を取得した場合には、その結果に基づいて法務局に、相続登記をする必要があります。

早期の遺産分割が難しい場合には、「相続人申告登記※」という簡便な手続を法務局でとることによって、義務を果たすこともできます。

※相続人申告手続は、戸籍などを提出して、自分が相続人の1人であることを申告する、簡易な手続です。

Q4 相続登記については、どこに相談すればよいですか？

お近くの法務局(予約制の手続案内を実施中)や、登記の専門家である司法書士・司法書士会等にご相談ください。



Q5 自分の森林がどこにあるのか分からないのですが。

森林が所在する(と思われる)地域を管轄する市町村の林務担当部局等にご相談ください。

法務省
不動産登記推進
イメージキャラクター
「トウキツネ」

Q6 森林を今後どのように管理したら良いか分かりません。

森林が所在する地域を管轄する都道府県の出先機関や市町村の林務担当部局、森林組合等にご相談ください。



2024年1月16日

木材業景況調査結果

第472回（令和5年12月分）

(一社)全国木材組合連合会

全国木材協同組合連合会

迅速！簡潔！明快！
全国モニターで調査する
唯一の全国版景況調査
この調査は日本木青連のご協力を得て、
行っています

12月は、販売量については、流通部門では変わらず、製造部門では減少した。仕入量については、流通部門では減少、製造部門では変わらなかった。販売価格、仕入価格については、流通部門・製造部門とも変わらなかった。

1月は、販売量、仕入量については、流通部門・製造部門とも減少の見通しである。また、販売価格・仕入価格については、流通部門・製造部門とも保ち合いの見通しである。1月は、販売量・仕入量が減少するとの見方が多い。

3ヵ月後の相場予想は、米材については、流通部門では強含み、製造部門では保ち合いの見通し、北洋材（欧州材を含む）については、流通部門では保ち合い、製造部門では強含みの見通し、国産材については、流通部門・製造部門とも保ち合いの見通しである。また、建材も保ち合い予想である。

プレカット工場間での受注競争は激しく、ビルダーからの値下げ要求は強くプレカット工場は非常に苦しい状況が続いている。また、世界的な金利上昇による円高と建築需要の鈍化で外材は木材伐採意欲が減退して原木不足となっており、現地製材工場も不採算が続き減産せざるを得ない状況となっている。さらに輸入木材製品は、スエズ運河航路問題も加わり船運賃の上昇や価格の値上がり、供給不足が心配され、今年はプレカット工場にとってはさらに厳しい状況となりそうである。一方、非住宅の木造化の案件は増えており、その動きに期待している。

景況調査

令和5年12月分集計表 () 内は実数

モニター数140 回答82 回収率59%

〔流通部門〕

当月の状況

販売量	増加24%(20)	変わらず43%(35)	減少33%(27)
仕入量	増加21%(17)	変わらず46%(38)	減少33%(27)
販売価格	上昇10%(8)	変わらず80%(66)	下降10%(8)
仕入価格	上昇10%(8)	変わらず83%(68)	下降7%(6)

来月の見通し

販売量	増加10%(8)	変わらず54%(44)	減少37%(30)
仕入量	増加9%(7)	変わらず60%(49)	減少32%(26)
販売価格	強含み6%(5)	保ち合い87%(71)	弱含み7%(6)
仕入価格	強含み9%(7)	保ち合い85%(70)	弱含み6%(5)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	21%(13)	69%(42)	10%(6)
南洋材	12%(6)	82%(41)	6%(3)
北洋材(欧州材を含む)	19%(10)	69%(36)	12%(6)
国産材	8%(6)	79%(58)	12%(9)
建材	13%(7)	76%(42)	11%(6)

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	38%(21)	58%(32)	4%(2)

〔製造部門〕

モニター数135 回答数91 回収率67%

当月の状況

販売量	増加10%(9)	変わらず66%(59)	減少24%(22)
仕入量	増加19%(17)	変わらず59%(53)	減少22%(20)
販売価格	上昇9%(8)	変わらず88%(79)	下降3%(3)
仕入価格	上昇21%(19)	変わらず76%(68)	下降3%(3)

来月の見通し

販売量	増加7%(6)	変わらず56%(51)	減少37%(34)
仕入量	増加8%(7)	変わらず57%(52)	減少35%(32)
販売価格	強含み4%(4)	保ち合い90%(82)	弱含み5%(5)
仕入価格	強含み14%(13)	保ち合い82%(75)	弱含み3%(3)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	27%(9)	55%(18)	18%(6)
南洋材	5%(1)	82%(18)	14%(3)
北洋材(欧州材を含む)	34%(10)	52%(15)	14%(4)
国産材	16%(14)	61%(52)	22%(19)

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	56%(20)	36%(13)	8%(3)

2024年2月13日

木材業景況調査結果

第473回（令和6年1月分）

迅速！簡潔！明快！
全国モニターで調査する
唯一の全国版景況調査
この調査は日本木青連のご協力を得て、
行っています

(一社)全国木材組合連合会

全国木材協同組合連合会

1月は、販売量、仕入量については、流通部門・製造部門とも減少した。販売価格については、流通部門・製造部門とも変わらなかった。また、仕入価格については、流通部門では変わらず、製造部門では上昇した。

2月は、販売量、仕入量については、流通部門・製造部門とも変わらずの見通しである。また、販売価格・仕入価格については、流通部門・製造部門とも保ち合いの見通しである。

3ヵ月後の相場予想は、米材・南洋材・国産材については、流通部門・製造部門とも変わらずの見通し、北洋材（欧州材を含む）については、流通部門・製造部門とも強含みの見通しである。また、建材も保ち合い予想である。

プレカット工場は年明け更に仕事乏しい状況となっており、大手ハウスメーカーの受注減少、ビルダーの過剰在庫の影響で2月3月も厳しい状態が続くと思われ、プレカット工場間での受注競争がさらに激しくなることが予想される。また、欧州材中心に木材価格が上がる中、既に採算割れしている工場が多く、さらなる値下げ競争で体力勝負になることが想定される。

景況調査

令和6年1月分集計表 () 内は実数

モニター数140 回答90 回収率64%

〔流通部門〕

当月の状況

販売量	増加 8% (7)	変わらず52% (46)	減少40% (36)
仕入量	増加10% (9)	変わらず52% (46)	減少38% (34)
販売価格	上昇 4% (4)	変わらず88% (78)	下降 8% (7)
仕入価格	上昇 8% (7)	変わらず87% (77)	下降 6% (5)

来月の見通し

販売量	増加17% (15)	変わらず61% (54)	減少22% (20)
仕入量	増加18% (16)	変わらず60% (53)	減少22% (20)
販売価格	強含み 3% (3)	保ち合い83% (74)	弱含み13% (12)
仕入価格	強含み 9% (8)	保ち合い83% (74)	弱含み 8% (7)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米 材	20% (13)	68% (44)	12% (8)
南洋材	9% (5)	89% (49)	2% (1)
北洋材(欧州材を含む)	34% (21)	61% (37)	5% (3)
国産材	11% (9)	75% (60)	14% (11)
建 材	23% (14)	71% (44)	6% (4)

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	42% (25)	53% (32)	5% (3)

〔製造部門〕

モニター数135 回答数88 回収率65%

当月の状況

販売量	増加15% (13)	変わらず48% (42)	減少38% (33)
仕入量	増加15% (13)	変わらず51% (45)	減少34% (30)
販売価格	上昇 6% (5)	変わらず90% (79)	下降 5% (4)
仕入価格	上昇27% (24)	変わらず68% (60)	下降 5% (4)

来月の見通し

販売量	増加15% (13)	変わらず64% (56)	減少22% (19)
仕入量	増加11% (10)	変わらず72% (63)	減少17% (15)
販売価格	強含み 2% (2)	保ち合い91% (80)	弱含み 7% (6)
仕入価格	強含み19% (17)	保ち合い74% (65)	弱含み 7% (6)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米 材	26% (9)	71% (24)	3% (1)
南洋材	15% (3)	75% (15)	10% (2)
北洋材(欧州材を含む)	30% (8)	67% (18)	4% (1)
国産材	17% (14)	65% (53)	17% (14)

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	46% (18)	41% (16)	13% (5)